
宇和島市 地域福祉の推進に関する アンケート調査

－ 報告書 －

令和3（2021）年11月
愛媛県 宇和島市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 性別構成	3
2 年齢別構成	3
3 職業別構成	4
4 世帯構成	5
5 同居家族について	6
III 調査結果	7
【1】地域との関わりについて	7
1 居住歴	7
2 地域への愛着	8
3 暮らしやすさ	10
4 近所付き合いの程度	12
5 住民同士のつながり意識	14
6 地域の範囲	16
7 地域の行事や町内活動への参加状況	17
8 参加していない理由	21
【2】ふだんの相談先や情報入手などについて	23
1 日頃の悩みや不安	23
2 困ったときの相談先	26
3 福祉に関する情報の入手先	28
4 手助けをしてもらいたいこと	31
5 手助けできること	33
【3】地域の福祉について	36
1 地域の福祉課題への関心度	36
2 地域の問題や課題	38
3 経済的に困っている人等への支援について	41
4 子どもの貧困問題に関して必要な支援	43
【4】災害時の備えなどについて	45
1 災害時に手助けをしてくれる人	45
2 緊急時の備えとして重要なこと	48
3 感染症の拡大により困っていること	50
4 感染症の拡大による生活への影響	53

【5】ボランティア活動について -----	63
1 ボランティア活動への参加状況-----	63
2 ボランティア活動の内容-----	65
3 ボランティア活動への参加意向-----	67
4 ボランティア活動の輪を広げるために必要なこと -----	69
5 民生委員児童委員の認知状況-----	71
6 宇和島市社会福祉協議会の認知状況-----	73
【6】地域福祉の推進について -----	75
1 地域福祉に関する取組への満足度・重要度 -----	75
2 地域福祉を推進するためにできること -----	85
3 地域で進めるべき取組-----	87
4 今後、重要だと思う地域活動-----	89
5 宇和島市の将来像-----	91
6 福祉の担い手-----	93
7 行政が力を入れるべきこと-----	95
8 用語の認知状況-----	98
9 生活費や貯金などの管理者-----	104
10 成年後見制度の利用意向-----	105
11 成年後見制度に対するイメージ-----	106
12 保護司の認知状況-----	108

資料 調査票-----	110
--------------------	------------

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「第3期宇和島市地域福祉計画」の策定にあたり、市民の福祉に関する現状や課題、意向等を把握し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査対象】

17歳以上の市民

【調査方法】

郵送配布～郵送回収、インターネットによる回答

【調査時期】

令和3（2021）年9月

【回収結果】

配布数 ----- 2,240件

有効回収数 ----- 819件（インターネットによる回答156件を含む）

有効回収率 ----- 36.6%

【地区別回収状況】

	構成比(%)	件数(件)
宇和島地区	26.0	213
吉田地区	25.3	207
三間地区	26.1	214
津島地区	22.1	181
無回答	0.5	4
合計	100.0	819

注：問1回答結果より

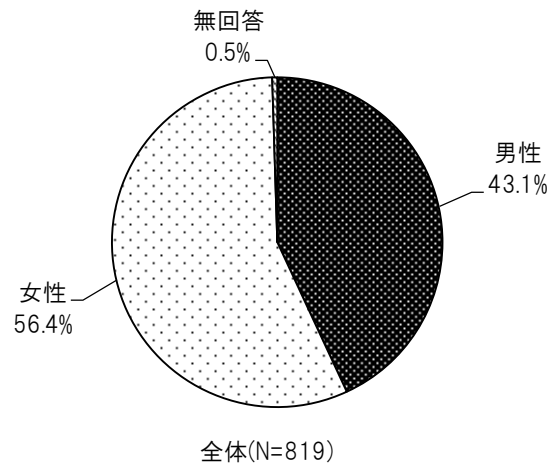
【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

II 回答者の属性

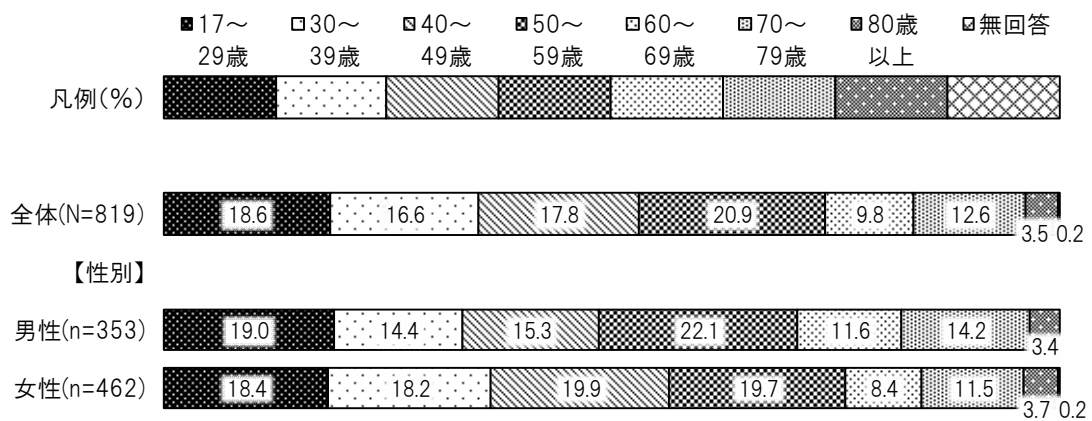
1 性別構成

回答者の性別構成比は、「男性」が 43.1%、「女性」が 56.4%と、女性の割合が男性を上回っている。



2 年齢別構成

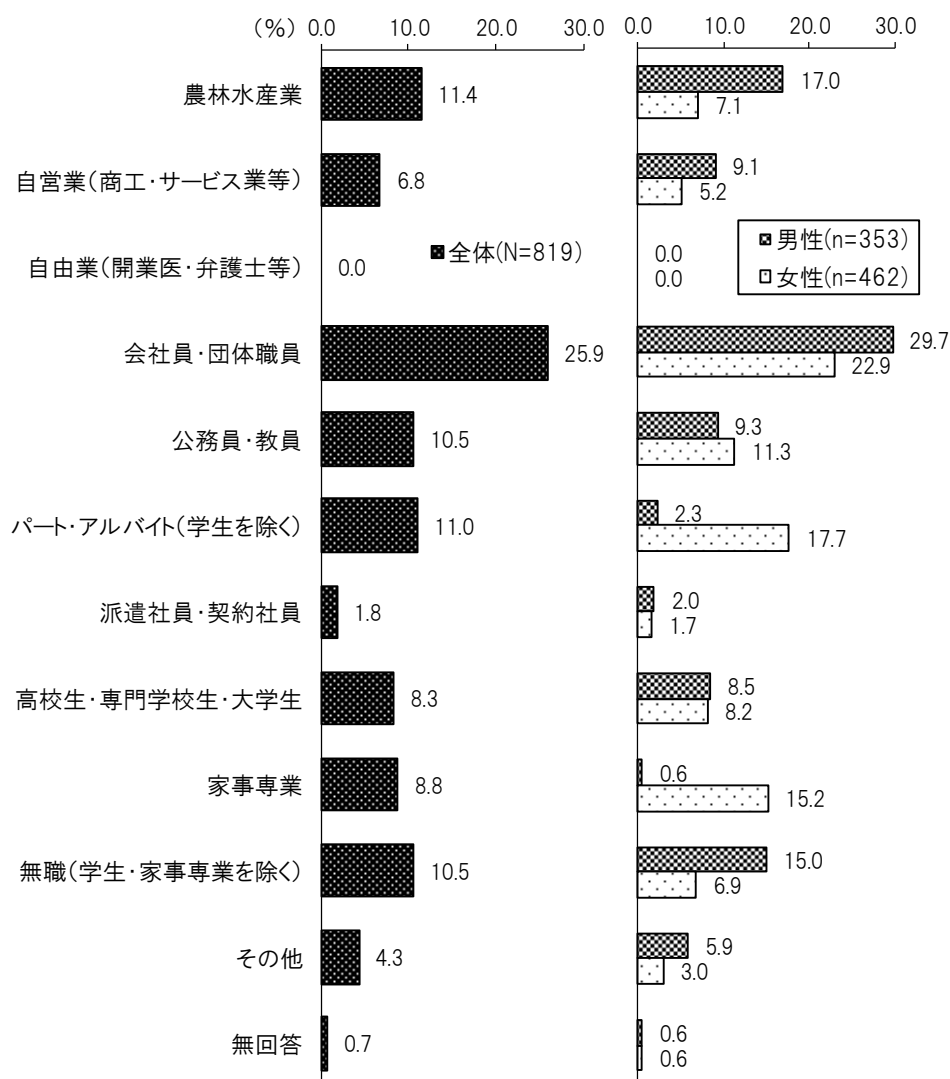
年齢別構成は、「50～59歳」の割合が 20.9%と最も高く、次いで「17～29歳」(18.6%)、「40～49歳」(17.8%)が続いているが、それぞれ同程度の割合となっている。
性別では、女性は男性に比べ「40～49歳」の割合がやや高くなっている。



3 職業別構成

職業別構成については、「会社員・団体職員」の割合が25.9%と最も高く、次いで「農林水産業」(11.4%)、「パート・アルバイト(学生を除く)」(11.0%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「農林水産業」「会社員・団体職員」「無職(学生・家事専業を除く)」などの割合が高く、女性は「パート・アルバイト(学生を除く)」「家事専業」の割合が男性を大きく上回っている。



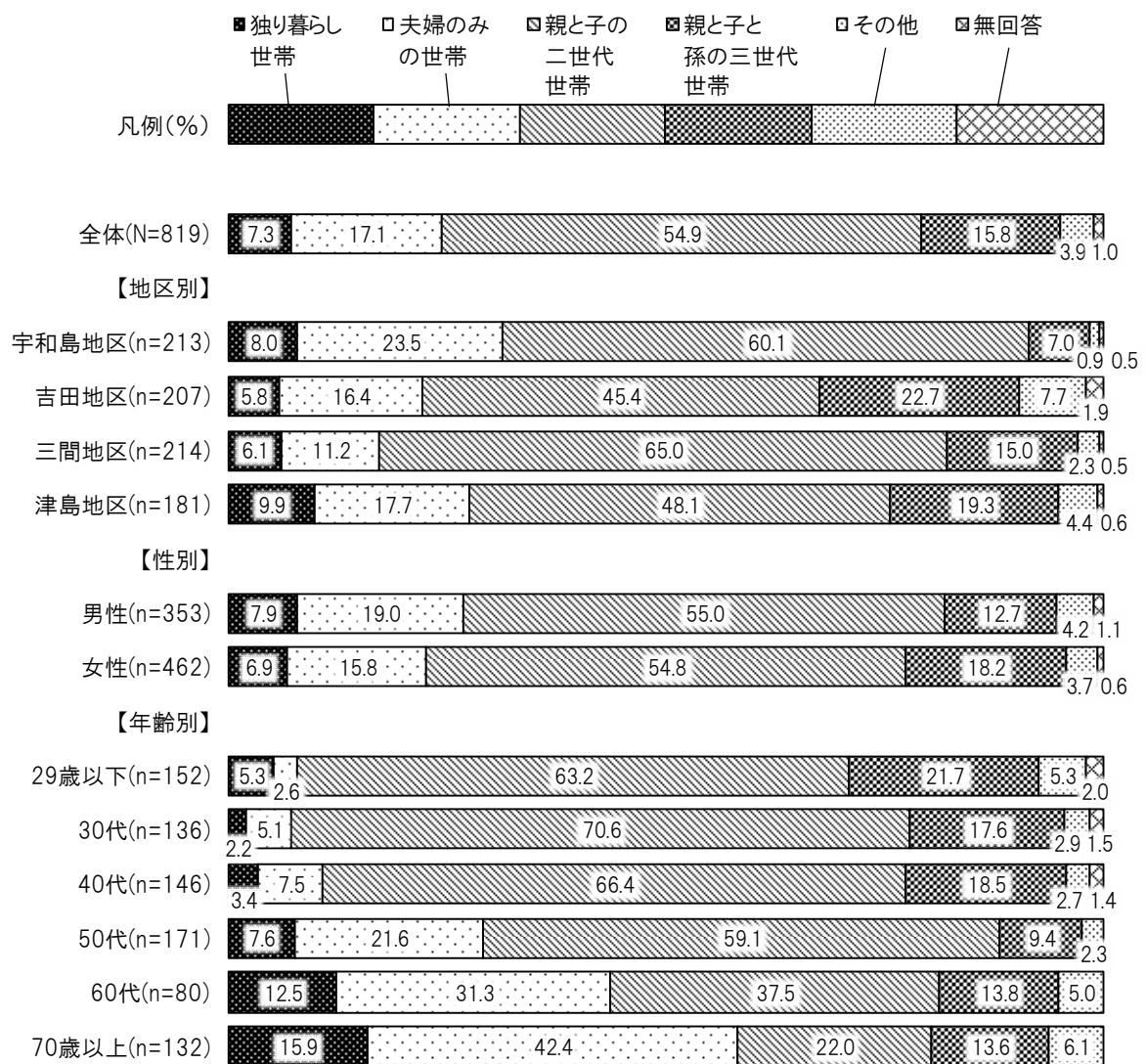
4 世帯構成

世帯構成については、「親と子の二世帯世帯」の割合が54.9%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」(17.1%)、「親と子と孫の三世帯世帯」(15.8%)の順となっている。

地区別では、宇和島地区で「夫婦のみの世帯」の割合が他の地区に比べて高く、「親と子と孫の三世帯世帯」の割合が低くなっている。

性別では、女性は男性に比べ「親と子と孫の三世帯世帯」の割合が高くなっている。

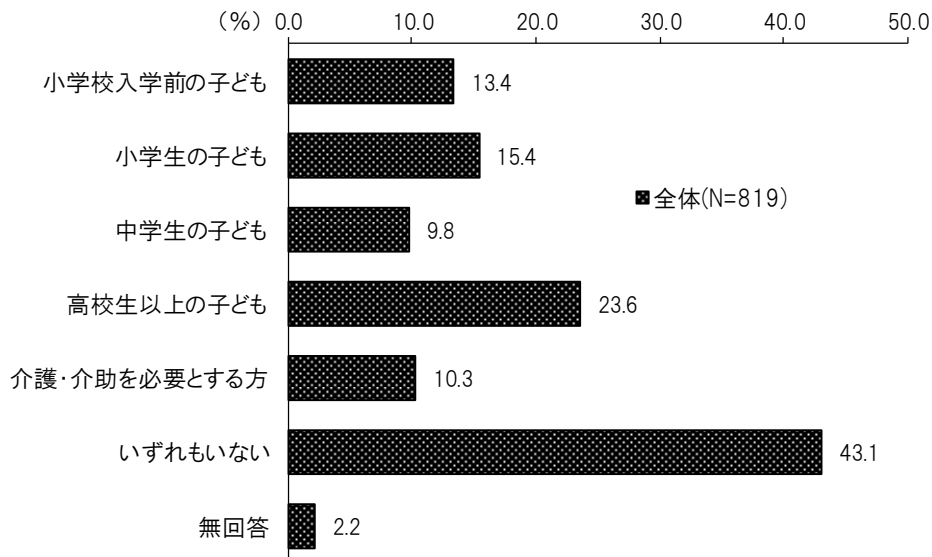
年齢別では、50代以上で「夫婦のみの世帯」、60代以上で「独り暮らし世帯」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



5 同居家族について

同居家族については、「いずれもない」の割合が43.1%と最も高く、次いで「高校生以上の子ども」(23.6%)、「小学生の子ども」(15.4%)、「小学校入学前の子ども」(13.4%)の順となっている。

年齢別では、30代で「小学校入学前の子ども」、30~40代で「小学生の子ども」、40代で「中学生の子ども」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。



単位 (%)	小学校入学前の子ども	小学生の子ども	中学生の子ども	高校生以上の子ども	介護・介助を必要とする方	いずれもない
全体(N=819)	13.4	15.4	9.8	23.6	10.3	43.1
【年齢別】						
29歳以下(n=152)	9.9	9.2	12.5	40.1	9.9	34.9
30代(n=136)	43.4	39.7	8.8	7.4	5.1	33.1
40代(n=146)	19.9	28.1	21.9	27.4	6.2	26.7
50代(n=171)	1.8	4.1	5.8	29.8	16.4	47.4
60代(n=80)	5.0	8.8	0.0	11.3	16.3	60.0
70歳以上(n=132)	0.0	2.3	4.5	15.9	9.1	65.9

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計(年齢別など)において最も高い割合を示している。
 (例/年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け)
 但し、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。
 また「無回答」は表記から省略している。(本報告書においては、以下同様)

Ⅲ 調査結果

【1】地域との関わりについて

1 居住歴

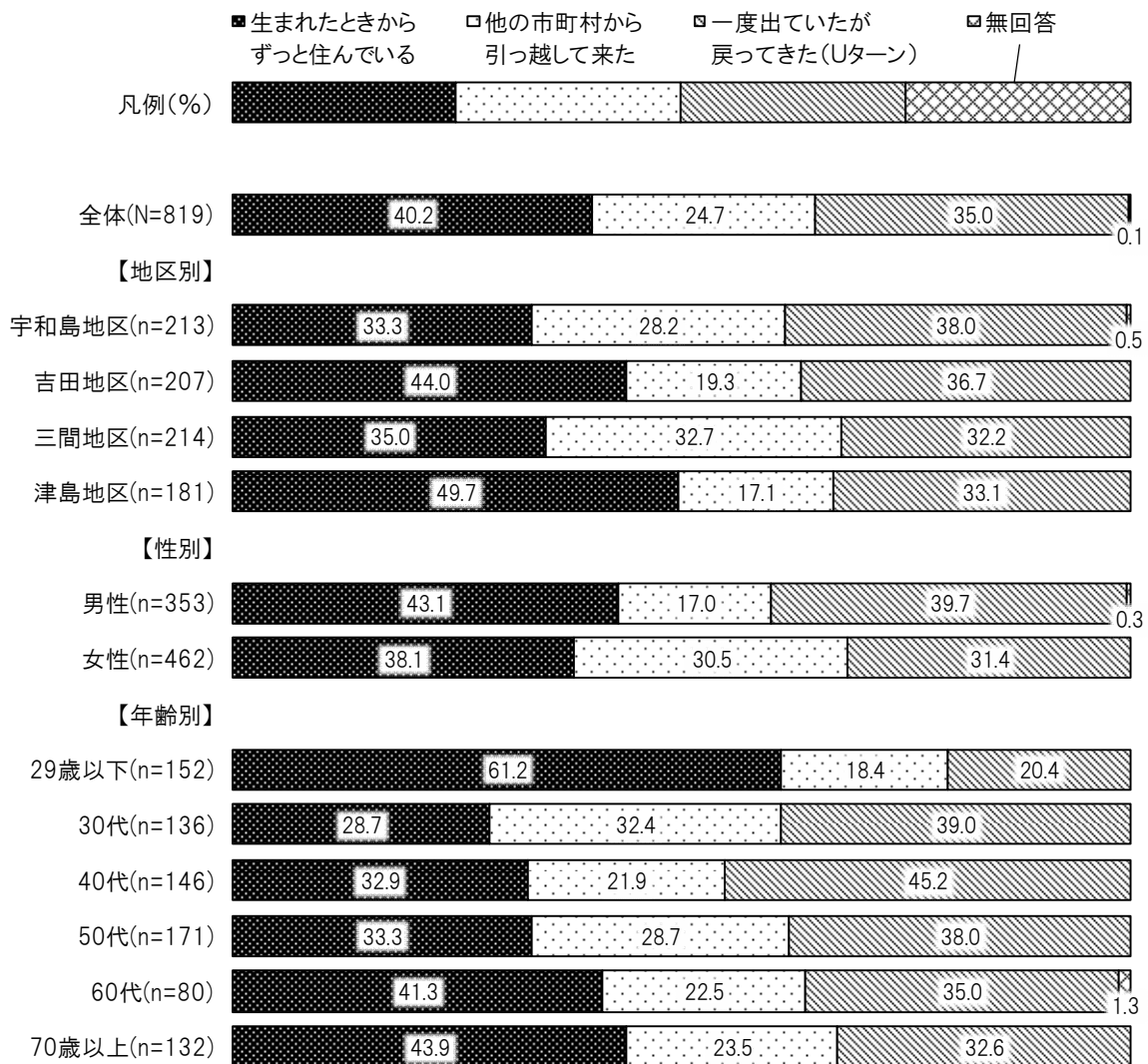
問7 あなたは、生まれたときからずっと宇和島市に住んでいますか。（○印1つ）

居住歴については、「生まれたときからずっと住んでいる」の割合が40.2%と最も高く、次いで「一度出ていたが戻ってきた（Uターン）」（35.0%）、「他の市町村から引っ越して来た」（24.7%）となっている。

地区別では、吉田地区や津島地区で「生まれたときからずっと住んでいる」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は「他の市町村から引っ越して来た」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下で「生まれたときからずっと住んでいる」、40代で「一度出ていたが戻ってきた（Uターン）」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



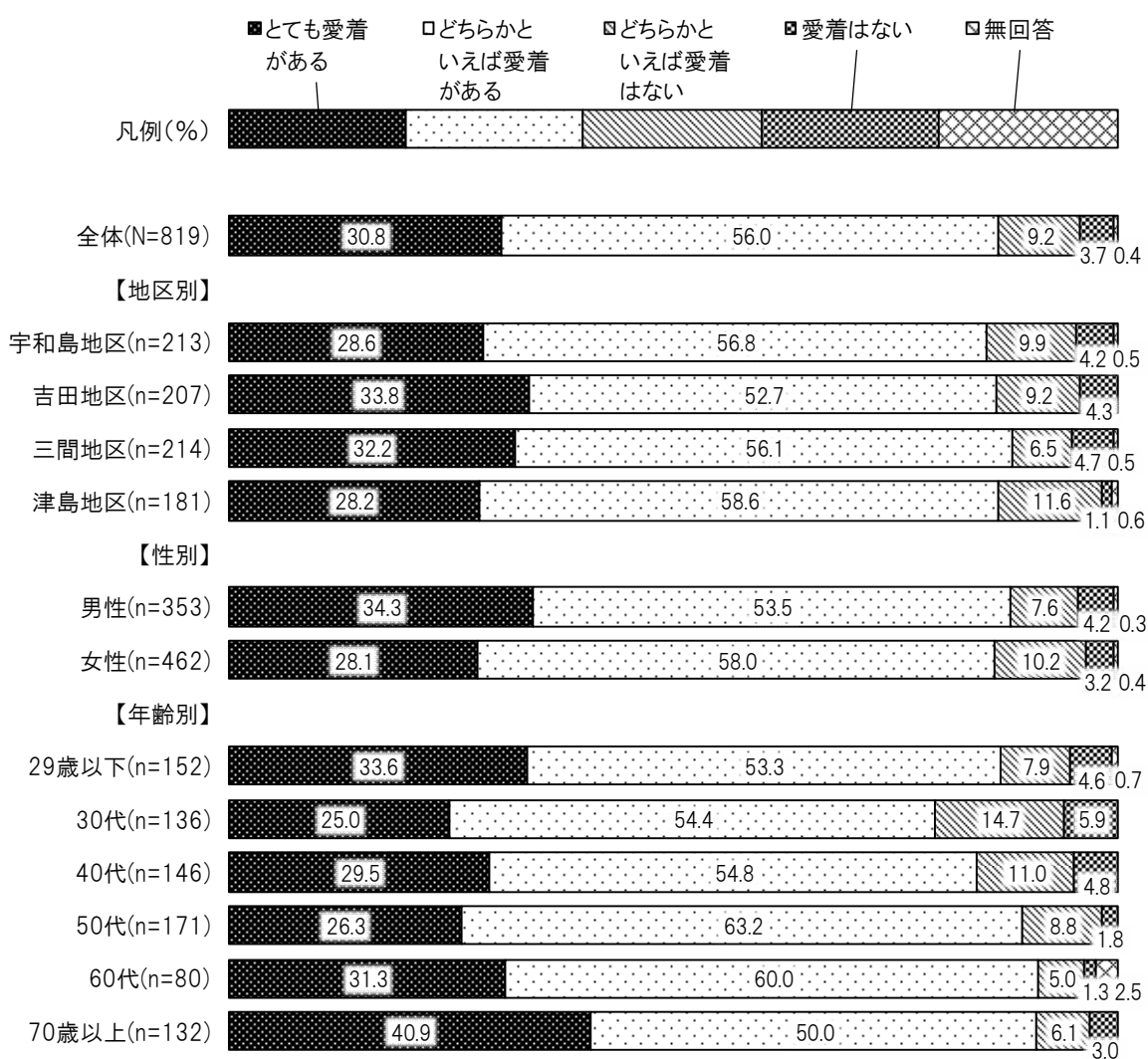
2 地域への愛着

問8 あなたは、今住んでいる地域に愛着がありますか。(○印1つ)

地域への愛着については、「とても愛着がある」が30.8%、「どちらかといえば愛着がある」が56.0%で、合計8割以上(86.8%)が『愛着がある』と回答している。一方、「どちらかといえば愛着はない」(9.2%)、「愛着はない」(3.7%)の合計は12.9%であった。

地区別では大きな差はみられないが、性別では男性は女性に比べ「とても愛着がある」の割合が高くなっている。

年齢別では、30代で『愛着はない(合計)』、70歳以上で「とても愛着がある」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

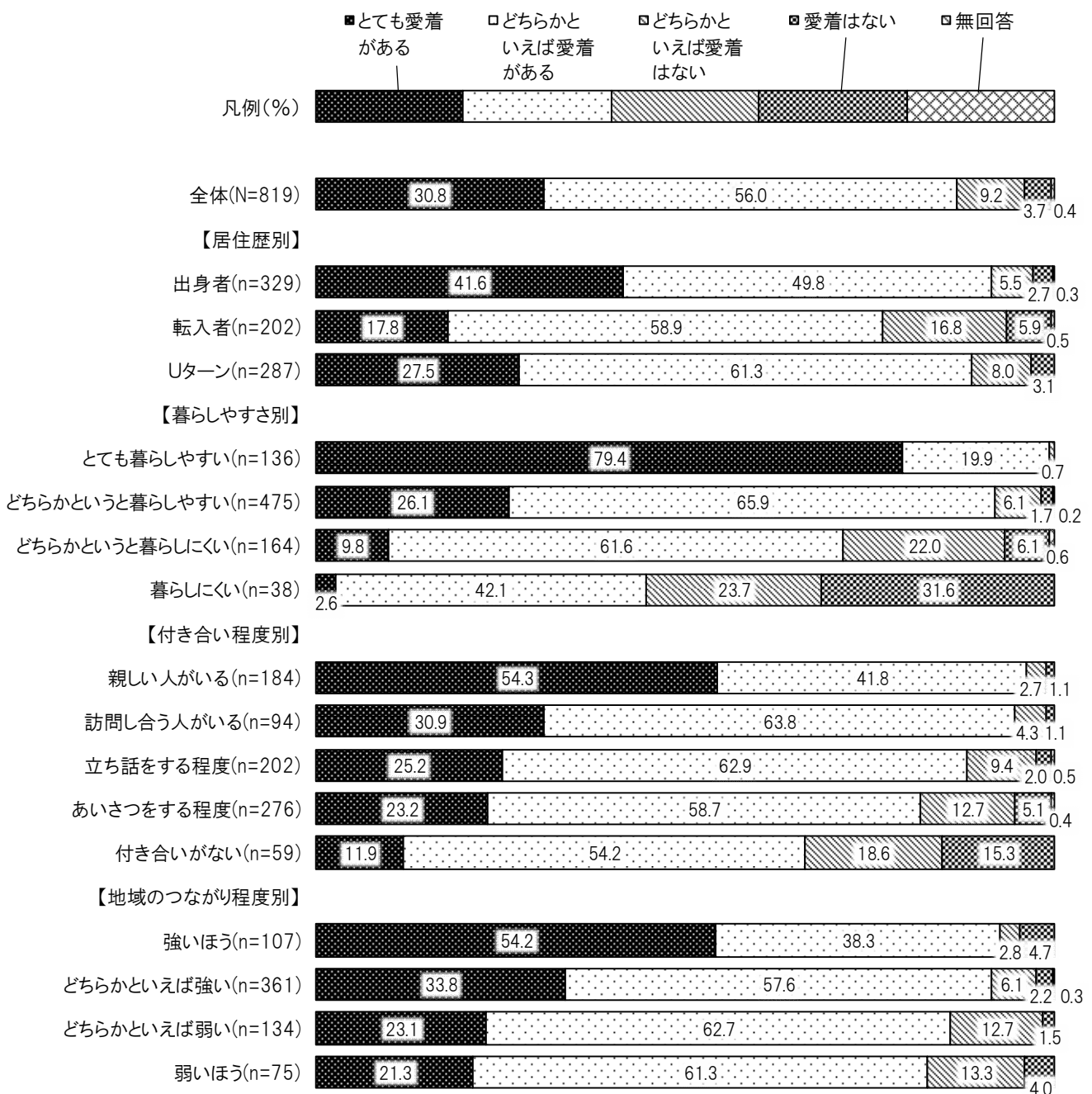


居住歴別*（問7）では、出身者で「とても愛着がある」、転入者で「どちらかといえば愛着はない」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

暮らしやすさ別（問9）では、とても暮らしやすいと感じている層で「とても愛着がある」、暮らしにくいと感じている層で「愛着はない」の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。

付き合い程度別（問10）では、親しい人がいる層で「とても愛着がある」、付き合いがない層で『愛着はない（合計）』の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

地域のつながり程度別（問11）では、強いと感じている層ほど「とても愛着がある」の割合が高くなっている。



※居住歴別(問7)

- ・出身者→生まれたときからずっと住んでいる
- ・転入者→他の市町村から引っ越してきた
- ・Uターン→一度出ていたが戻ってきた

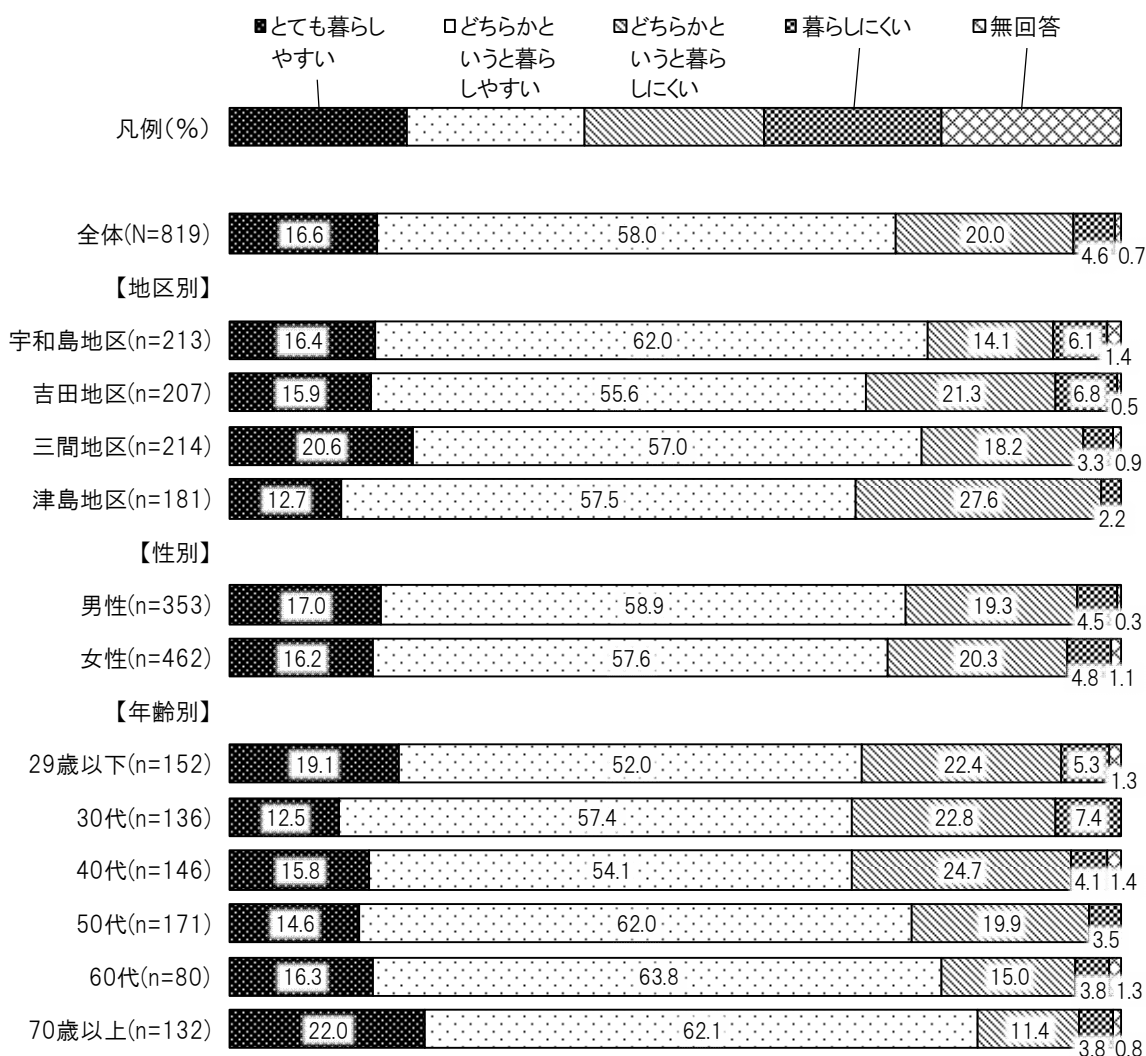
3 暮らしやすさ

問9 お住まいの地域は暮らしやすいと思いますか。(○印1つ)

暮らしやすさについては、「とても暮らしやすい」が16.6%、「どちらかという暮らしやすい」が58.0%で、合計7割以上(74.6%)が『暮らしやすい』と回答している。一方、「どちらかという暮らしにくい」(20.0%)、「暮らしにくい」(4.6%)の合計は24.6%であった。

地区別では、吉田地区や津島地区で『暮らしにくい(合計)』の割合が他の地区に比べて高くなっている。

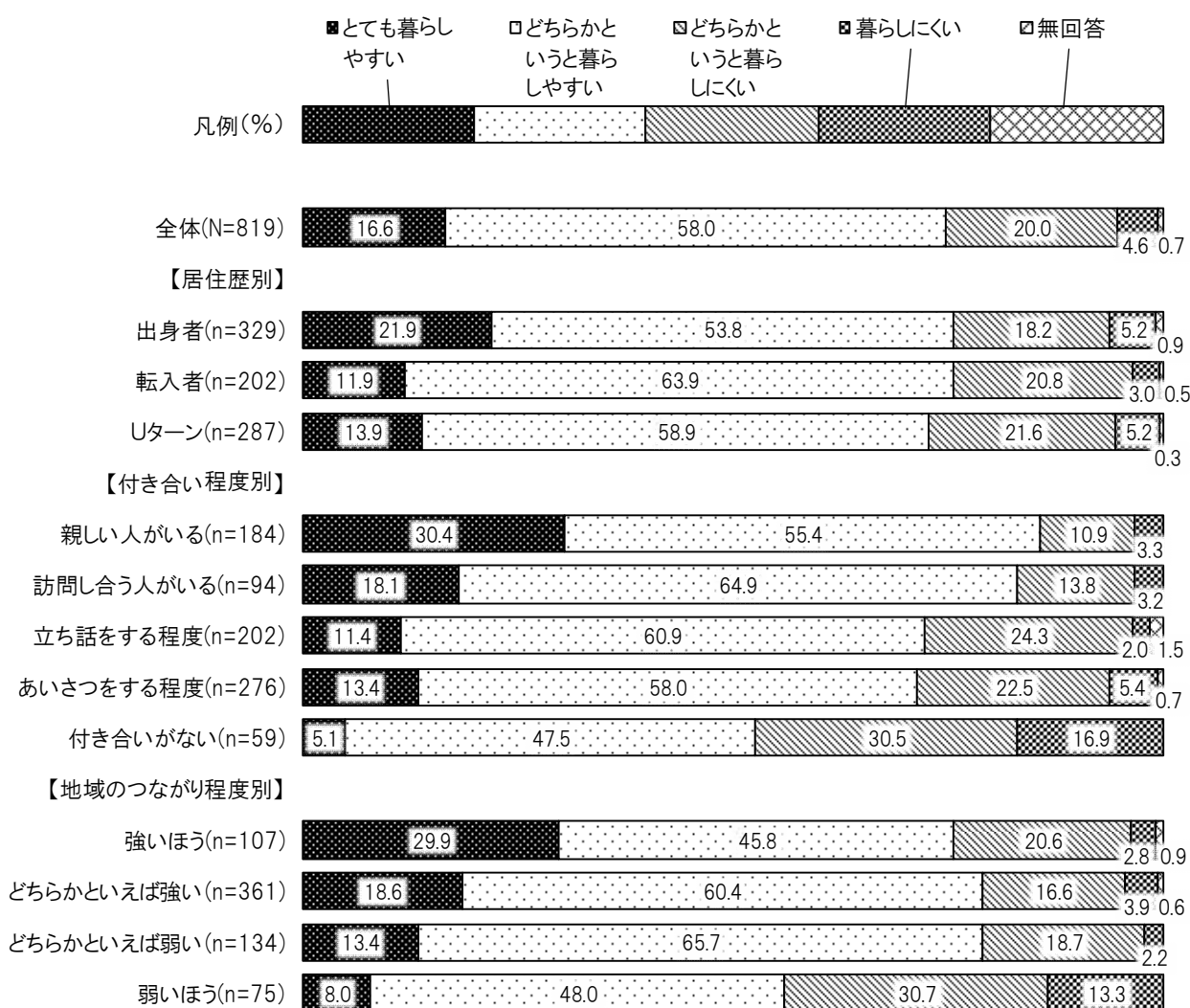
性別では大きな差はみられないが、年齢別では40代以下で『暮らしにくい(合計)』、50代以上で『暮らしやすい(合計)』の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



居住歴別では、出身者で「とても暮らしやすい」の割合が他の層に比べて高くなっている。

付き合い程度別では、親しい人がいる層ほど『暮らしやすい（合計）』の割合が高く、付き合いがない層で『暮らしにくい（合計）』の割合が高くなっている。

地域のつながり程度別では、強いと感じている層ほど「とても暮らしやすい」の割合が高く、弱いと感じている層で『暮らしにくい（合計）』の割合が高くなっている。



4 近所付き合いの程度

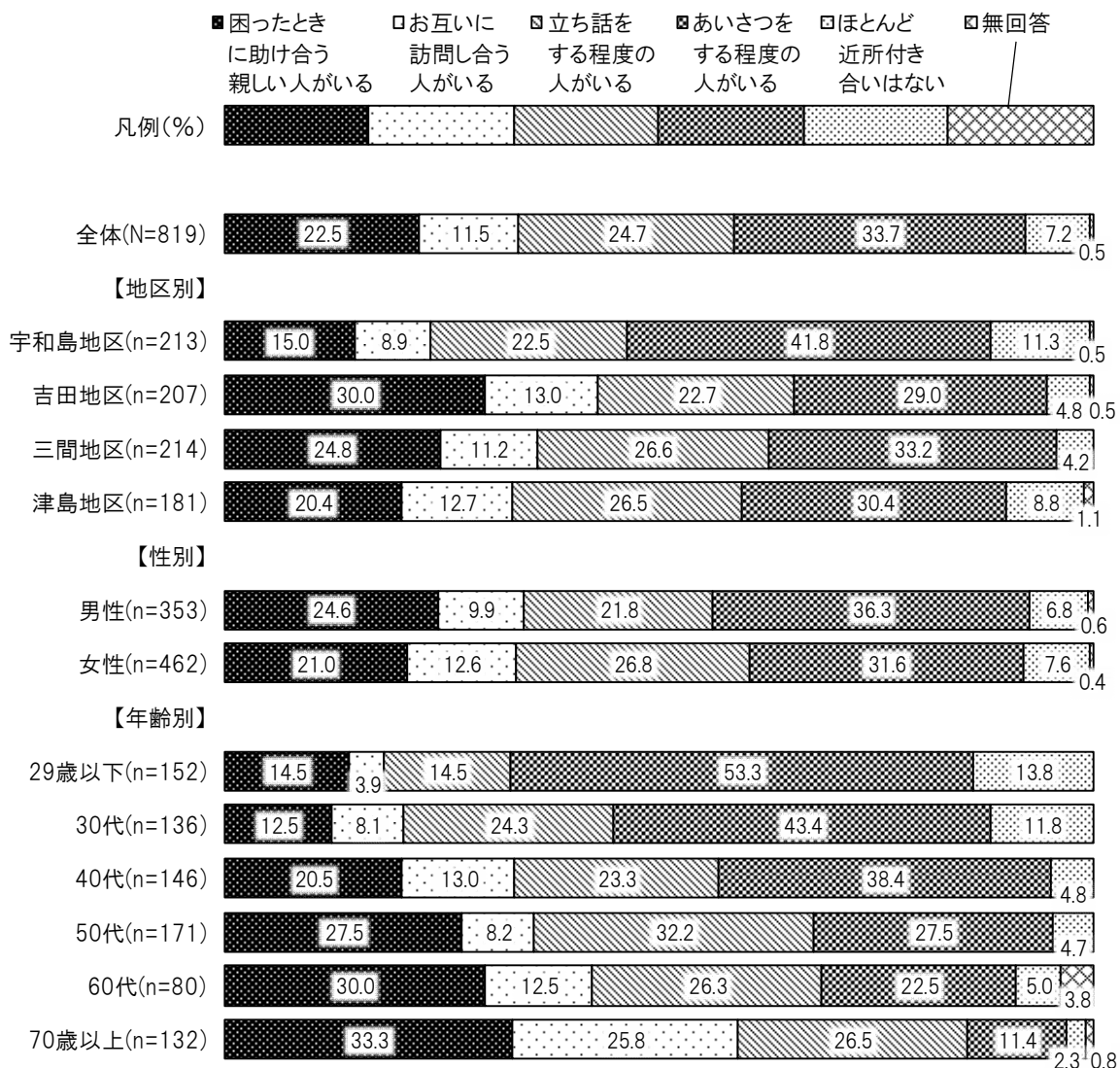
問 10 あなたとご近所の人との関係は、次のどれに最も近いですか。（○印1つ）

近所付き合いの程度については、「あいさつをする程度の人がいる」の割合が33.7%と最も高く、次いで「立ち話をする程度の人がいる」（24.7%）、「困ったときに助け合う親しい人がある」（22.5%）の順となっており、「ほとんど近所付き合いはない」は7.2%となっている。

地区別では、吉田地区で「困ったときに助け合う親しい人がある」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

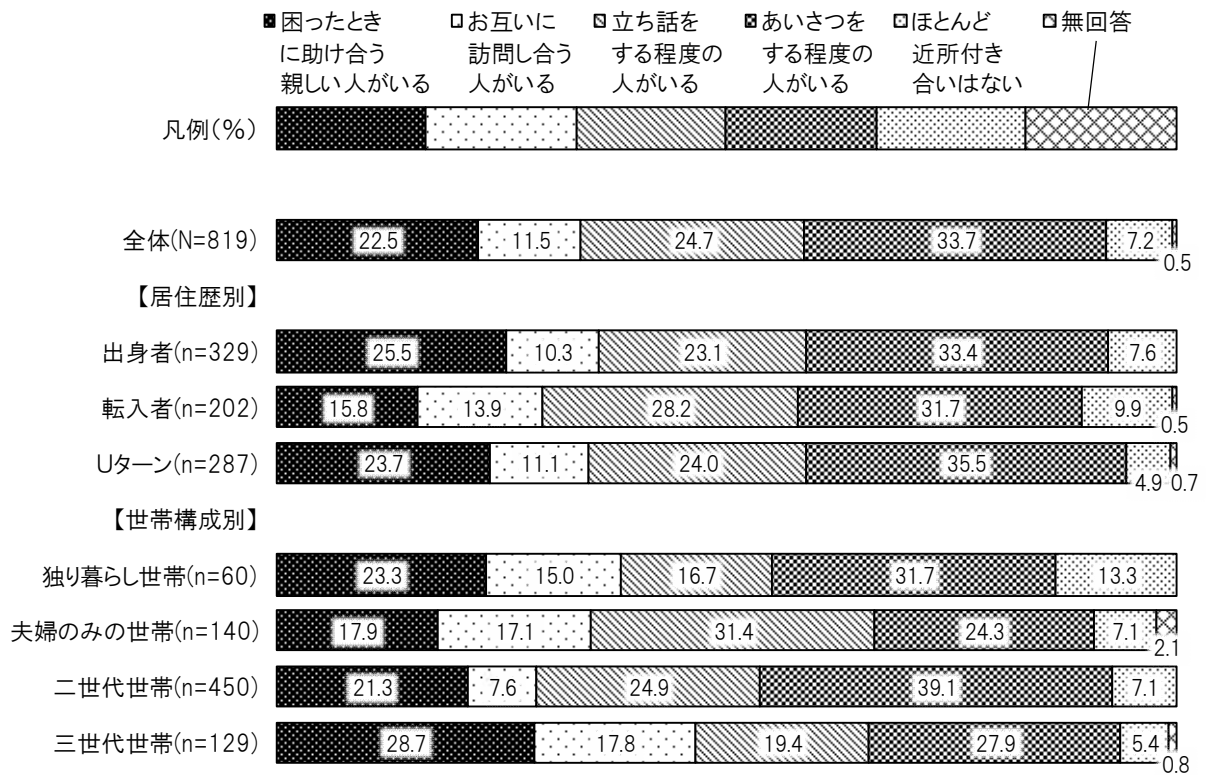
性別では、男性は女性に比べ「あいさつをする程度の人がある」の割合が高く、女性は「立ち話をする程度の人がある」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、70歳以上で「お互いに訪問し合う人がある」の割合が他の年齢層を大きく上回っており、若い年齢層ほど「あいさつをする程度の人がある」の割合が高くなっている。



居住歴別では、出身者やUターンで「困ったときに助け合う親しい人がいる」の割合が高くなっている。

世帯構成別では、独り暮らし世帯で「ほとんど近所付き合いはない」、三世代世帯で「困ったときに助け合う親しい人がいる」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。



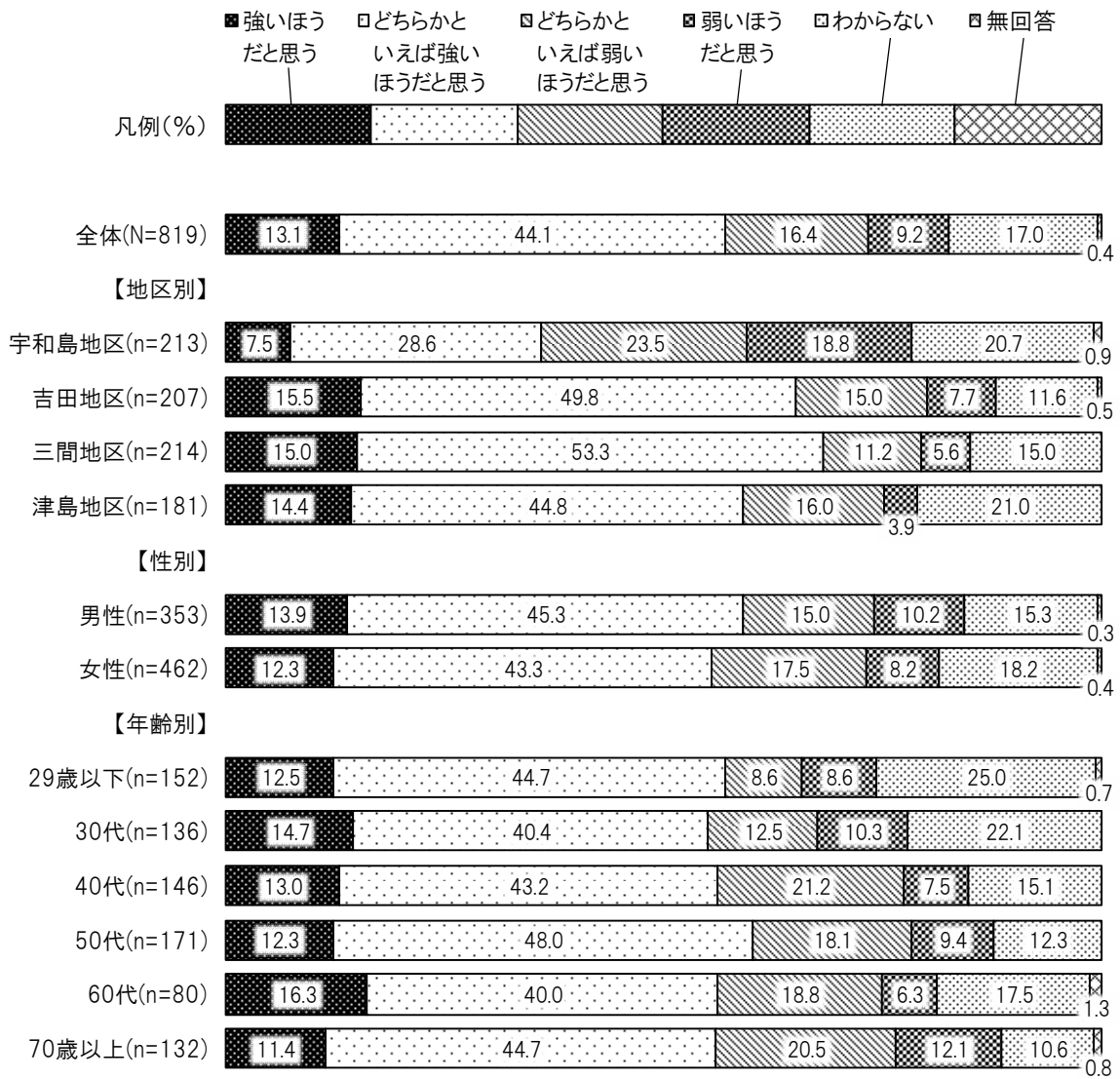
5 住民同士のつながり意識

問 11 あなたがお住まいの地域では、住民同士のつながりは、強いほうだと思いますか。
(○印1つ)

住民同士のつながり意識については、「強いほうだと思う」が13.1%、「どちらかといえば強いほうだと思う」が44.1%で、合計57.2%が『強いほうだと思う』と回答している。一方、「どちらかといえば弱いほうだと思う」(16.4%)、「弱いほうだと思う」(9.2%)の合計は25.6%であった。

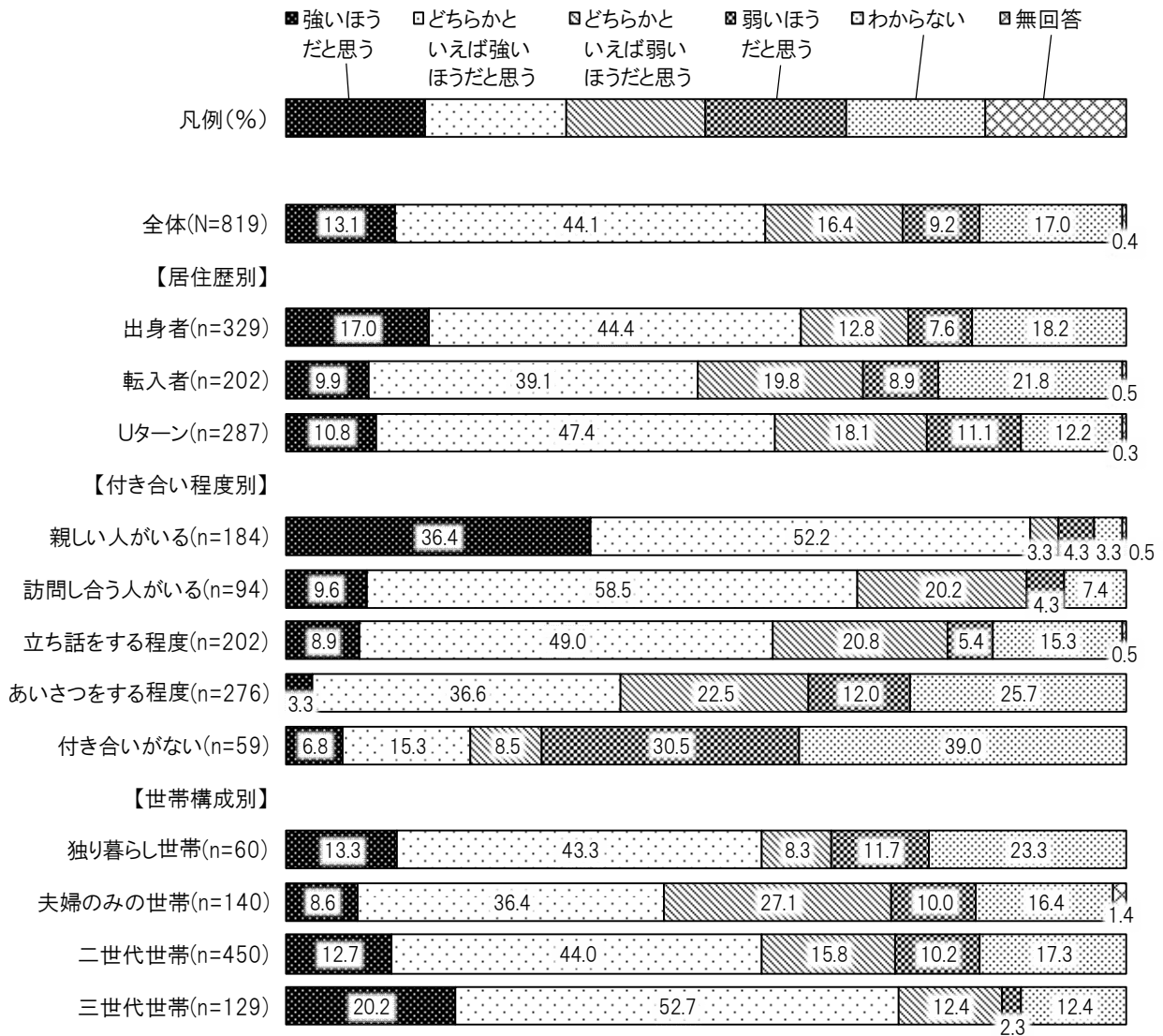
地区別では、宇和島地区で『弱いほうだと思う(合計)』の割合が他の地区を大きく上回っている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では30代以下で「わからない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



居住歴別では、転入者で『強いほうだと思う（合計）』の割合が低くなっている。
 付き合い程度別では、親しい人がいる層で「強いほうだと思う」の割合が他の層を大きく上回っている。

世帯構成別では、夫婦のみの世帯で「どちらかといえば弱いほうだと思う」、三世帯世帯で『強いほうだと思う（合計）』の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。



6 地域の範囲

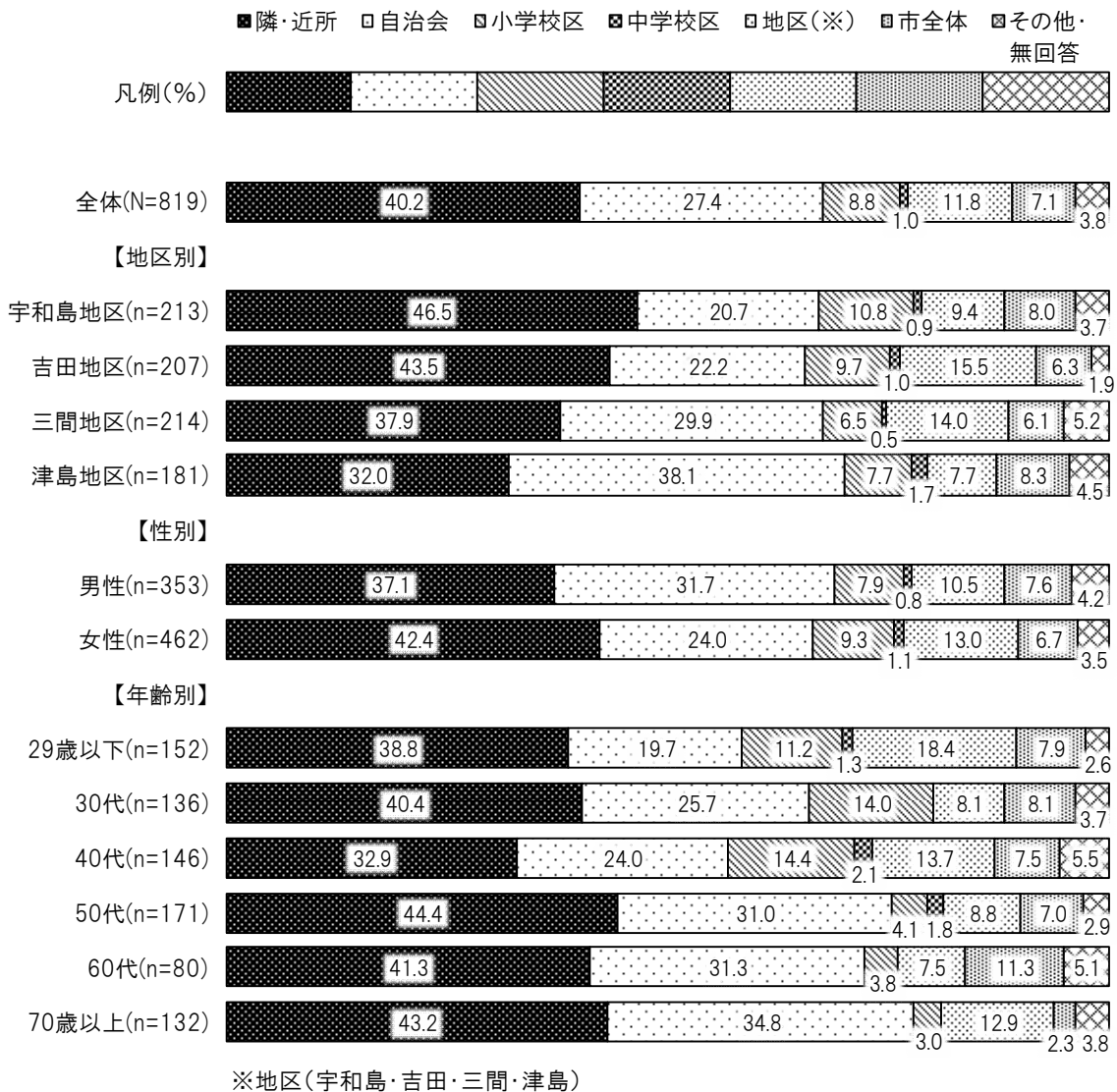
問 12 あなたにとって、助け合いや支え合いができる「地域」とは、どの範囲だと思いますか。（○印1つ）

地域の範囲については、「隣・近所」の割合が40.2%と最も高く、次いで「自治会」(27.4%)、「地区(宇和島・吉田・三間・津島)」(11.8%)の順となっている。

地区別では、津島地区で「自治会」の割合が他の地区を大きく上回っている。

性別では、男性は女性に比べ「自治会」の割合が高く、女性は「隣・近所」の割合が男性を上回っている。

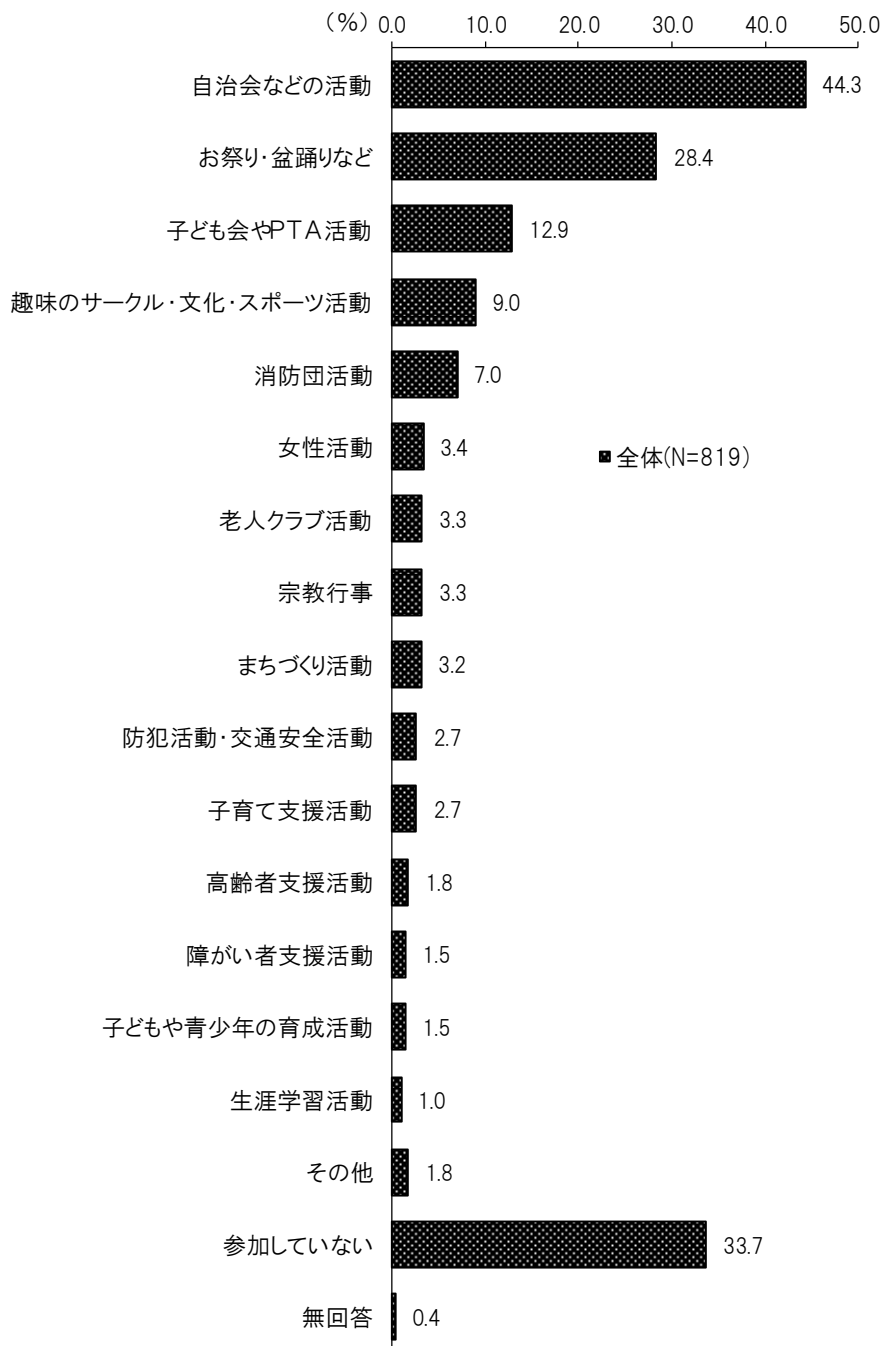
年齢別では、29歳以下で「地区(宇和島・吉田・三間・津島)」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



7 地域の行事や町内活動への参加状況

問 13 あなたは、地域の行事や町内活動などに参加していますか。(○印いくつでも)

地域の行事や町内活動への参加状況については、「自治会などの活動」の割合が44.3%と最も高く、次いで「お祭り・盆踊りなど」(28.4%)、「子ども会やPTA活動」(12.9%)、「趣味のサークル・文化・スポーツ活動」(9.0%)の順となっている。一方、「参加していない」は33.7%となっている。



地区別では、三間地区や津島地区で「自治会などの活動」、宇和島地区で「参加していない」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は「自治会などの活動」「消防団活動」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「子ども会やPTA活動」「趣味のサークル・文化・スポーツ活動」などの割合が高くなっている。

単位 (%)	自治会などの活動	お祭り・盆踊りなど	子ども会やPTA活動	趣味のサークル・文化活動	消防団活動	女性活動	老人クラブ活動	宗教行事	まちづくり活動	防犯活動・交通安全
全体(N=819)	44.3	28.4	12.9	9.0	7.0	3.4	3.3	3.3	3.2	2.7
【地区別】										
宇和島地区(n=213)	31.9	17.8	11.3	7.5	2.3	0.9	1.9	0.9	2.8	1.4
吉田地区(n=207)	41.1	29.0	14.0	8.2	9.7	4.3	1.9	5.8	3.4	1.0
三間地区(n=214)	53.3	31.8	17.8	9.3	6.1	3.3	6.5	3.7	1.9	4.2
津島地区(n=181)	52.5	35.9	7.7	11.6	10.5	5.5	2.8	2.8	5.0	4.4
【性別】										
男性(n=353)	53.3	28.0	9.3	6.2	15.0	0.3	4.0	4.0	4.2	4.5
女性(n=462)	37.7	28.8	15.6	11.3	0.9	5.8	2.8	2.8	2.4	1.3

単位 (%)	子育て支援活動	高齢者支援活動	障がい者支援活動	子どもや青少年の育成活動	生涯学習活動	その他	参加していない
全体(N=819)	2.7	1.8	1.5	1.5	1.0	1.8	33.7
【地区別】							
宇和島地区(n=213)	3.3	2.3	0.5	0.0	0.5	2.3	47.4
吉田地区(n=207)	2.9	1.9	2.4	1.9	1.0	1.0	34.3
三間地区(n=214)	0.9	1.9	2.3	1.4	1.9	1.4	27.1
津島地区(n=181)	3.9	1.1	0.6	2.8	0.6	2.2	24.9
【性別】							
男性(n=353)	1.1	2.0	1.1	1.1	1.1	2.0	31.4
女性(n=462)	3.9	1.7	1.7	1.7	0.9	1.5	35.3

年齢別では、29歳以下で「お祭り・盆踊りなど」、30～40代で「子ども会やPTA活動」「消防団活動」、50～60代で「自治会などの活動」、70歳以上で「老人クラブ活動」の割合がそれぞれ高く、30代以下で「参加していない」の割合が高くなっている。

単位 (%)	自治会などの活動	お祭り・盆踊りなど	子ども会やPTA活動	趣味のサークル・文化活動	消防団活動	女性活動	老人クラブ活動	宗教行事	まちづくり活動	防犯活動・交通安全活動
全体(N=819)	44.3	28.4	12.9	9.0	7.0	3.4	3.3	3.3	3.2	2.7
【年齢別】										
29歳以下(n=152)	11.2	36.8	4.6	7.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
30代(n=136)	33.8	31.6	27.2	6.6	13.2	2.2	0.0	0.0	1.5	0.7
40代(n=146)	51.4	26.7	29.5	5.5	15.1	4.8	0.0	3.4	3.4	2.1
50代(n=171)	62.0	28.7	10.5	9.4	4.7	3.5	0.6	7.0	6.4	4.7
60代(n=80)	63.8	25.0	0.0	13.8	0.0	6.3	3.8	2.5	6.3	2.5
70歳以上(n=132)	50.0	18.2	0.0	13.6	0.0	4.5	17.4	6.1	1.5	6.1

単位 (%)	子育て支援活動	高齢者支援活動	障がい者支援活動	子どもや青少年の育成活動	生涯学習活動	その他	参加していない
全体(N=819)	2.7	1.8	1.5	1.5	1.0	1.8	33.7
【年齢別】							
29歳以下(n=152)	2.0	0.7	0.7	1.3	0.0	0.0	52.6
30代(n=136)	5.1	0.0	2.2	0.0	0.0	1.5	41.9
40代(n=146)	4.1	0.7	1.4	3.4	1.4	1.4	27.4
50代(n=171)	1.2	2.3	3.5	2.3	1.2	2.9	26.9
60代(n=80)	2.5	2.5	0.0	1.3	1.3	0.0	23.8
70歳以上(n=132)	1.5	5.3	0.0	0.0	2.3	4.5	25.8

付き合い程度別では、親しい人がいる層で「自治会などの活動」「お祭り・盆踊りなど」、付き合いがない層で「参加していない」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	自治会などの活動	お祭り・盆踊りなど	子ども会やPTA活動	趣味・スポーツ・文化活動	消防団活動	女性活動	老人クラブ活動	宗教行事	まちづくり活動	防犯活動・交通安全活動
全体(N=819)	44.3	28.4	12.9	9.0	7.0	3.4	3.3	3.3	3.2	2.7
【付き合い程度別】										
親しい人がいる(n=184)	65.2	35.3	12.5	16.8	10.9	5.4	6.0	7.1	7.1	3.8
訪問し合う人がいる(n=94)	55.3	30.9	14.9	17.0	8.5	7.4	9.6	8.5	2.1	3.2
立ち話をする程度(n=202)	52.0	28.7	14.9	5.4	7.4	3.0	3.5	2.5	2.0	3.5
あいさつをする程度(n=276)	28.3	25.4	12.3	5.8	4.3	1.1	0.0	0.4	2.2	1.4
付き合いがない(n=59)	10.2	15.3	8.5	0.0	3.4	1.7	0.0	0.0	1.7	1.7

単位 (%)	子育て支援活動	高齢者支援活動	障がい者支援活動	子どもや青少年の育成活動	生涯学習活動	その他	参加していない
全体(N=819)	2.7	1.8	1.5	1.5	1.0	1.8	33.7
【付き合い程度別】							
親しい人がいる(n=184)	3.3	3.8	1.1	2.7	0.5	1.1	16.3
訪問し合う人がいる(n=94)	4.3	4.3	2.1	0.0	4.3	3.2	18.1
立ち話をする程度(n=202)	2.5	1.0	2.0	0.5	1.5	3.5	26.7
あいさつをする程度(n=276)	1.8	0.7	1.4	1.4	0.0	1.1	48.9
付き合いがない(n=59)	1.7	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	67.8

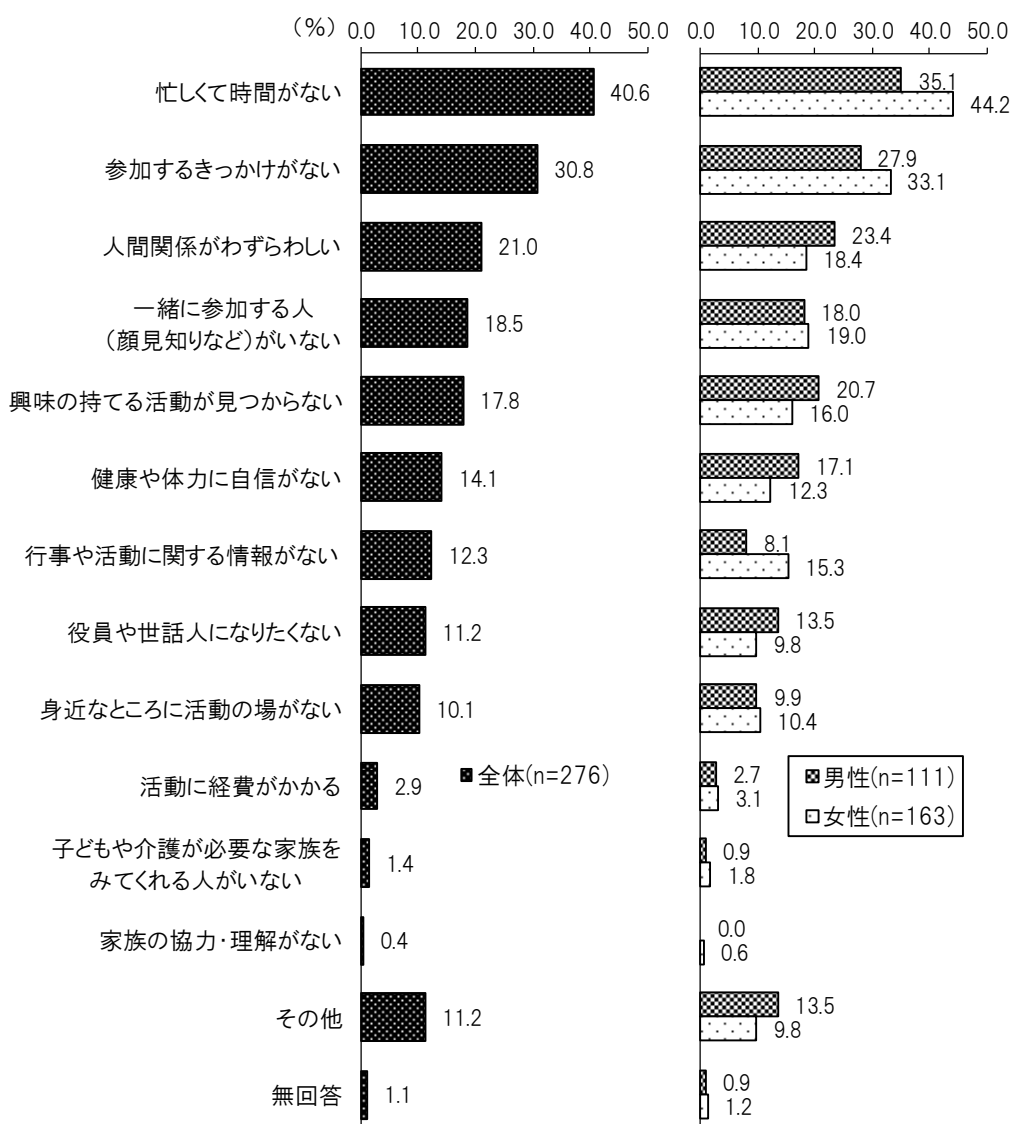
8 参加していない理由

【問 13 で「17」と回答した方におたずねします】

問 14 参加していない理由は何ですか。（○印いくつでも）

参加していない理由については、「忙しくて時間がない」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「参加するきっかけがない」(30.8%)、「人間関係がわずらわしい」(21.0%)、「一緒に参加する人(顔見知りなど)がいない」(18.5%)、「興味の持てる活動が見つからない」(17.8%)の順となっている。また「その他」では、「コロナのため」「面倒くさいから」などの意見がみられた。

性別では、男性は女性に比べ「人間関係がわずらわしい」の割合が高く、女性は「忙しくて時間がない」「行事や活動に関する情報がない」などの割合が男性を上回っている。



年齢別では、29歳以下で「参加するきっかけがない」、30～40代で「一緒に参加する人（顔見知りなど）がいない」、40～50代で「忙しくて時間がない」、60代以上で「健康や体力に自信がない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

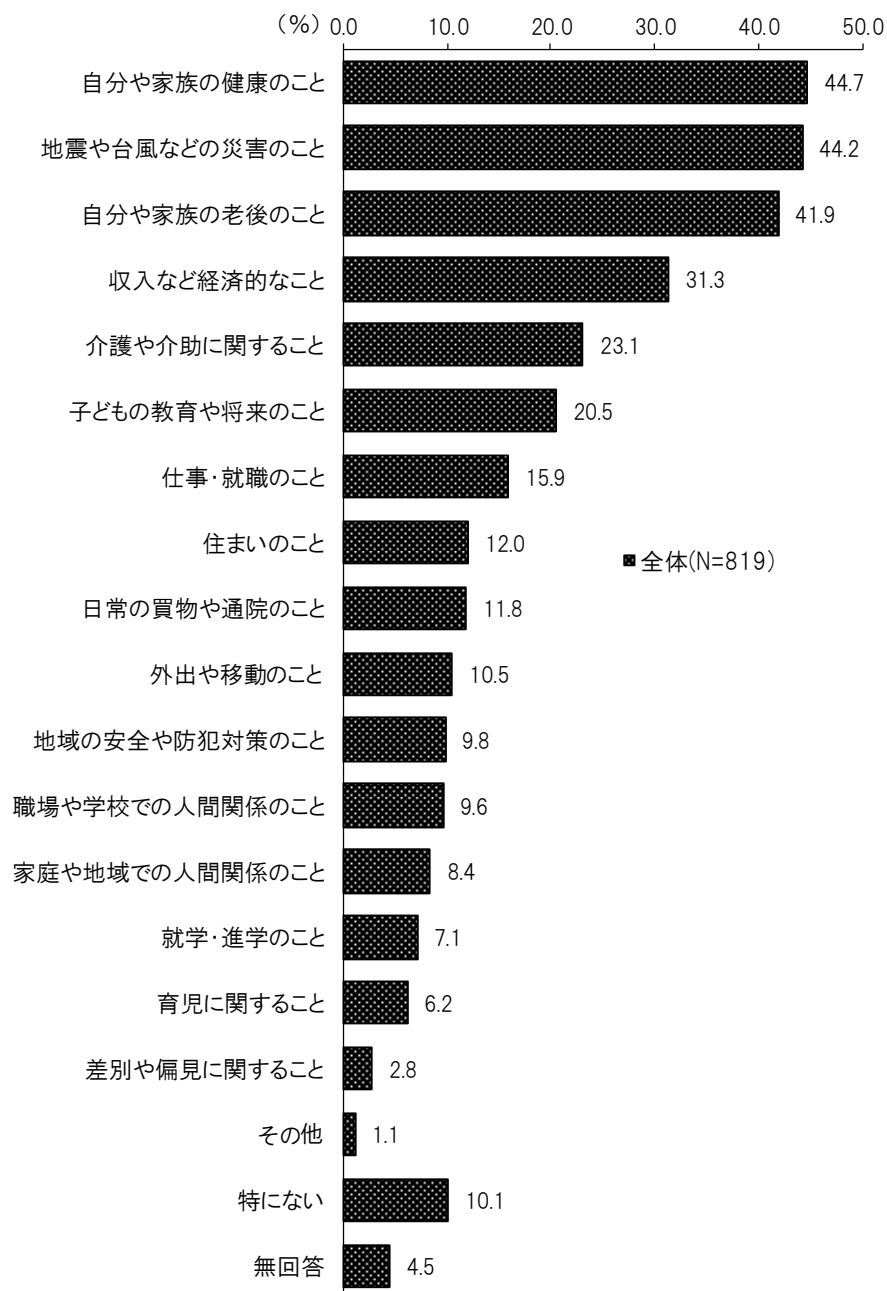
単位 (%)	忙しくて時間がない	参加するきっかけがない	人間関係がわずらわしい	一緒に参加する人（顔見知りなど）がいない	興味の持てる活動が見つからない	健康や体力に自信がない	行事や活動に関する情報がない	役員や世話人になりたくない	身近なところに活動の場がない	活動に経費がかかる	子どもや介護が必要な家族をみてくれる人がいない	家族の協力・理解がない	その他
全体(n=276)	40.6	30.8	21.0	18.5	17.8	14.1	12.3	11.2	10.1	2.9	1.4	0.4	11.2
【年齢別】													
29歳以下(n=80)	43.8	41.3	10.0	16.3	17.5	1.3	12.5	3.8	13.8	2.5	0.0	0.0	15.0
30代(n=57)	43.9	31.6	31.6	29.8	21.1	8.8	21.1	15.8	7.0	7.0	1.8	0.0	10.5
40代(n=40)	52.5	22.5	30.0	25.0	12.5	12.5	7.5	17.5	2.5	0.0	2.5	2.5	5.0
50代(n=46)	52.2	21.7	28.3	15.2	17.4	8.7	13.0	10.9	4.3	4.3	2.2	0.0	10.9
60代(n=19)	21.1	36.8	15.8	15.8	21.1	42.1	5.3	15.8	26.3	0.0	0.0	0.0	15.8
70歳以上(n=34)	8.8	23.5	11.8	2.9	17.6	47.1	5.9	11.8	14.7	0.0	2.9	0.0	8.8

【2】ふだんの相談先や情報入手などについて

1 日頃の悩みや不安

問 15 あなたは、日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(○印いくつでも)

日頃の悩みや不安については、「自分や家族の健康のこと」の割合が44.7%と最も高く、ほぼ並んで「地震や台風などの災害のこと」(44.2%)が続き、以下「自分や家族の老後のこと」(41.9%)、「収入など経済的なこと」(31.3%)、「介護や介助に関すること」(23.1%)の順となっている。



地区別では、津島地区で「収入など経済的なこと」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は男性に比べ「地震や台風などの災害のこと」「子どもの教育や将来のこと」「職場や学校での人間関係のこと」などの割合が高くなっている。

単位 (%)	自分や家族の健康のこと	地震や台風などの災害のこと	自分や家族の老後のこと	収入など経済的なこと	介護や介助に関すること	子どもの教育や将来のこと	仕事・就職のこと	住まいのこと	日常の買物や通院のこと	外出や移動のこと	地域の安全や防犯対策のこと
全体(N=819)	44.7	44.2	41.9	31.3	23.1	20.5	15.9	12.0	11.8	10.5	9.8
【地区別】											
宇和島地区(n=213)	43.7	41.3	42.3	31.0	26.8	23.9	15.0	12.2	6.6	8.9	10.8
吉田地区(n=207)	45.9	47.8	41.5	29.5	21.7	18.4	15.9	13.0	12.1	12.6	12.1
三間地区(n=214)	47.7	41.1	40.7	26.6	19.6	18.2	18.7	7.5	14.0	10.7	7.5
津島地区(n=181)	41.4	46.4	43.1	38.1	24.3	22.1	13.8	15.5	14.9	9.9	8.3
【性別】											
男性(n=353)	41.4	39.4	42.2	29.5	21.5	15.0	15.3	9.6	10.2	9.9	8.8
女性(n=462)	47.2	47.6	41.3	32.3	24.0	24.9	16.2	13.9	13.0	11.0	10.6

単位 (%)	職場や学校での人間関係のこと	家庭や地域での人間関係のこと	就学・進学のこと	育児に関すること	差別や偏見に関すること	その他	特にない
全体(N=819)	9.6	8.4	7.1	6.2	2.8	1.1	10.1
【地区別】							
宇和島地区(n=213)	7.0	5.2	4.2	7.0	3.8	1.4	12.2
吉田地区(n=207)	11.6	12.1	6.3	6.8	1.9	1.4	10.1
三間地区(n=214)	10.3	7.9	10.3	6.1	2.3	0.0	9.3
津島地区(n=181)	9.9	8.8	7.7	5.0	3.3	1.7	8.8
【性別】							
男性(n=353)	5.1	7.9	4.0	4.2	2.8	1.1	10.8
女性(n=462)	13.2	8.9	9.5	7.8	2.6	1.1	9.7

年齢別では、30代以下で「仕事・就職のこと」、30～40代で「子どもの教育や将来のこと」、50代以上で「介護や介助に関すること」、70歳以上で「日常の買物や通院のこと」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

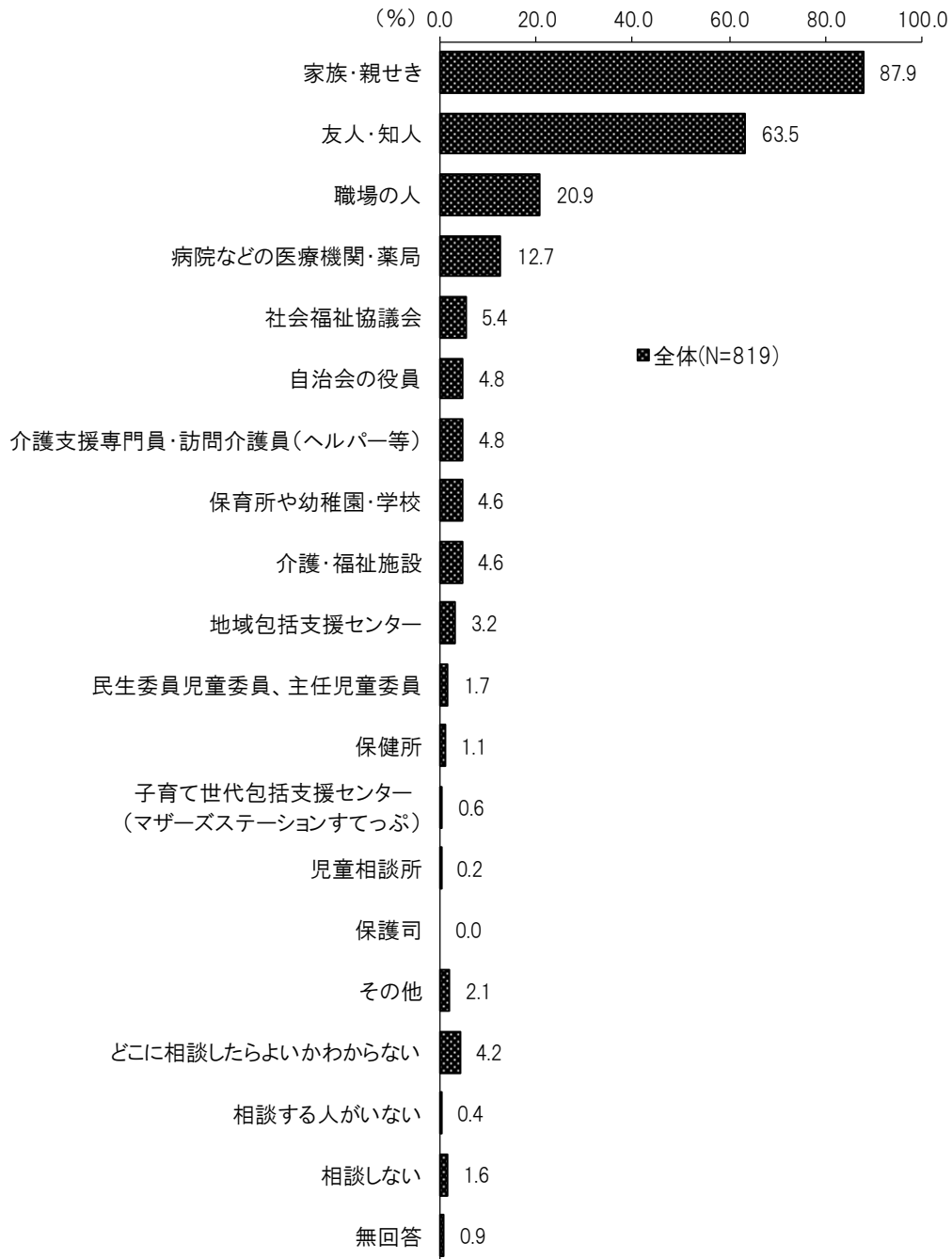
単位 (%)	自分や家族の健康のこと	地震や台風などの災害のこと	自分や家族の老後のこと	収入など経済的なこと	介護や介助に関すること	子どもの教育や将来のこと	仕事・就職のこと	住まいのこと	日常の買物や通院のこと	外出や移動のこと	地域の安全や防犯対策のこと
全体(N=819)	44.7	44.2	41.9	31.3	23.1	20.5	15.9	12.0	11.8	10.5	9.8
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	26.3	33.6	14.5	25.7	9.9	9.2	27.0	7.2	7.2	11.2	5.3
30代(n=136)	46.3	46.3	42.6	38.2	17.6	35.3	25.0	15.4	14.7	14.0	12.5
40代(n=146)	46.6	45.2	43.8	37.0	17.8	43.2	17.8	13.0	4.8	6.8	11.6
50代(n=171)	53.8	48.0	52.6	35.1	35.1	21.1	11.1	12.9	7.0	6.4	7.0
60代(n=80)	48.8	48.8	55.0	35.0	30.0	2.5	11.3	18.8	18.8	12.5	15.0
70歳以上(n=132)	47.7	44.7	47.7	15.9	29.5	3.0	0.8	6.8	23.5	13.6	9.8

単位 (%)	職場や学校での人間関係のこと	家庭や地域での人間関係のこと	就学・進学のこと	育児に関すること	差別や偏見に関すること	その他	特にない
全体(N=819)	9.6	8.4	7.1	6.2	2.8	1.1	10.1
【年齢別】							
29歳以下(n=152)	15.1	7.2	18.4	8.6	2.0	0.7	19.1
30代(n=136)	14.7	11.8	5.9	16.9	2.9	1.5	8.1
40代(n=146)	11.6	10.3	7.5	6.8	4.8	1.4	6.8
50代(n=171)	10.5	8.2	5.8	2.3	4.7	1.8	7.6
60代(n=80)	1.3	8.8	0.0	1.3	1.3	0.0	5.0
70歳以上(n=132)	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.8	12.1

2 困ったときの相談先

問 16 もし、あなたが様々な場面で困ったとき、誰（どこ）に相談しますか。
 (○印いくつでも)

困ったときの相談先については、「家族・親せき」の割合が 87.9%と最も高く、次いで「友人・知人」(63.5%)、「職場の人」(20.9%)、「病院などの医療機関・薬局」(12.7%)の順となっている。



性別では、女性は「友人・知人」「職場の人」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、50代で「友人・知人」、50代以上で「病院などの医療機関・薬局」「社会福祉協議会」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

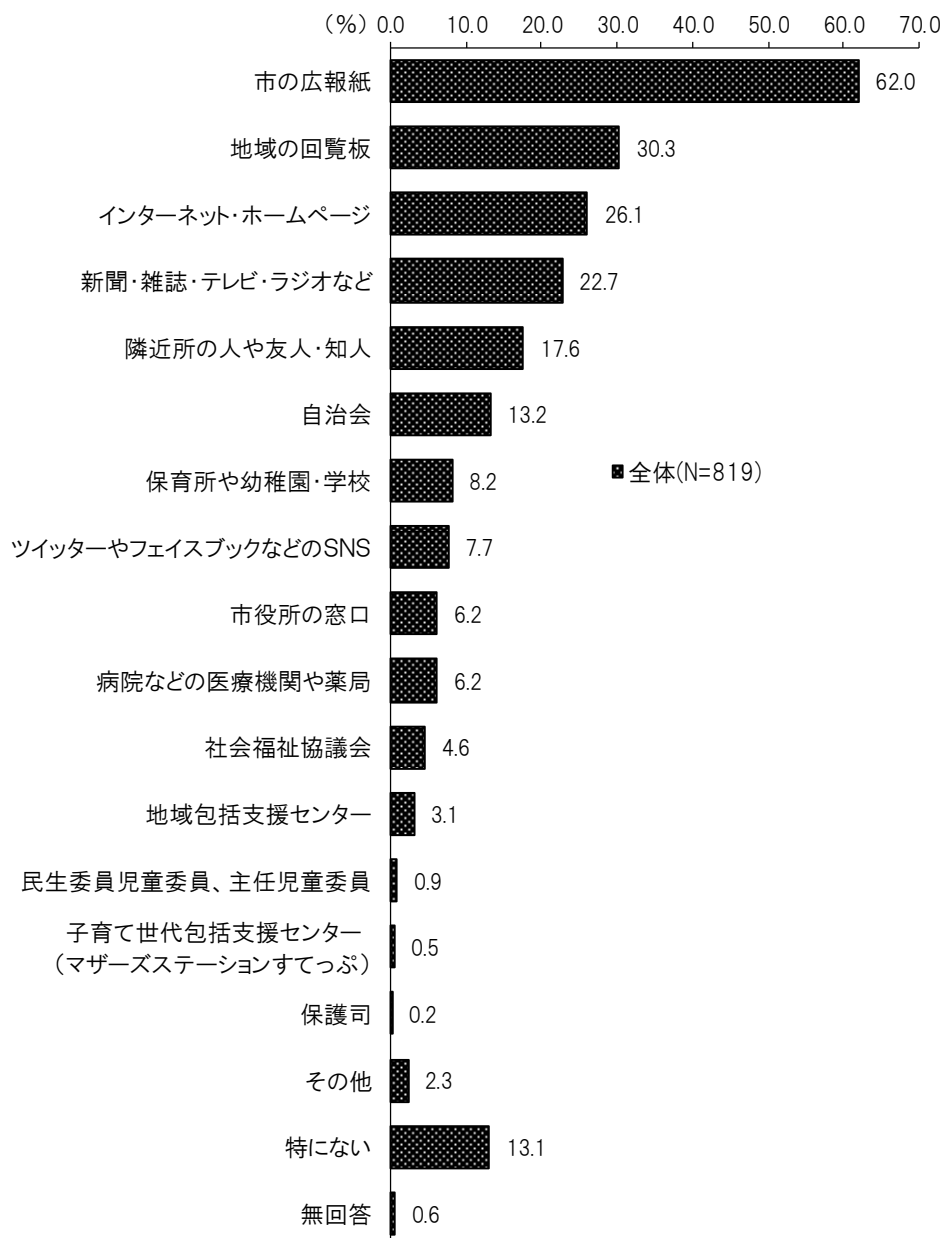
単位 (%)	家族・親せき	友人・知人	職場の人	病院などの医療機関・薬局	社会福祉協議会	自治会の役員	等) 問 介護支援専門員(ヘルパー) 訪問	校 保育所や幼稚園・学	介 護・福祉施設	タ 地域包括支援セン	民生委員児童委員、主任児童委員
全体(N=819)	87.9	63.5	20.9	12.7	5.4	4.8	4.8	4.6	4.6	3.2	1.7
【性別】											
男性(n=353)	83.3	57.2	14.4	9.9	6.5	6.5	4.2	1.1	4.5	2.5	2.8
女性(n=462)	91.6	68.4	25.8	14.9	4.5	3.2	5.2	7.1	4.8	3.7	0.9
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	86.2	67.8	23.0	5.9	2.0	1.3	2.6	8.6	4.6	0.7	0.0
30代(n=136)	88.2	64.7	30.1	8.8	1.5	1.5	0.7	8.1	1.5	0.7	0.0
40代(n=146)	90.4	63.7	26.0	9.6	1.4	1.4	2.1	6.8	0.7	1.4	0.7
50代(n=171)	86.0	72.5	28.7	18.7	9.9	5.3	9.9	1.8	8.8	6.4	1.8
60代(n=80)	82.5	50.0	5.0	13.8	8.8	8.8	5.0	0.0	3.8	6.3	3.8
70歳以上(n=132)	92.4	53.0	2.3	19.7	9.8	12.1	7.6	0.0	7.6	4.5	5.3

単位 (%)	保健所	子育て世代包括支援センター(子どもマザーズ)	児童相談所	保護司	その他	どこに相談したらよいかわからない	相談する人がいない	相談しない
全体(N=819)	1.1	0.6	0.2	0.0	2.1	4.2	0.4	1.6
【性別】								
男性(n=353)	0.8	0.0	0.0	0.0	2.0	4.0	0.8	3.4
女性(n=462)	1.3	1.1	0.4	0.0	1.9	4.1	0.0	0.2
【年齢別】								
29歳以下(n=152)	1.3	2.0	1.3	0.0	2.6	2.0	0.7	3.9
30代(n=136)	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	5.1	0.7	1.5
40代(n=146)	1.4	1.4	0.0	0.0	2.1	2.7	0.0	0.7
50代(n=171)	1.2	0.0	0.0	0.0	2.3	3.5	0.0	1.2
60代(n=80)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	11.3	1.3	1.3
70歳以上(n=132)	0.8	0.0	0.0	0.0	2.3	3.8	0.0	0.8

3 福祉に関する情報の入手先

問 17 あなたは福祉サービスや福祉活動に関する情報をどこから入手していますか。
(○印いくつでも)

福祉に関する情報の入手先については、「市の広報紙」の割合が62.0%と最も高く、次いで「地域の回覧板」(30.3%)、「インターネット・ホームページ」(26.1%)、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど」(22.7%)、「隣近所の人や友人・知人」(17.6%)の順となっている。



地区別では、三間地区で「市の広報紙」、津島地区で「新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど」「ツイッターやフェイスブックなどのSNS」の割合が他の地区に比べてやや高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「地域の回覧板」「自治会」の割合が高く、女性は「隣近所の人や友人・知人」「保育所や幼稚園・学校」などの割合が男性を上回っている。

単位 (%)	市の広報紙	地域の回覧板	インターネット・ホームページ	新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど	隣近所の人や友人・知人	自治会	校保育所や幼稚園・学校	S SNS	ツイッターやフェイスブックなどのSNS	市役所の窓口	病院などの医療機関や薬局	社会福祉協議会
全体(N=819)	62.0	30.3	26.1	22.7	17.6	13.2	8.2	7.7	6.2	6.2	4.6	
【地区別】												
宇和島地区(n=213)	62.0	32.4	28.2	19.7	15.5	10.3	7.0	6.6	4.2	7.0	1.4	
吉田地区(n=207)	60.4	30.0	24.6	22.7	21.3	13.0	7.2	5.8	7.7	7.7	7.2	
三間地区(n=214)	65.9	26.2	25.2	22.4	16.4	15.4	10.7	6.1	6.1	5.1	4.7	
津島地区(n=181)	59.1	33.1	26.5	27.1	17.1	13.8	7.7	12.7	7.2	5.0	5.5	
【性別】												
男性(n=353)	59.2	33.4	26.6	21.0	13.9	19.0	3.7	5.9	6.8	5.1	5.4	
女性(n=462)	64.1	27.9	26.0	24.2	20.6	8.7	11.7	8.9	5.8	7.1	4.1	

単位 (%)	地域包括支援センター	民生児童委員、主任児童委員、児童委員	子育て世代包括支援センター(マザーズクラブ)	保護司	その他	特にない
全体(N=819)	3.1	0.9	0.5	0.2	2.3	13.1
【地区別】						
宇和島地区(n=213)	2.8	0.5	0.9	0.5	2.8	14.6
吉田地区(n=207)	2.9	0.5	0.0	0.5	1.9	13.5
三間地区(n=214)	3.3	1.9	0.5	0.0	1.9	13.6
津島地区(n=181)	3.3	0.6	0.6	0.0	2.2	10.5
【性別】						
男性(n=353)	2.3	1.7	0.0	0.6	1.4	14.7
女性(n=462)	3.5	0.2	0.9	0.0	2.8	11.9

年齢別では、30代で「インターネット・ホームページ」「保育所や幼稚園・学校」、60代以上で「隣近所の人や友人・知人」、70歳以上で「新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど」「自治会」の割合がそれぞれ高く、年齢が上がるほど「地域の回覧板」の割合が高くなっている。

単位 (%)	市の広報紙	地域の回覧板	インターネット・ホームページ	新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど	隣近所の人や友人・知人	自治会	保育所や幼稚園・学校	S	ツイッターやフェイスブックなどのSNS	市役所の窓口	病院などの医療機関や薬局	社会福祉協議会
全体(N=819)	62.0	30.3	26.1	22.7	17.6	13.2	8.2	7.7	6.2	6.2	4.6	
【年齢別】												
29歳以下(n=152)	28.3	9.2	30.9	17.1	9.9	3.3	9.9	13.8	4.6	3.9	1.3	
30代(n=136)	55.9	22.1	39.0	17.6	16.2	7.4	22.1	16.2	6.6	9.6	2.2	
40代(n=146)	74.7	30.1	32.9	19.2	12.3	13.0	13.0	8.2	7.5	2.7	3.4	
50代(n=171)	70.2	33.3	29.2	23.4	15.2	12.9	1.2	2.9	6.4	11.7	8.2	
60代(n=80)	68.8	45.0	13.8	27.5	27.5	18.8	1.3	2.5	8.8	5.0	7.5	
70歳以上(n=132)	78.0	49.2	3.8	34.8	31.1	26.5	0.0	0.0	4.5	3.0	6.1	

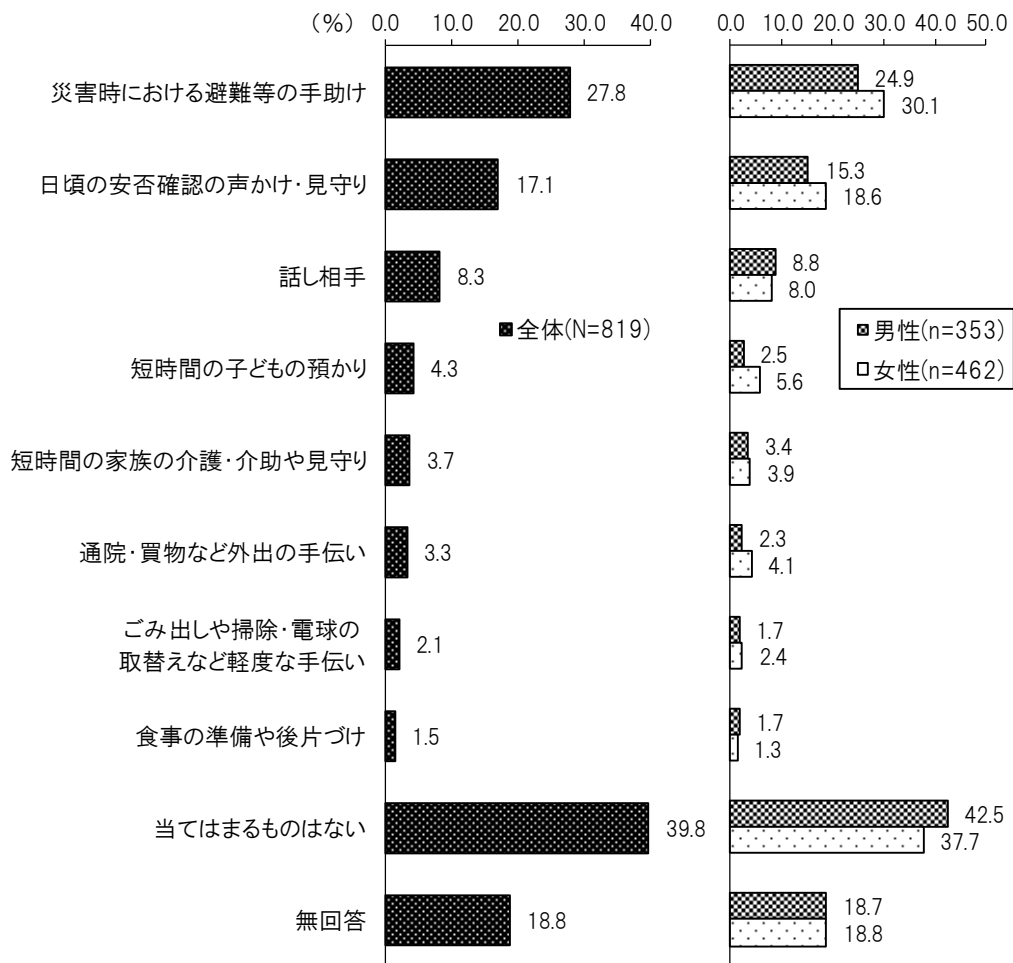
単位 (%)	地域包括支援センター	民生児童委員、主任児童委員	子育て世代包括支援センター(マザーズ)	保護司	その他	特にない
全体(N=819)	3.1	0.9	0.5	0.2	2.3	13.1
【年齢別】						
29歳以下(n=152)	0.7	0.0	1.3	0.0	3.9	32.2
30代(n=136)	1.5	0.0	0.7	0.0	0.7	14.0
40代(n=146)	1.4	0.0	0.7	0.0	1.4	5.5
50代(n=171)	5.3	1.2	0.0	0.0	4.7	7.6
60代(n=80)	5.0	1.3	0.0	0.0	0.0	8.8
70歳以上(n=132)	5.3	3.0	0.0	1.5	1.5	8.3

4 手助けをしてもらいたいこと

問 18① ご近所のお付き合いの中で、あなたやあなたの家族が「手助けをしてもらいたいこと」はありますか。(○印いくつでも)

手助けをしてもらいたいことについては、「災害時における避難等の手助け」の割合が27.8%と最も高く、次いで「日頃の安否確認の声かけ・見守り」(17.1%)、「話し相手」(8.3%)、「短時間の子どもの預かり」(4.3%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「災害時における避難等の手助け」の割合が高くなっている。



年齢別では、29歳以下で「災害時における避難等の手助け」、30代で「短時間の子ども預かり」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

同居家族別では、小学校入学前の子どもで「短時間の子ども預かり」、介護・介助を必要とする方で「災害時における避難等の手助け」の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。

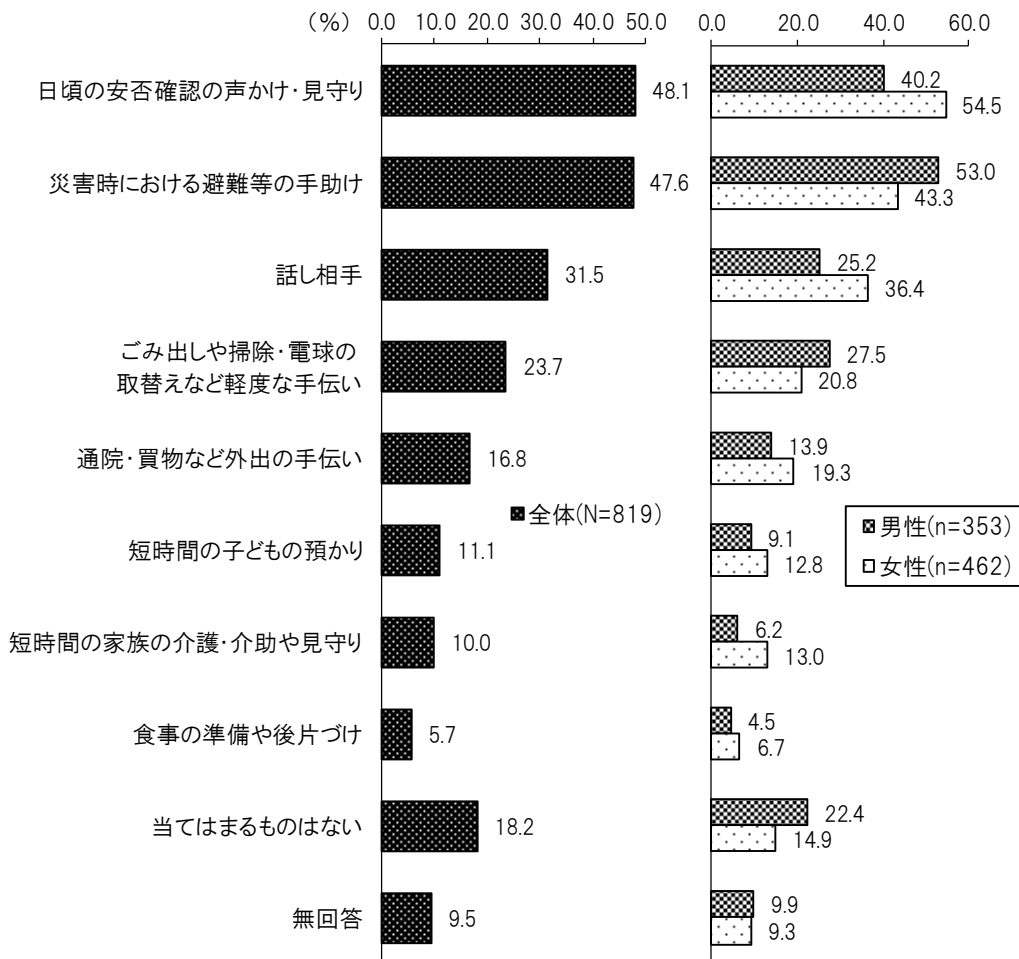
単位 (%)	災害時における避難等の手助け	日頃の安否確認の声かけ・見守り	話し相手	短時間の子ども預かり	短時間の家族の介護・介助や見守り	通院・買物など外出の手伝い	ゴミ出しや掃除・電球の取替えなど軽度な手伝い	食事の準備や後片づけ	当てはまるものはない
全体(N=819)	27.8	17.1	8.3	4.3	3.7	3.3	2.1	1.5	39.8
【年齢別】									
29歳以下(n=152)	33.6	13.2	9.2	3.9	3.9	3.9	3.3	2.0	44.7
30代(n=136)	29.4	19.9	5.9	12.5	4.4	2.9	1.5	1.5	42.6
40代(n=146)	23.3	16.4	8.9	6.8	4.1	3.4	0.0	1.4	42.5
50代(n=171)	26.9	18.1	6.4	1.2	5.3	1.8	1.8	1.2	42.1
60代(n=80)	27.5	12.5	7.5	0.0	2.5	2.5	1.3	1.3	37.5
70歳以上(n=132)	25.8	21.2	12.1	0.0	0.8	5.3	4.5	1.5	27.3
【同居家族別】									
小学校入学前の子ども(n=110)	31.8	21.8	6.4	24.5	5.5	4.5	2.7	0.9	35.5
小学生の子ども(n=126)	31.7	27.8	7.1	11.9	3.2	7.9	2.4	1.6	38.1
中学生の子ども(n=80)	33.8	22.5	2.5	2.5	1.3	3.8	1.3	1.3	33.8
高校生以上の子ども(n=193)	19.7	11.4	7.3	1.6	2.1	1.6	1.6	1.0	45.6
介護・介助を必要とする方(n=84)	45.2	17.9	14.3	0.0	14.3	9.5	1.2	6.0	28.6
いずれもない(n=353)	26.1	15.0	8.8	1.1	2.3	1.7	2.0	0.6	41.9

5 手助けできること

問 18② ご近所のお付き合いの中で、あなたのご近所に介護や子育て等で困っている家庭があった場合、あなたが「手助けできること」はありますか。(〇印いくつでも)

手助けできることについては、「日頃の安否確認の声かけ・見守り」の割合が48.1%と最も高く、ほぼ並んで「災害時における避難等の手助け」(47.6%)が続き、以下「話し相手」(31.5%)、「ごみ出しや掃除・電球の取替えなど軽度な手伝い」(23.7%)、「通院・買物など外出の手伝い」(16.8%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「災害時における避難等の手助け」「ごみ出しや掃除・電球の取替えなど軽度な手伝い」の割合が高く、女性は「日頃の安否確認の声かけ・見守り」「話し相手」の割合が男性を大きく上回っている。

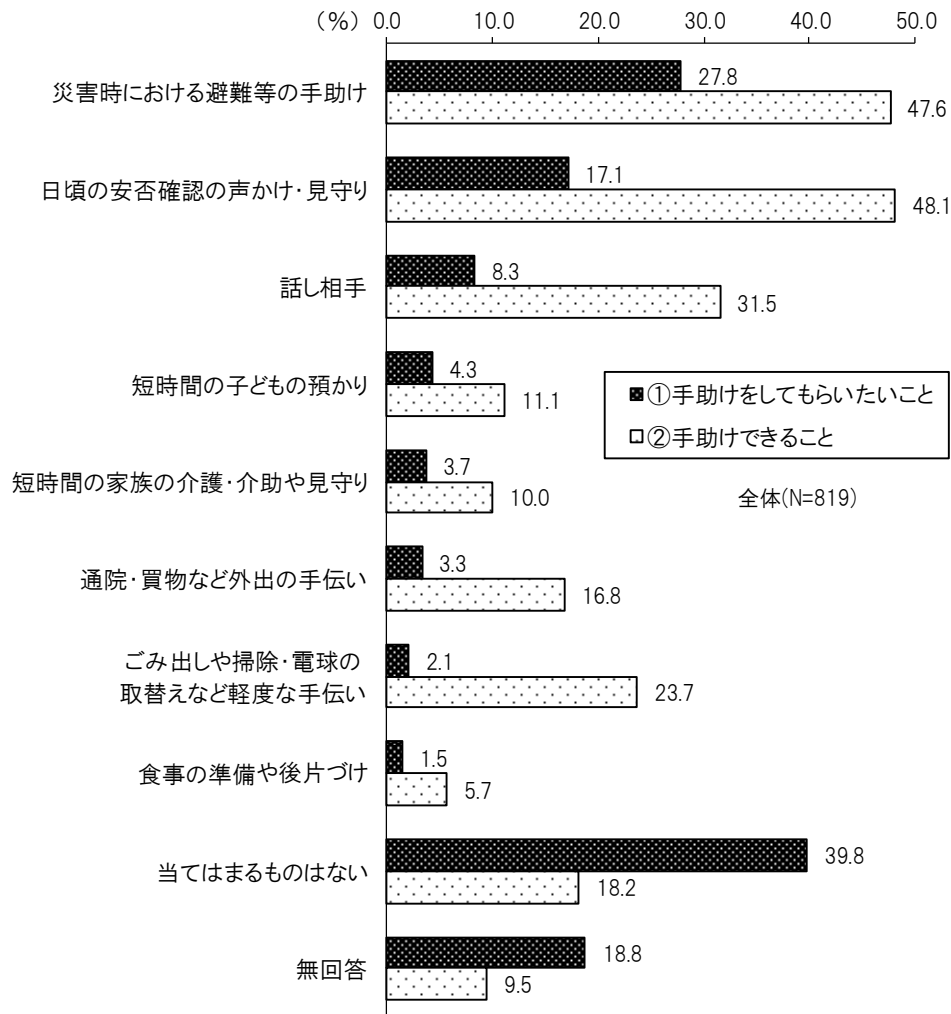


年齢別では、30代以下で「当てはまるものはない」、40代で「話し相手」、50代で「災害時における避難等の手助け」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

付き合い程度別では、親しい人がいる層で「日頃の安否確認の声かけ・見守り」「災害時における避難等の手助け」など手助けできることが多く、付き合いの程度と手助けできることには関連がみられる。

単位(%)	見守り 日頃の安否確認の声かけ・	災害時における避難等の手助け	話し相手	ごみ出しや掃除・電球の取 替えなど軽度な手伝い	通院・買物など外出の手伝い	短時間の子どもの預かり	短時間の家族の介護・介助 や見守り	食事の準備や後片づけ	当てはまるものはない
全体(N=819)	48.1	47.6	31.5	23.7	16.8	11.1	10.0	5.7	18.2
【年齢別】									
29歳以下(n=152)	42.1	52.0	31.6	25.0	21.1	13.2	12.5	10.5	22.4
30代(n=136)	46.3	44.9	29.4	25.7	18.4	12.5	10.3	7.4	25.0
40代(n=146)	52.7	54.1	37.0	23.3	14.4	8.9	10.3	5.5	17.1
50代(n=171)	56.1	58.5	29.2	29.2	17.5	12.9	11.7	3.5	14.0
60代(n=80)	57.5	41.3	31.3	17.5	12.5	11.3	5.0	3.8	13.8
70歳以上(n=132)	35.6	27.3	30.3	15.9	14.4	7.6	7.6	3.0	15.9
【付き合い程度別】									
親しい人がいる(n=184)	64.1	60.3	45.1	36.4	23.4	13.6	14.1	8.2	6.5
訪問し合う人がいる(n=94)	48.9	44.7	46.8	17.0	18.1	9.6	10.6	6.4	12.8
立ち話をする程度(n=202)	54.0	49.0	32.2	25.2	16.8	13.4	9.9	5.4	12.4
あいさつをする程度(n=276)	39.9	44.2	21.4	19.2	15.2	9.8	8.7	5.1	25.7
付き合いがない(n=59)	16.9	25.4	8.5	10.2	3.4	3.4	1.7	1.7	47.5

【参考／問 18 「①手助けをしてもらいたいこと」と「②手助けできること」の比較】



【3】地域の福祉について

1 地域の福祉課題への関心度

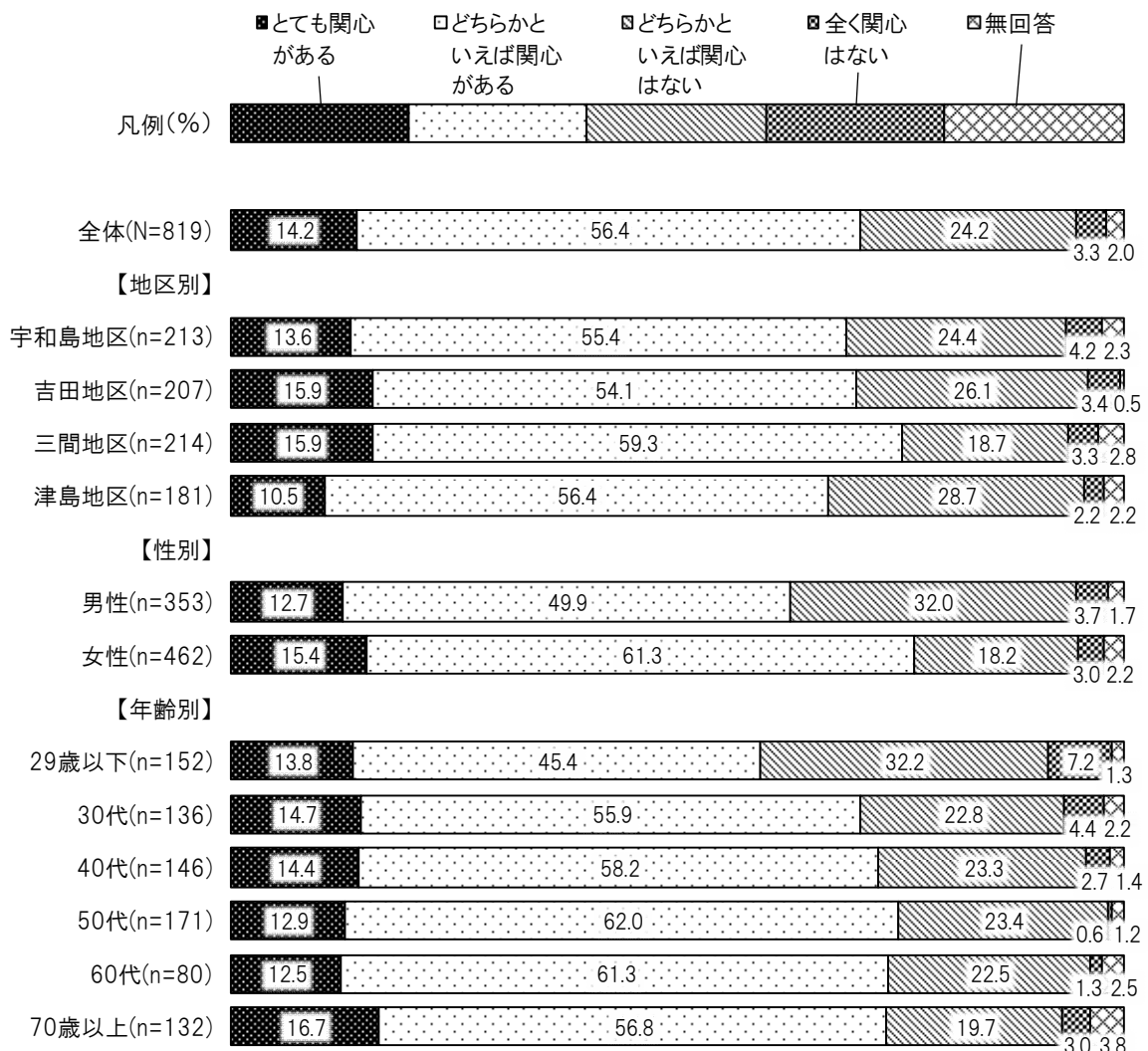
問 19 あなたは、地域の福祉課題（例：独り暮らし高齢者の見守り、生活困窮、子どもの貧困、子どもや高齢者への虐待、社会的孤立など）に関心がありますか。
 (○印1つ)

地域の福祉課題への関心度については、「とても関心がある」が14.2%、「どちらかといえば関心がある」が56.4%で、合計約7割(70.6%)が『関心がある』と回答している。一方、「どちらかといえば関心はない」(24.2%)、「全く関心はない」(3.3%)の合計は27.5%であった。

地区別では、三間地区で『関心がある(合計)』の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は「どちらかといえば関心はない」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「どちらかといえば関心がある」の割合が高くなっている。

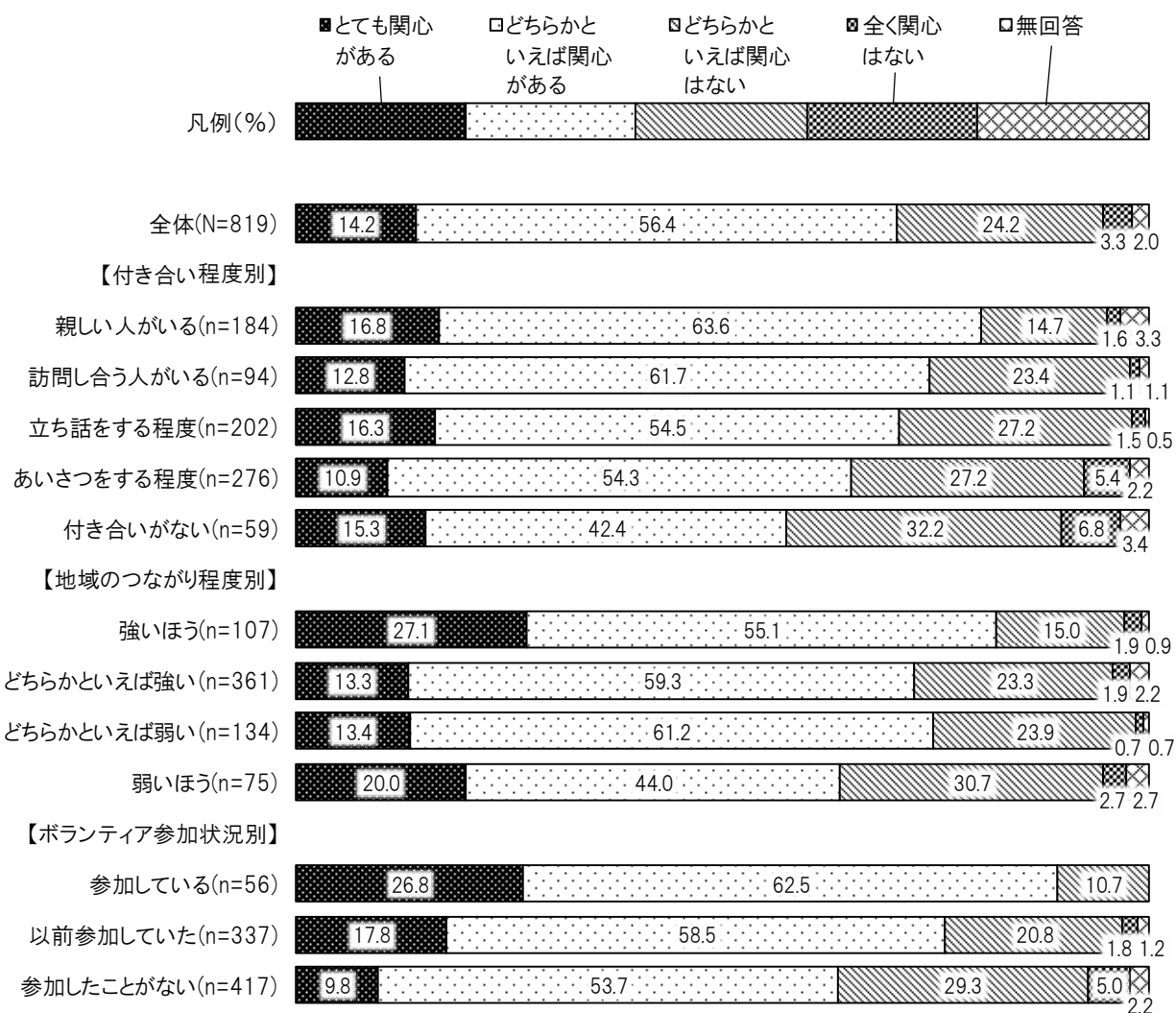
年齢別では、29歳以下で『関心はない(合計)』の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



付き合い程度別では、付き合いが親しい層ほど『関心がある（合計）』の割合が高くなっている。

地域のつながり程度別では、強いと感じている層で「とても関心がある」の割合が高くなっている。

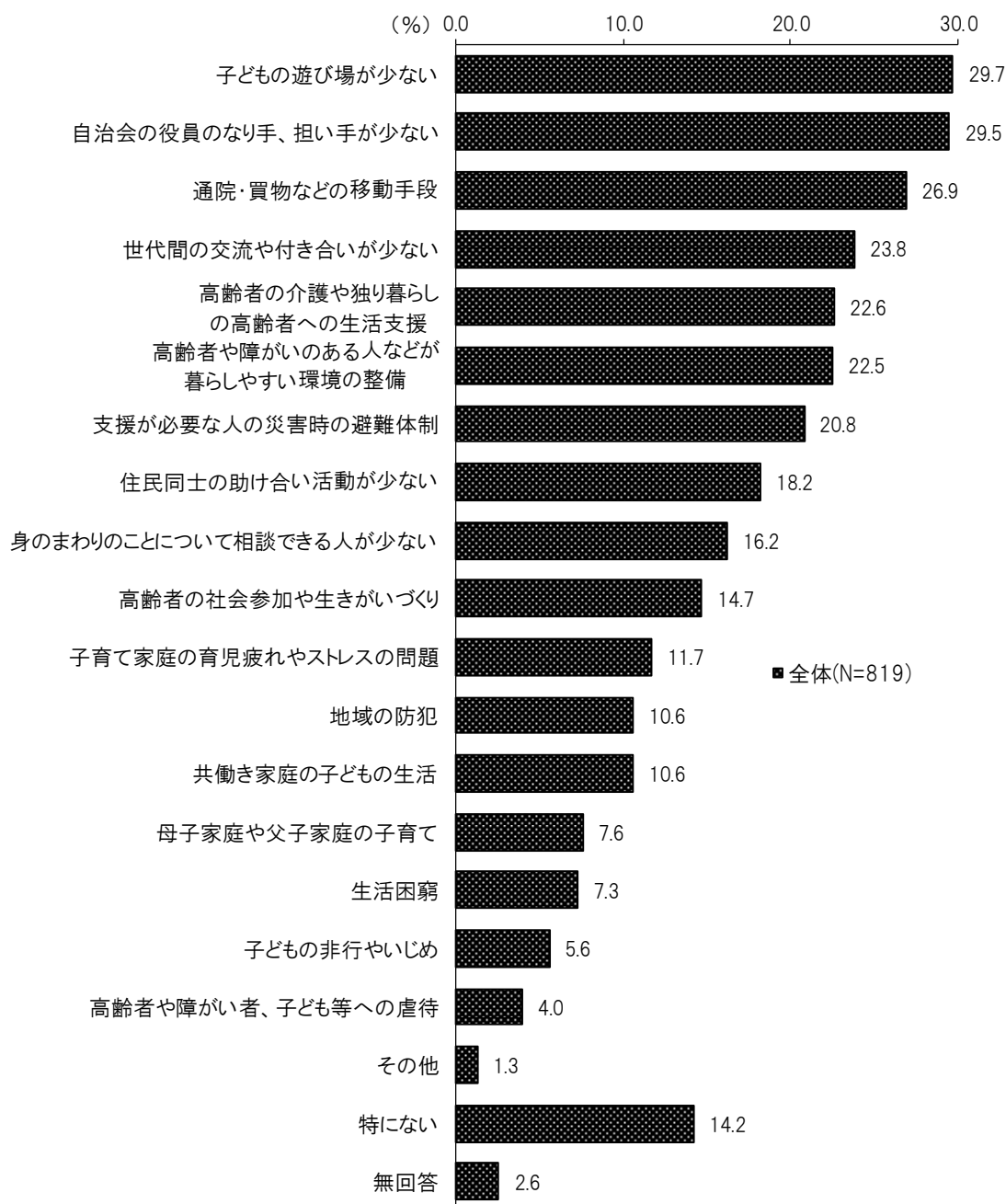
ボランティア参加状況別（問 27）では、参加経験がある層で『関心がある（合計）』の割合が高くなっている。



2 地域の問題や課題

問 20 あなたの住んでいる地域では、福祉に関して特にどのような問題や課題が多いと感じていますか。（○印いくつでも）

地域の問題や課題については、「子どもの遊び場が少ない」の割合が29.7%と最も高く、ほぼ並んで「自治会の役員のみなり手、担い手が少ない」（29.5%）が続き、以下「通院・買物などの移動手段」（26.9%）、「世代間の交流や付き合いが少ない」（23.8%）、「高齢者の介護やひとり暮らしの高齢者への生活支援」（22.6%）の順となっている。



地区別では、宇和島地区で「子どもの遊び場が少ない」「住民同士の助け合い活動が少ない」、吉田地区で「支援が必要な人の災害時の避難体制」、三間地区で「通院・買物などの移動手段」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「身のまわりのことについて相談できる人が少ない」の割合が高く、女性は「子どもの遊び場が少ない」「通院・買物などの移動手段」などの割合が男性を上回っている。

単位 (%)	子どもの遊び場が少ない	自治会の役員の手、担い手が少ない	通院・買物などの移動手段	世代間の交流や付き合いが少ない	高齢者の介護や生活支援	高齢者の暮らしや環境の整備	高齢者や障がいのある人の災害時の避難体制	支援が必要な人の災害時の避難体制	住民同士の助け合い活動が少ない	身のまわりの人が少ない	高齢者の社会参加や生きがいづくり	子育て家庭の育児疲れやストレスの問題
全体(N=819)	29.7	29.5	26.9	23.8	22.6	22.5	20.8	18.2	16.2	14.7	11.7	
【地区別】												
宇和島地区(n=213)	34.7	32.4	20.7	27.2	24.9	25.8	20.2	24.4	18.8	9.9	10.8	
吉田地区(n=207)	27.1	27.5	26.1	24.6	23.2	25.1	29.0	17.9	19.8	19.8	16.4	
三間地区(n=214)	26.6	29.0	33.2	24.8	18.7	18.2	13.6	16.4	13.1	15.9	10.7	
津島地区(n=181)	29.3	29.8	27.1	18.2	24.3	19.9	19.9	13.8	13.3	13.3	8.8	
【性別】												
男性(n=353)	26.1	30.9	23.8	25.8	21.5	20.7	20.4	18.4	19.3	13.6	8.8	
女性(n=462)	32.3	28.6	29.2	22.5	23.4	23.4	20.8	18.2	14.1	15.6	14.1	

単位 (%)	地域の防犯	共働き家庭の子どもの生活	子育て家庭や父子家庭の子	生活困窮	子どもの非行やいじめ	高齢者や障がい者、子ども等への虐待	その他	特になし
全体(N=819)	10.6	10.6	7.6	7.3	5.6	4.0	1.3	14.2
【地区別】								
宇和島地区(n=213)	9.9	13.1	6.6	6.1	8.5	3.8	0.5	16.4
吉田地区(n=207)	11.6	9.2	9.7	8.7	6.3	6.3	2.4	13.0
三間地区(n=214)	7.9	11.2	7.0	7.9	4.2	4.2	0.9	14.5
津島地区(n=181)	13.3	8.3	6.6	6.6	2.8	1.7	1.7	12.2
【性別】								
男性(n=353)	12.5	9.9	5.9	8.8	3.7	2.5	1.4	14.2
女性(n=462)	9.3	11.0	8.7	6.3	6.9	5.2	1.3	14.3

年齢別では、30代で「子どもの遊び場が少ない」「共働き家庭の子どもの生活」、50代で「高齢者の介護や独り暮らしの高齢者への生活支援」「高齢者や障がいのある人などが暮らしやすい環境の整備」、70歳以上で「住民同士の助け合い活動が少ない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	子どもの遊び場が少ない	自治会の役員の手、担い手が少ない	通院・買物などの移動手段	世代間の交流や付き合いが少ない	高齢者の介護や独り暮らし支援	高齢者や障がいのある人などが暮らしやすい環境の整備	支援が必要な人の災害時の避難体制	住民同士の助け合い活動が少ない	身のまわりの人が少ない	高齢者の社会参加や生きがいづくり	子育て家庭の問題
全体(N=819)	29.7	29.5	26.9	23.8	22.6	22.5	20.8	18.2	16.2	14.7	11.7
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	32.9	11.2	27.6	21.1	21.1	15.8	15.8	16.4	10.5	11.2	16.4
30代(n=136)	47.1	28.7	25.7	22.1	20.6	19.9	17.6	13.2	19.9	7.4	16.9
40代(n=146)	40.4	34.9	26.7	24.7	24.7	24.7	24.7	17.8	14.4	14.4	20.5
50代(n=171)	22.2	39.2	27.5	22.2	30.4	30.4	28.7	15.2	17.5	16.4	7.6
60代(n=80)	17.5	30.0	25.0	26.3	22.5	25.0	23.8	17.5	17.5	20.0	3.8
70歳以上(n=132)	12.1	33.3	27.3	28.8	14.4	18.2	12.9	30.3	18.2	21.2	1.5

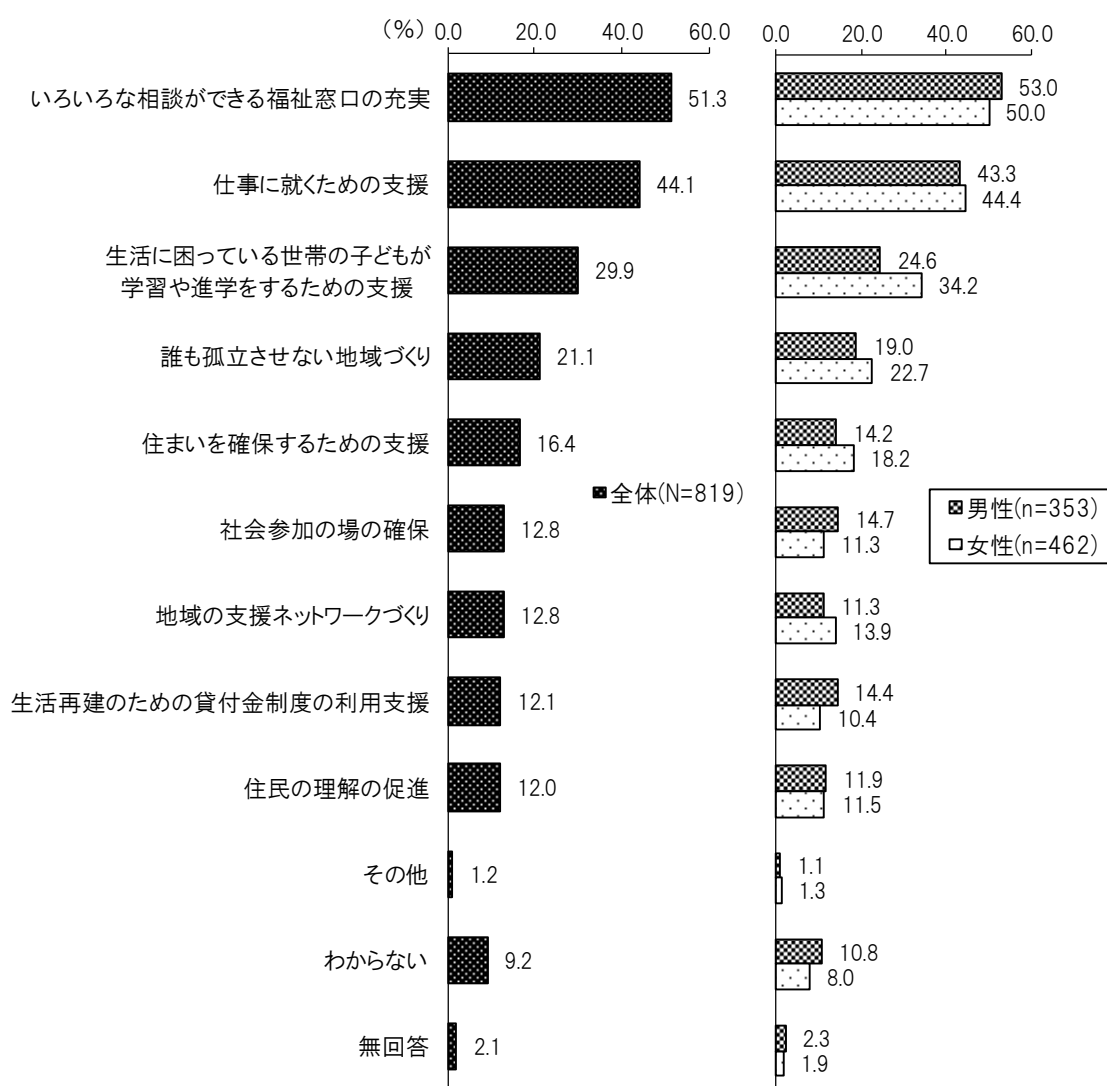
単位 (%)	地域の防犯	共働き家庭の子どもの生活	子育て家庭や父子家庭の子	生活困窮	子どもの非行やいじめ	高齢者や障がい者、子ども等への虐待	その他	特にな
全体(N=819)	10.6	10.6	7.6	7.3	5.6	4.0	1.3	14.2
【年齢別】								
29歳以下(n=152)	9.9	11.2	12.5	6.6	6.6	3.3	2.6	21.7
30代(n=136)	9.6	19.9	8.1	8.8	6.6	5.1	2.2	11.0
40代(n=146)	11.6	14.4	8.9	8.9	10.3	6.2	1.4	11.6
50代(n=171)	9.4	7.0	5.8	7.6	3.5	4.1	0.6	10.5
60代(n=80)	12.5	5.0	5.0	7.5	3.8	2.5	0.0	13.8
70歳以上(n=132)	12.1	3.8	2.3	4.5	2.3	2.3	0.8	16.7

3 経済的に困っている人等への支援について

問 21 あなたは、経済的に困っている人や社会的に孤立している人に対して、どのような支援が必要だと思いますか。（○印3つまで）

経済的に困っている人等への支援については、「いろいろな相談ができる福祉窓口の充実」の割合が51.3%と最も高く、次いで「仕事に就くための支援」（44.1%）、「生活に困っている世帯の子どもが学習や進学をするための支援」（29.9%）、「誰も孤立させない地域づくり」（21.1%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「生活に困っている世帯の子どもが学習や進学をするための支援」の割合が高くなっている。



年齢別では、29歳以下で「生活再建のための貸付金制度の利用支援」、60代以上で「誰も孤立させない地域づくり」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

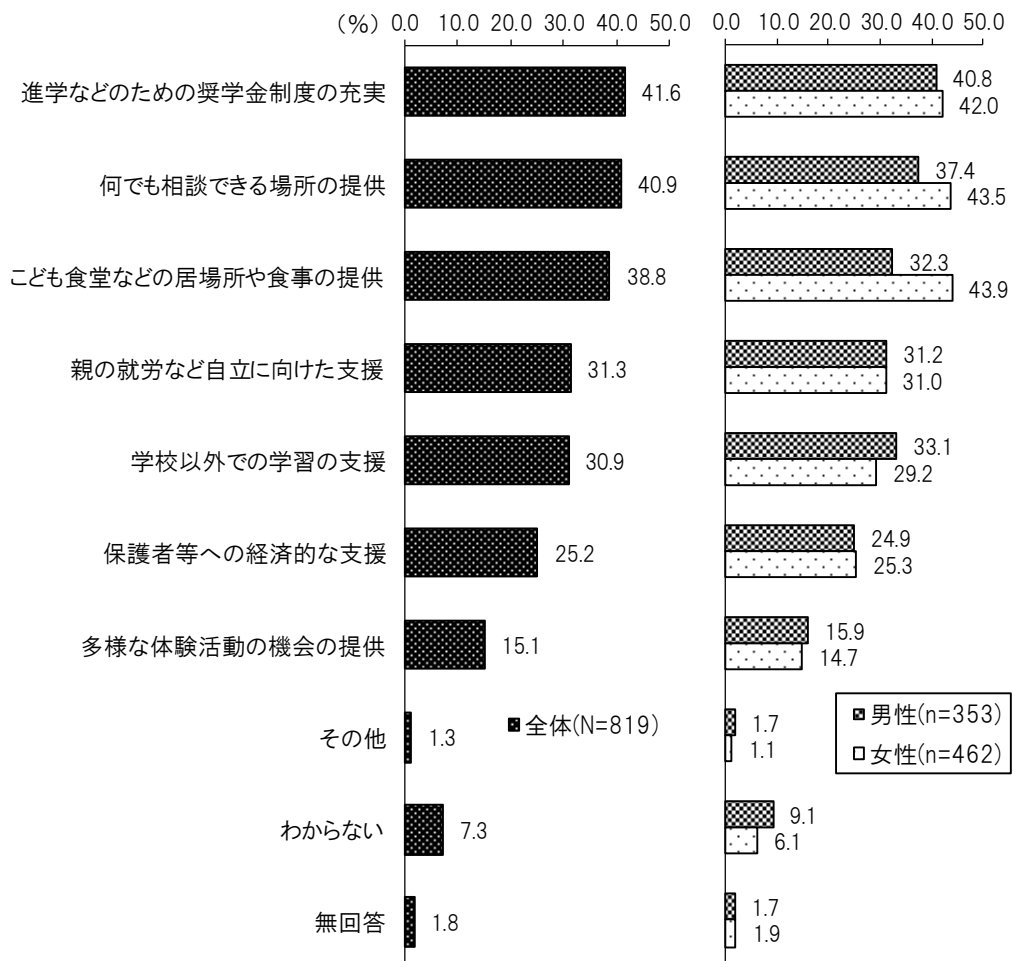
単位 (%)	窓口の いろいろな 相談が できる 福祉	仕事に 就く ための 支援	支も生 援が活 に困 つて 進 学 を す る 世 帯 の 子 ど	誰 も 孤 立 さ せ な い 地 域 づ く り	住 ま い を 確 保 す る た め の 支 援	社 会 参 加 の 場 の 確 保	地 域 の 支 援 ネ ッ ト ワ ー ク づ く り	生 活 再 建 の た め の 貸 付 金 制 度 の 利 用 支 援	住 民 の 理 解 の 促 進	そ の 他	わ か ら な い
全体(N=819)	51.3	44.1	29.9	21.1	16.4	12.8	12.8	12.1	12.0	1.2	9.2
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	40.1	47.4	35.5	16.4	21.7	16.4	11.8	21.7	13.8	0.7	12.5
30代(n=136)	43.4	48.5	33.1	12.5	19.9	11.0	7.4	14.7	10.3	2.2	10.3
40代(n=146)	47.9	48.6	37.0	20.5	17.8	13.7	13.7	11.0	14.4	2.1	6.2
50代(n=171)	60.2	46.8	30.4	14.6	15.2	10.5	15.8	9.9	17.0	1.8	7.0
60代(n=80)	62.5	45.0	20.0	32.5	11.3	10.0	13.8	8.8	8.8	0.0	6.3
70歳以上(n=132)	57.6	26.5	17.4	37.1	9.8	14.4	13.6	4.5	3.8	0.0	12.1

4 子どもの貧困問題に関して必要な支援

問 22 近年、子どもの貧困が社会問題となっていますが、あなたは、どのような支援が必要だと思いますか。（○印3つまで）

子どもの貧困問題に関して必要な支援については、「進学などのための奨学金制度の充実」の割合が41.6%と最も高く、次いで「何でも相談できる場所の提供」（40.9%）、「こども食堂などの居場所や食事の提供」（38.8%）、「親の就労など自立に向けた支援」（31.3%）、「学校以外での学習の支援」（30.9%）の順となっている。

性別では、女性は「こども食堂などの居場所や食事の提供」の割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、29歳以下で「進学などのための奨学金制度の充実」、60代以上で「何でも相談できる場所の提供」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

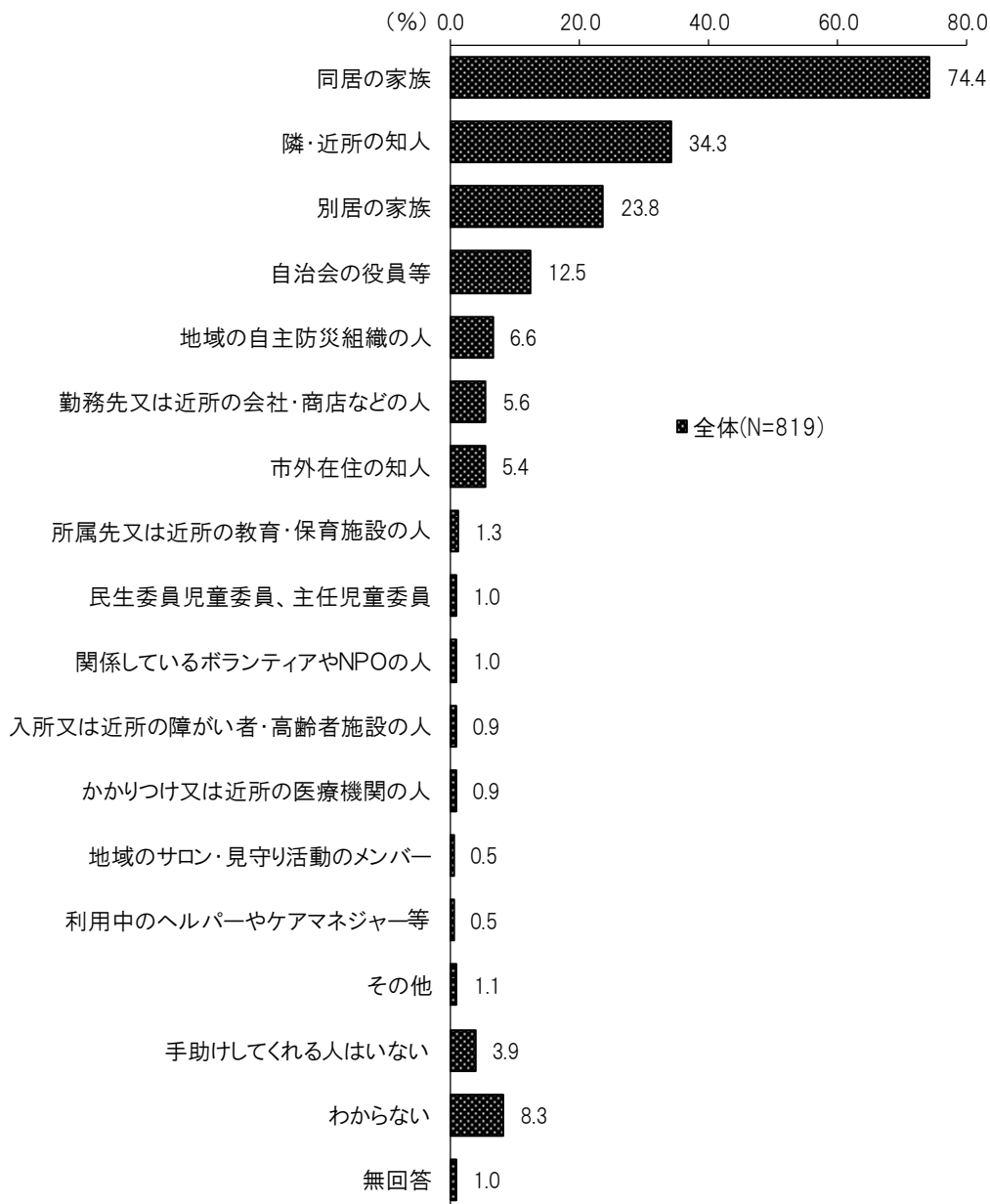
単位 (%)	進学などのための奨学金制度の充実	何でも相談できる場所の提供	子どもの食堂などの居場所や食事の提供	親の就労など自立に向けた支援	学校以外での学習の支援	保護者等への経済的な支援	多様な体験活動の機会の提供	その他	わからない
全体(N=819)	41.6	40.9	38.8	31.3	30.9	25.2	15.1	1.3	7.3
【年齢別】									
29歳以下(n=152)	56.6	30.3	43.4	24.3	30.3	33.6	18.4	0.7	9.2
30代(n=136)	36.0	36.0	38.2	28.7	28.7	32.4	21.3	2.2	8.8
40代(n=146)	41.8	38.4	45.2	30.1	31.5	24.7	18.5	1.4	4.1
50代(n=171)	45.6	42.1	40.4	38.0	36.8	19.3	8.8	1.8	6.4
60代(n=80)	28.8	56.3	43.8	36.3	32.5	20.0	10.0	1.3	2.5
70歳以上(n=132)	31.8	50.0	22.7	31.1	24.2	18.9	12.9	0.8	11.4

【4】災害時の備えなどについて

1 災害時に手助けをしてくれる人

問 23 災害時に避難の誘導など、あなたの手助けをしてくれる人はいますか。
(○印いくつでも)

災害時に手助けをしてくれる人については、「同居の家族」の割合が74.4%と最も高く、次いで「隣・近所の知人」(34.3%)、「別居の家族」(23.8%)、「自治会の役員等」(12.5%)の順となっている。



性別では、女性は「同居の家族」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、30～40代で「別居の家族」、60代以上で「隣・近所の知人」、70歳以上で「自治会の役員等」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	同居の家族	隣・近所の知人	別居の家族	自治会の役員等	地域の自主防災組織	勤務先又は近所の会 社・商店などの人	市外在住の知人	所属先又は近所の教 育・保育施設の人	民生委員児童委員、 主任児童委員	関係しているボランティア
全体(N=819)	74.4	34.3	23.8	12.5	6.6	5.6	5.4	1.3	1.0	1.0
【性別】										
男性(n=353)	68.3	37.4	20.7	15.6	9.1	4.8	5.4	0.6	1.1	0.8
女性(n=462)	79.0	31.8	26.0	10.0	4.5	6.3	5.4	1.9	0.9	1.1
【年齢別】										
29歳以下(n=152)	81.6	24.3	15.8	6.6	1.3	5.3	7.9	2.6	0.0	0.7
30代(n=136)	76.5	25.7	33.8	5.1	3.7	8.8	4.4	2.9	0.0	2.2
40代(n=146)	80.8	37.7	30.1	6.8	4.8	7.5	7.5	0.7	0.7	1.4
50代(n=171)	71.9	32.7	21.6	16.4	9.4	7.6	4.1	0.0	1.2	0.0
60代(n=80)	68.8	45.0	21.3	17.5	10.0	2.5	5.0	1.3	2.5	1.3
70歳以上(n=132)	64.4	46.2	19.7	25.0	12.1	0.0	3.0	0.8	2.3	0.8

単位 (%)	入所・又は高齢者施設の 人が	かかりつけの又は近 所の人が	地域のサロンの見 守り	利用中のヘルパー 等	その他	手助けしてくる人	わからない
全体(N=819)	0.9	0.9	0.5	0.5	1.1	3.9	8.3
【性別】							
男性(n=353)	0.6	0.6	1.1	0.0	1.1	4.8	10.8
女性(n=462)	1.1	1.1	0.0	0.9	1.1	3.2	6.3
【年齢別】							
29歳以下(n=152)	2.0	1.3	0.0	0.7	0.7	2.0	8.6
30代(n=136)	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7	4.4	9.6
40代(n=146)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	6.2
50代(n=171)	0.6	1.2	1.2	0.6	1.8	4.7	9.4
60代(n=80)	0.0	2.5	0.0	0.0	1.3	2.5	7.5
70歳以上(n=132)	2.3	0.0	1.5	1.5	2.3	3.8	7.6

付き合い程度別では、親しい人がいる層ほど「隣・近所の知人」の割合が高くなっている。

世帯構成別では、三世代世帯で「同居の家族」、独り暮らし世帯で「手助けしてくれる人はいない」「わからない」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	同居の家族	隣・近所の知人	別居の家族	自治会の役員等	地域の自主防災組織の人	勤務先又は近所の会社・商店などの人	市外在住の知人	所属先又は近所の教育施設の人	民生委員児童委員、主任児童委員	関係しているボランティアの人
全体(N=819)	74.4	34.3	23.8	12.5	6.6	5.6	5.4	1.3	1.0	1.0
【付き合い程度別】										
親しい人がいる(n=184)	75.0	61.4	19.6	20.7	12.0	3.8	7.1	1.6	2.7	1.1
訪問し合う人がいる(n=94)	77.7	46.8	20.2	16.0	9.6	4.3	3.2	0.0	2.1	0.0
立ち話をする程度(n=202)	78.2	32.7	25.2	14.4	4.0	7.4	5.4	2.0	0.5	1.0
あいさつをする程度(n=276)	73.2	19.9	28.3	6.9	5.4	5.1	4.7	1.1	0.0	1.1
付き合いがない(n=59)	62.7	3.4	16.9	1.7	0.0	10.2	5.1	1.7	0.0	0.0
【世帯構成別】										
独り暮らし世帯(n=60)	3.3	28.3	16.7	13.3	10.0	6.7	6.7	5.0	3.3	1.7
夫婦のみの世帯(n=140)	72.9	37.9	27.1	19.3	5.0	6.4	5.0	0.7	0.7	0.7
二世帯世帯(n=450)	80.7	31.8	25.6	10.2	6.2	5.8	5.3	0.9	0.9	0.9
三世代世帯(n=129)	89.9	41.9	20.2	14.0	10.1	3.1	4.7	1.6	0.8	1.6

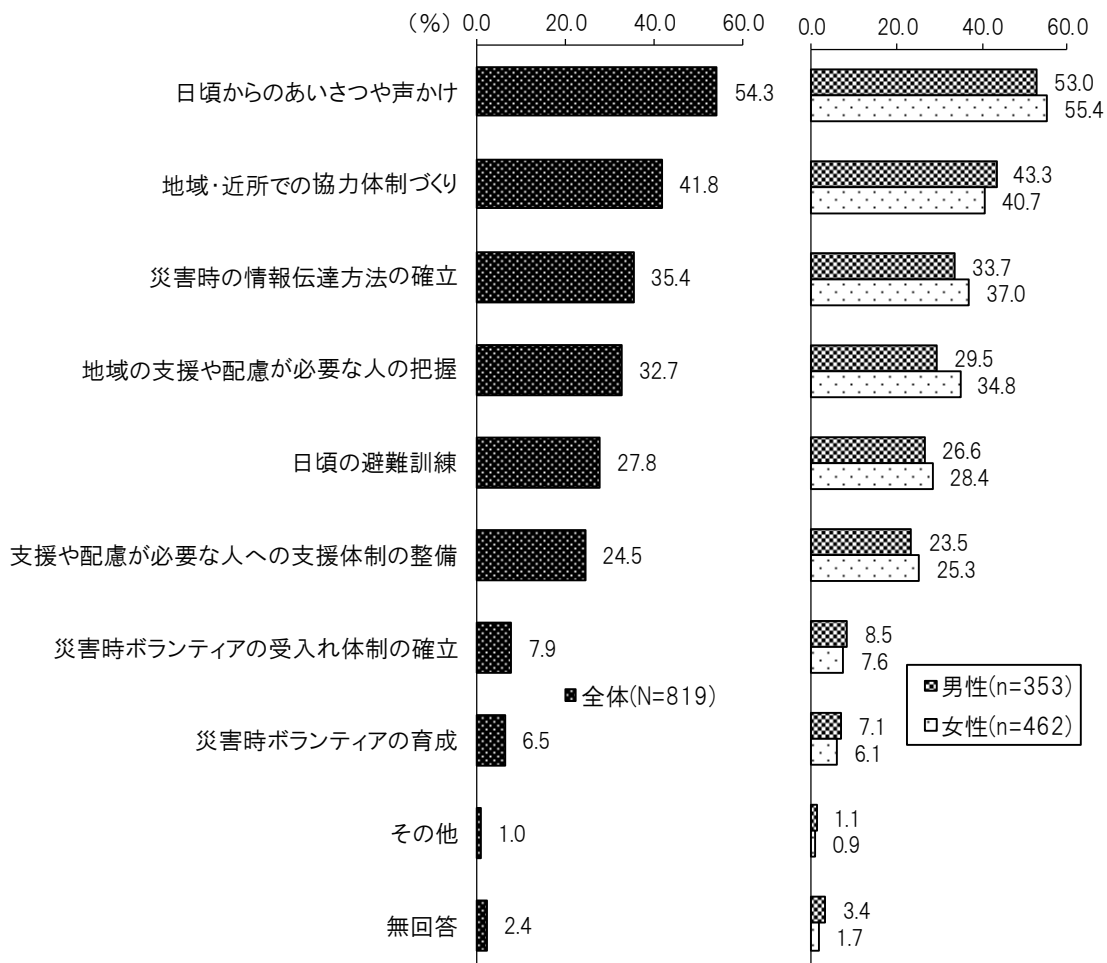
単位 (%)	入所・又は高齢者施設の人が	かかりつけの又は近所	地域の活動のサロンの見守り	利用中のヘルパー等	その他	手助けしてくる人	わからない
全体(N=819)	0.9	0.9	0.5	0.5	1.1	3.9	8.3
【付き合い程度別】							
親しい人がいる(n=184)	2.2	2.7	1.6	1.6	1.1	1.6	3.3
訪問し合う人がいる(n=94)	1.1	0.0	1.1	0.0	2.1	2.1	7.4
立ち話をする程度(n=202)	0.0	0.5	0.0	0.0	1.5	2.0	8.4
あいさつをする程度(n=276)	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	5.8	10.1
付き合いがない(n=59)	1.7	1.7	0.0	1.7	1.7	10.2	15.3
【世帯構成別】							
独り暮らし世帯(n=60)	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	18.3	20.0
夫婦のみの世帯(n=140)	0.7	0.0	1.4	0.0	1.4	2.1	8.6
二世帯世帯(n=450)	0.0	0.9	0.4	0.2	0.9	3.3	6.9
三世代世帯(n=129)	2.3	1.6	0.0	0.8	0.0	1.6	4.7

2 緊急時の備えとして重要なこと

問 24 地域において、災害など緊急時の備えとして、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。（○印3つまで）

緊急時の備えとして重要なことについては、「日頃からのあいさつや声かけ」の割合が54.3%と最も高く、次いで「地域・近所での協力体制づくり」（41.8%）、「災害時の情報伝達方法の確立」（35.4%）、「地域の支援や配慮が必要な人の把握」（32.7%）、「日頃の避難訓練」（27.8%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「地域の支援や配慮が必要な人の把握」の割合が高くなっている。



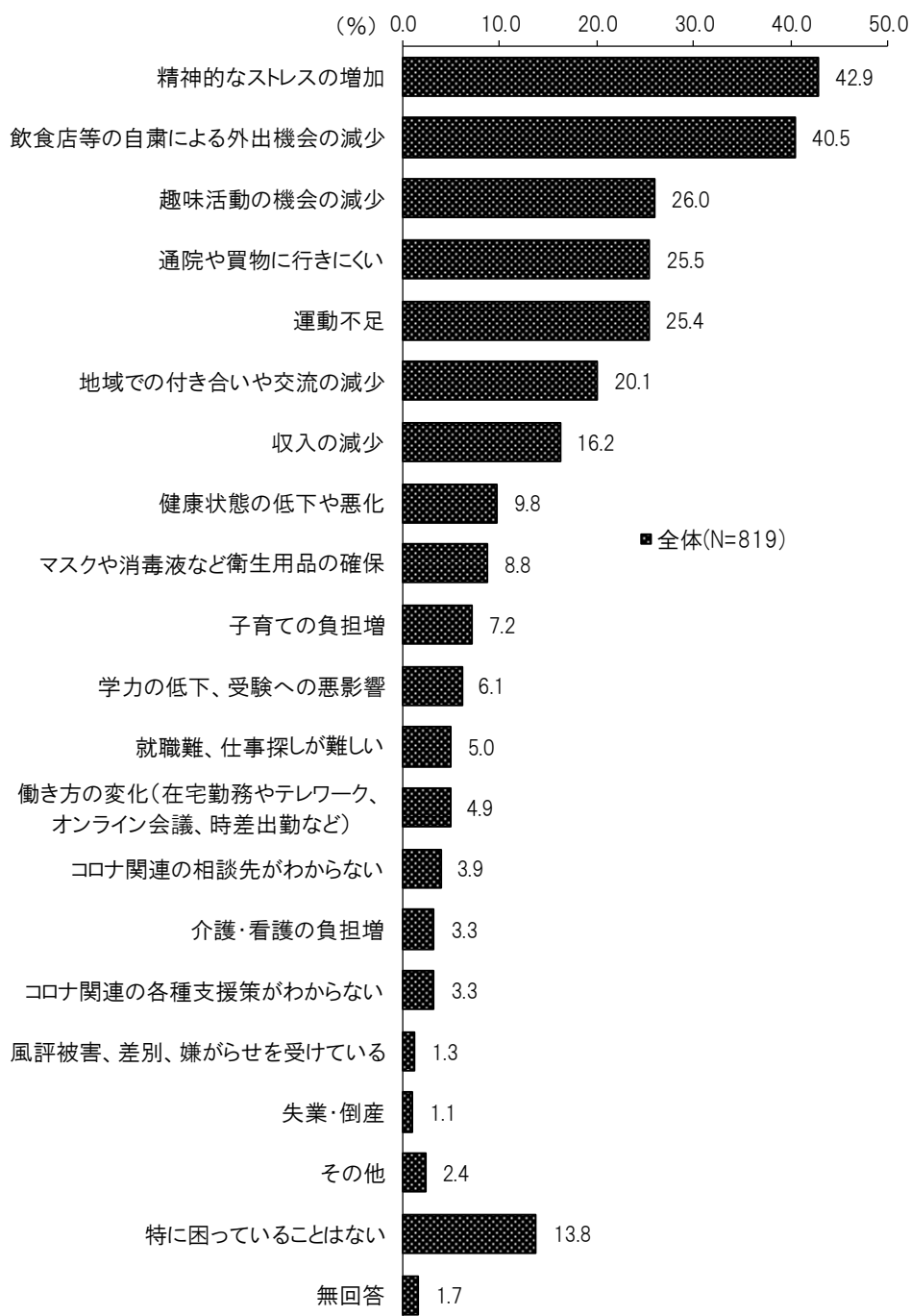
年齢別では、70歳以上で「日頃からのあいさつや声かけ」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

単位 (%)	日頃からのあいさつや声かけ	地域・近所での協力体制づくり	災害時の情報伝達方法の確立	地域の支援や配慮が必要な人の把握	日頃の避難訓練	支援や配慮が必要な人への支援体制の整備	災害時ボランティアの受入れ体制の確立	災害時ボランティアの育成	その他
全体(N=819)	54.3	41.8	35.4	32.7	27.8	24.5	7.9	6.5	1.0
【年齢別】									
29歳以下(n=152)	50.7	35.5	32.2	26.3	32.9	23.7	7.2	8.6	0.0
30代(n=136)	52.9	33.1	37.5	38.2	33.8	21.3	9.6	5.9	2.2
40代(n=146)	51.4	49.3	37.7	31.5	24.0	24.0	8.2	4.1	2.1
50代(n=171)	48.5	40.9	36.3	43.3	24.0	29.8	9.9	8.2	0.6
60代(n=80)	56.3	52.5	23.8	41.3	21.3	27.5	6.3	7.5	0.0
70歳以上(n=132)	69.7	44.7	40.2	15.9	28.8	21.2	4.5	4.5	0.8

3 感染症の拡大により困っていること

問 25 新型コロナウイルス感染症の拡大により、特に困っていることがありますか。
(○印いくつでも)

感染症の拡大により困っていることについては、「精神的なストレスの増加」の割合が42.9%と最も高く、次いで「飲食店等の自粛による外出機会の減少」(40.5%)、「趣味活動の機会の減少」(26.0%)、「通院や買物に行きにくい」(25.5%)、「運動不足」(25.4%)の順となっている。



地区別では、吉田地区で「飲食店等の自粛による外出機会の減少」「地域での付き合いや交流の減少」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「地域での付き合いや交流の減少」「収入の減少」の割合が高く、女性は「精神的なストレスの増加」「通院や買物に行きにくい」などの割合が男性を上回っている。

単位 (%)	精神的なストレスの増加	飲食店等の自粛による外出機会の減少	趣味活動の機会の減少	通院や買物に行きにくい	運動不足	地域での付き合いや交流の減少	収入の減少	健康状態の低下や悪化	マスクや消毒液など衛生用品の確保	子育ての負担増	学力の低下、受験への悪影響
全体(N=819)	42.9	40.5	26.0	25.5	25.4	20.1	16.2	9.8	8.8	7.2	6.1
【地区別】											
宇和島地区(n=213)	45.1	39.0	27.7	24.4	26.8	16.4	15.5	7.0	8.9	8.5	8.5
吉田地区(n=207)	45.9	45.9	22.2	22.7	26.6	27.5	18.8	14.0	8.2	8.7	4.8
三間地区(n=214)	43.0	39.7	29.0	29.0	24.8	18.2	9.3	10.3	8.9	5.1	7.9
津島地区(n=181)	36.5	37.6	24.9	26.5	23.2	17.7	22.1	7.7	9.4	6.6	2.8
【性別】											
男性(n=353)	38.8	38.2	24.6	19.8	22.9	24.9	20.1	9.3	9.1	4.2	4.5
女性(n=462)	46.1	42.6	27.3	29.9	27.5	16.7	13.2	10.2	8.4	9.5	7.4

単位 (%)	就職難、仕事探し が難しい	働き方の変化（在宅勤務やテレワーク、時差出勤など）	から ない	介護・看護の負担増	が わ か ら な い	風評被害、差別、嫌がらせを受けている	失業・倒産	その他	特に困っていることはな
全体(N=819)	5.0	4.9	3.9	3.3	3.3	1.3	1.1	2.4	13.8
【地区別】									
宇和島地区(n=213)	3.8	5.6	4.2	3.8	4.2	0.5	1.9	1.4	12.7
吉田地区(n=207)	5.8	4.8	5.8	4.8	4.3	1.9	1.4	1.9	13.5
三間地区(n=214)	4.7	4.7	2.3	2.8	1.4	0.9	0.9	3.7	13.1
津島地区(n=181)	6.1	4.4	3.3	1.7	3.3	2.2	0.0	2.8	16.0
【性別】									
男性(n=353)	4.2	6.5	4.0	2.8	3.7	1.7	2.0	0.8	15.0
女性(n=462)	5.6	3.7	3.9	3.7	3.0	1.1	0.4	3.7	12.6

年齢別では、29歳以下で「趣味活動の機会の減少」、30～40代で「子育ての負担増」、50代で「収入の減少」、70歳以上で「地域での付き合いや交流の減少」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	精神的なストレスの増加	飲食店等の自粛による外出機会の減少	趣味活動の機会の減少	通院や買物に行きにくい	運動不足	地域での付き合いや交流の減少	収入の減少	健康状態の低下や悪化	マスクや消毒液など衛生用品の確保	子育ての負担増	学力の低下、受験への悪影響
全体(N=819)	42.9	40.5	26.0	25.5	25.4	20.1	16.2	9.8	8.8	7.2	6.1
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	48.7	39.5	31.6	23.7	26.3	14.5	11.8	9.9	11.8	3.9	7.2
30代(n=136)	45.6	44.1	26.5	27.9	30.9	14.7	17.6	10.3	8.8	17.6	9.6
40代(n=146)	43.2	48.6	24.7	21.2	25.3	15.8	14.4	8.9	9.6	16.4	13.7
50代(n=171)	44.4	40.9	25.7	24.6	21.1	22.8	24.0	5.3	9.9	1.8	2.9
60代(n=80)	36.3	35.0	21.3	22.5	17.5	25.0	13.8	11.3	6.3	0.0	0.0
70歳以上(n=132)	34.1	31.8	23.5	32.6	28.8	31.1	12.9	15.2	4.5	0.8	0.8

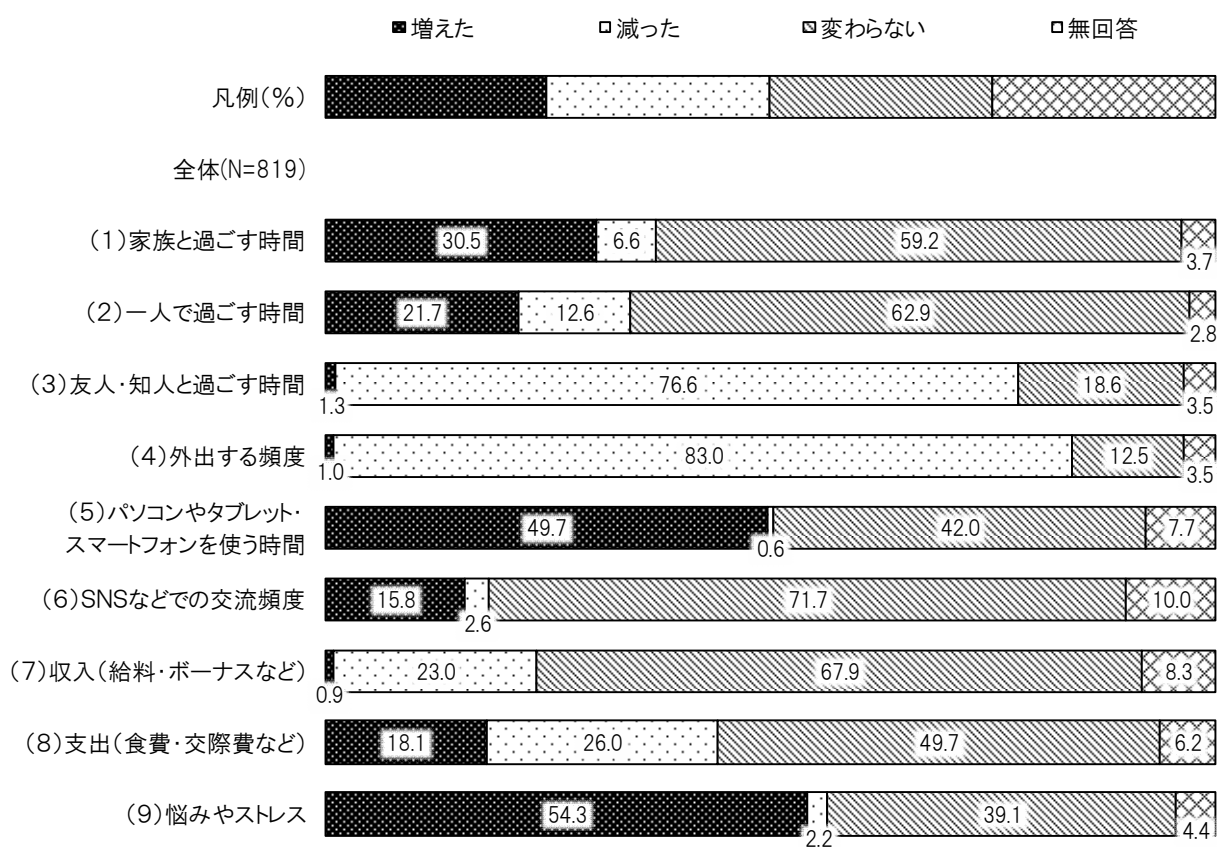
単位 (%)	就職難、仕事探しが難しい	働き方の変化（在宅勤務やテレワーク、オンライ会議、時差出勤など）	コロナ関連の相談先がわからない	介護・看護の負担増	コロナ関連の各種支援策がわからない	風評被害、差別、嫌がらせを受けている	失業・倒産	その他	特に困っていることはない
全体(N=819)	5.0	4.9	3.9	3.3	3.3	1.3	1.1	2.4	13.8
【年齢別】									
29歳以下(n=152)	9.9	5.9	4.6	3.3	2.0	0.7	2.0	0.0	16.4
30代(n=136)	5.9	7.4	4.4	3.7	4.4	2.2	2.2	3.7	10.3
40代(n=146)	6.2	5.5	2.7	2.1	1.4	2.1	0.7	4.1	12.3
50代(n=171)	3.5	5.8	2.9	4.7	5.3	1.2	1.2	5.3	10.5
60代(n=80)	2.5	0.0	5.0	2.5	5.0	0.0	0.0	0.0	13.8
70歳以上(n=132)	0.8	2.3	4.5	3.0	2.3	1.5	0.0	0.0	20.5

4 感染症の拡大による生活への影響

問 26 新型コロナウイルス感染症の拡大による、あなたの生活への影響について、次にあげる項目それぞれについてお答えください。(○印1つずつ)

感染症の拡大による生活への影響については、「増えた」の割合が高い順に「(9) 悩みやストレス」(54.3%)、「(5) パソコンやタブレット・スマートフォンを使う時間」(49.7%)、「(1) 家族と過ごす時間」(30.5%)となっている。

一方、「減った」の割合が高い順に「(4) 外出する頻度」(83.0%)、「(3) 友人・知人と過ごす時間」(76.6%)となっている。

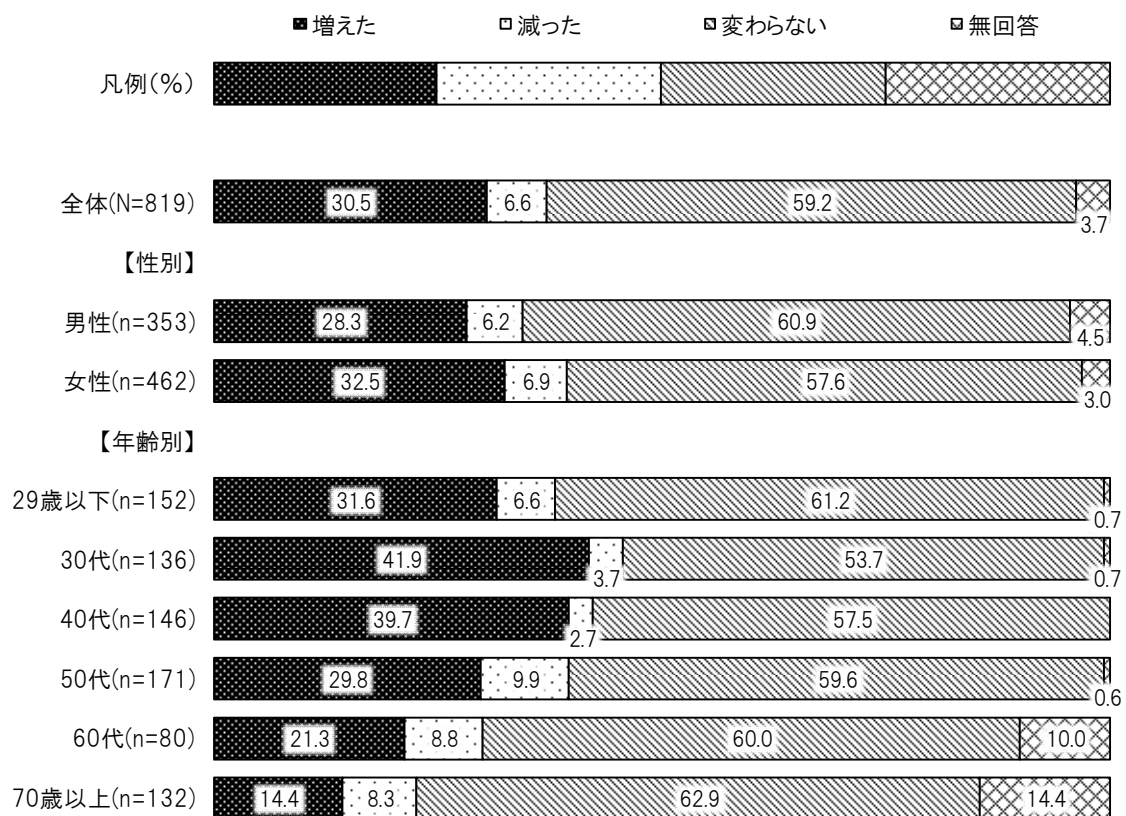


(1) 家族と過ごす時間

家族と過ごす時間については、「増えた」が 30.5%、「減った」が 6.6%、「変わらない」が 59.2%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「増えた」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、30～40代で「増えた」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

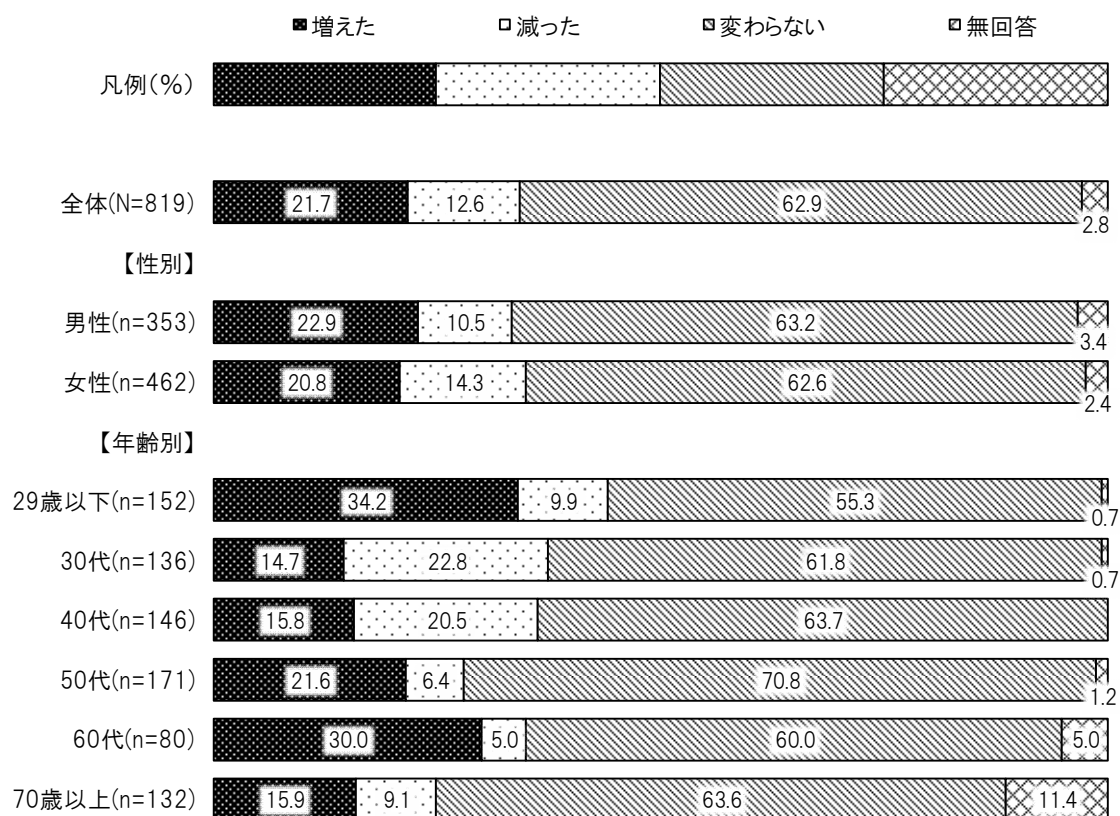


(2) 一人で過ごす時間

一人で過ごす時間については、「増えた」が21.7%、「減った」が12.6%、「変わらない」が62.9%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「減った」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下や60代で「増えた」、30~40代で「減った」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

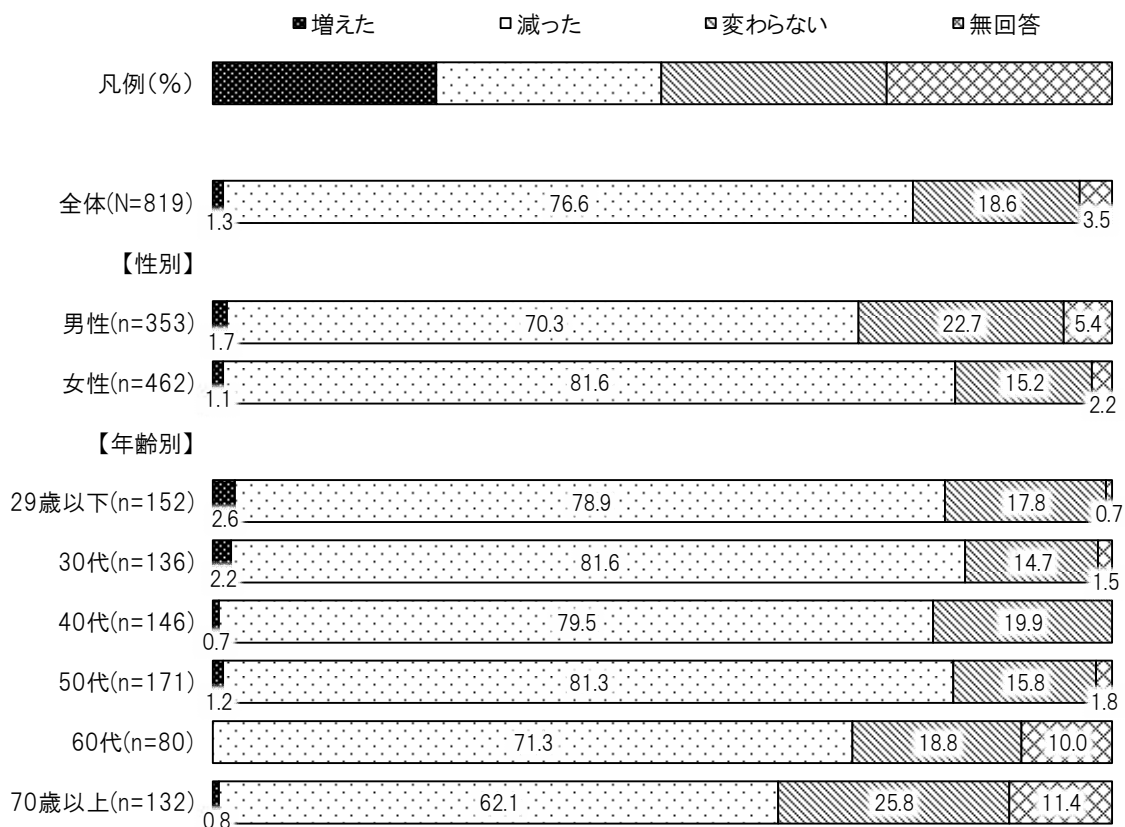


(3) 友人・知人と過ごす時間

友人・知人と過ごす時間については、「増えた」が1.3%、「減った」が76.6%、「変わらない」が18.6%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「減った」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、50代以下で「減った」、70歳以上で「変わらない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

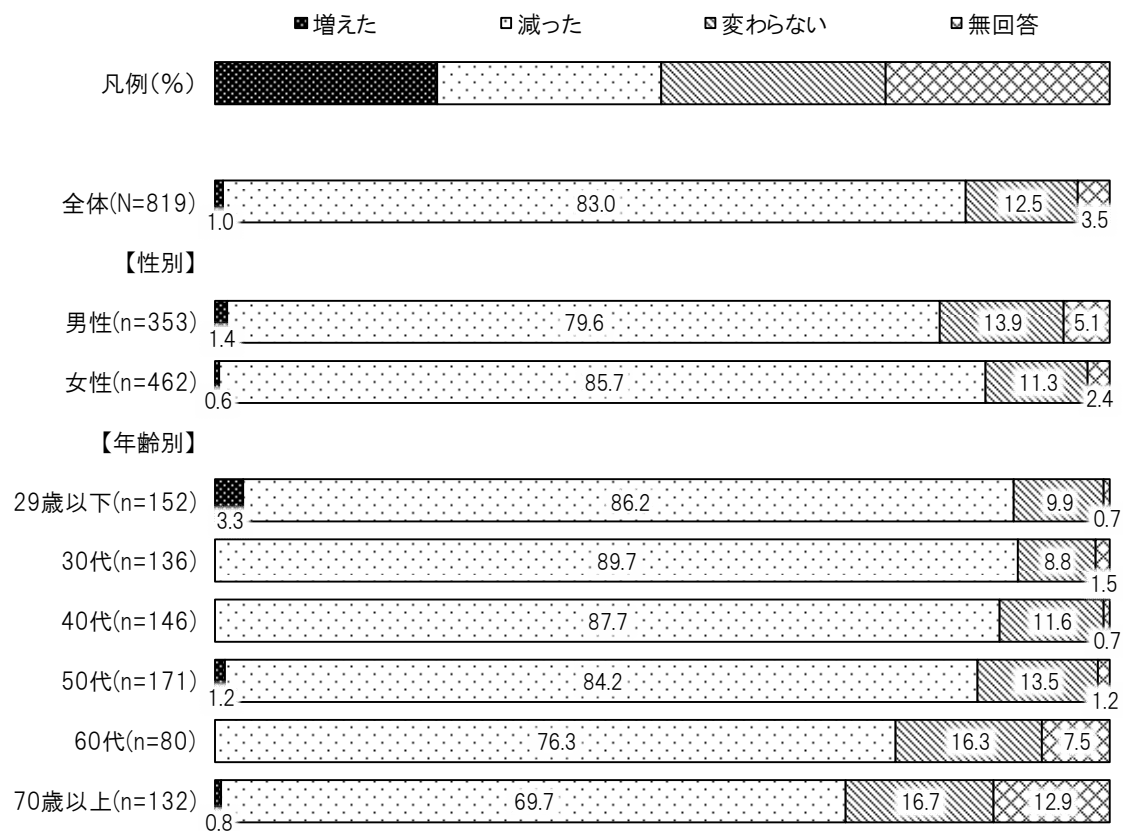


(4) 外出する頻度

外出する頻度については、「増えた」が1.0%、「減った」が83.0%、「変わらない」が12.5%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「減った」の割合が高くなっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「変わらない」の割合が高くなっている。

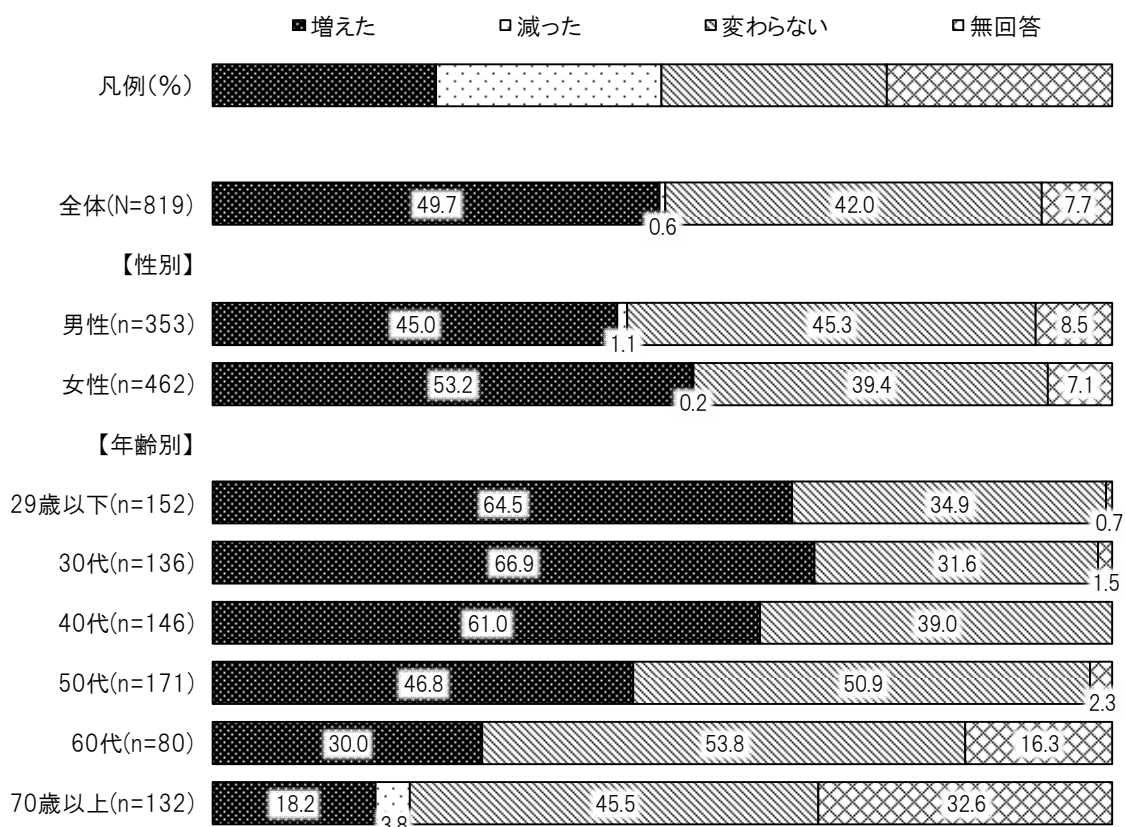


(5) パソコンやタブレット・スマートフォンを使う時間

パソコンやタブレット・スマートフォンを使う時間については、「増えた」が49.7%、「減った」が0.6%、「変わらない」が42.0%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「増えた」の割合が男性を上回っている。

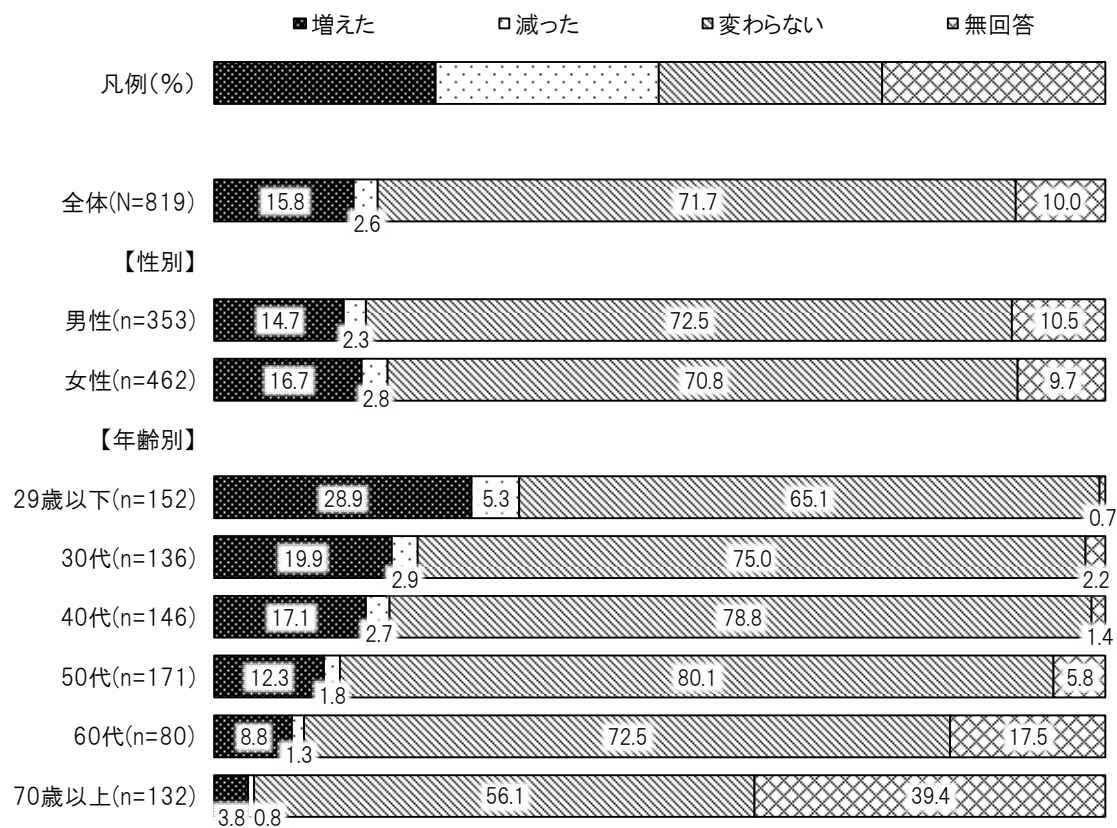
年齢別では、40代以下で「増えた」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



(6) SNSなどでの交流頻度

SNSなどでの交流頻度については、「増えた」が15.8%、「減った」が2.6%、「変わらない」が71.7%となっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では若い年齢層ほど「増えた」の割合が高くなっている。

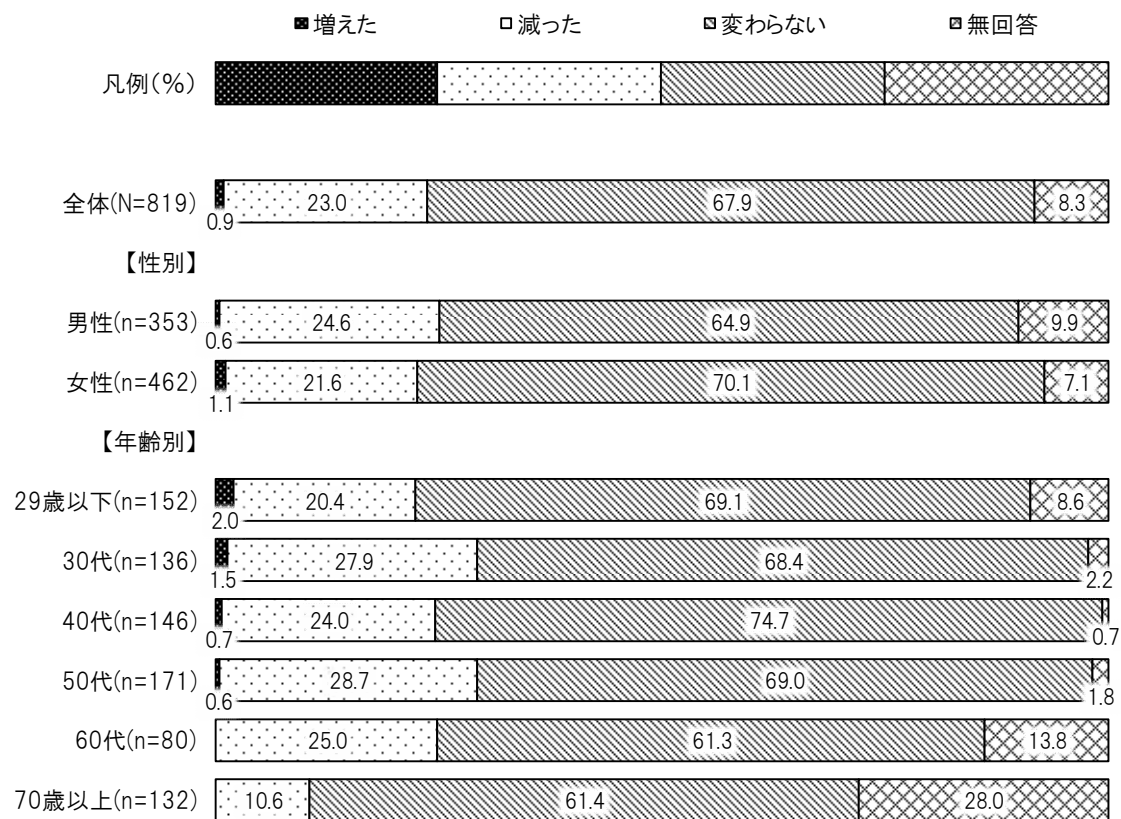


(7) 収入（給料・ボーナスなど）

収入（給料・ボーナスなど）については、「増えた」が0.9%、「減った」が23.0%、「変わらない」が67.9%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「変わらない」の割合が高くなっている。

年齢別では、40代で「変わらない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

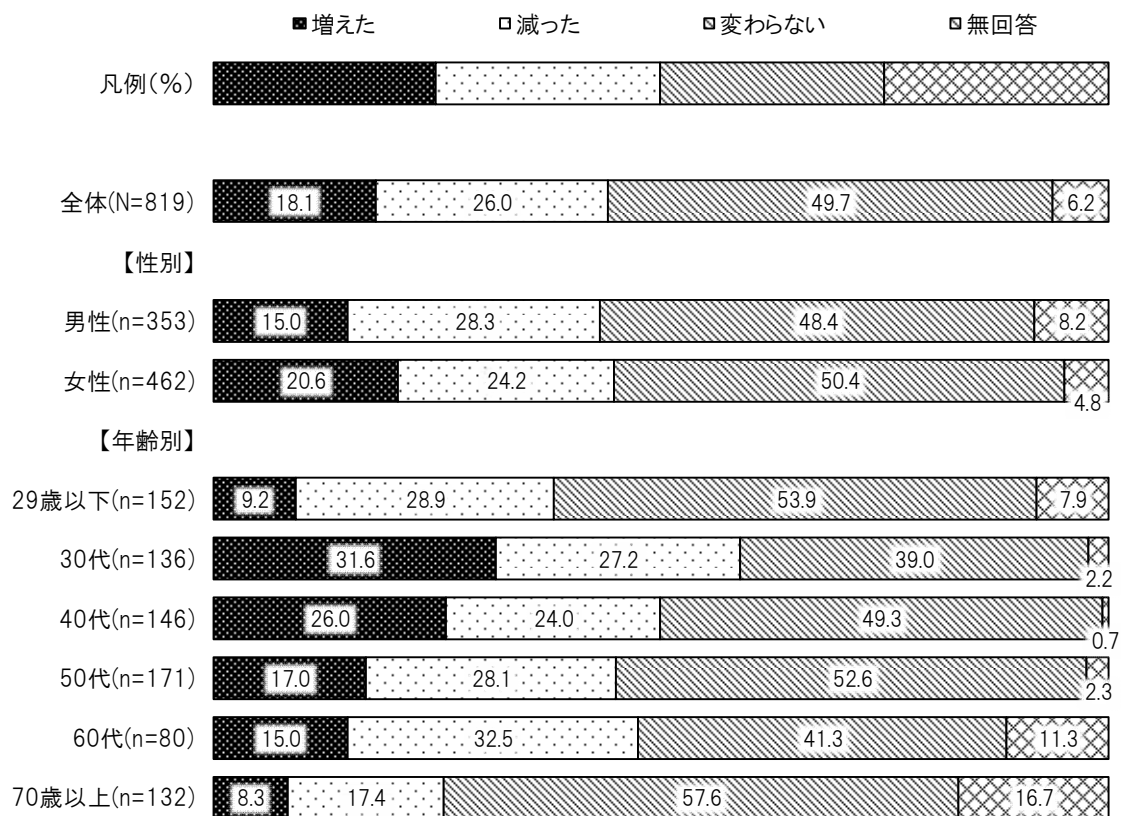


(8) 支出（食費・交際費など）

支出（食費・交際費など）については、「増えた」が18.1%、「減った」が26.0%、「変わらない」が49.7%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「減った」の割合がやや高く、女性は「増えた」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、30～40代で「増えた」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

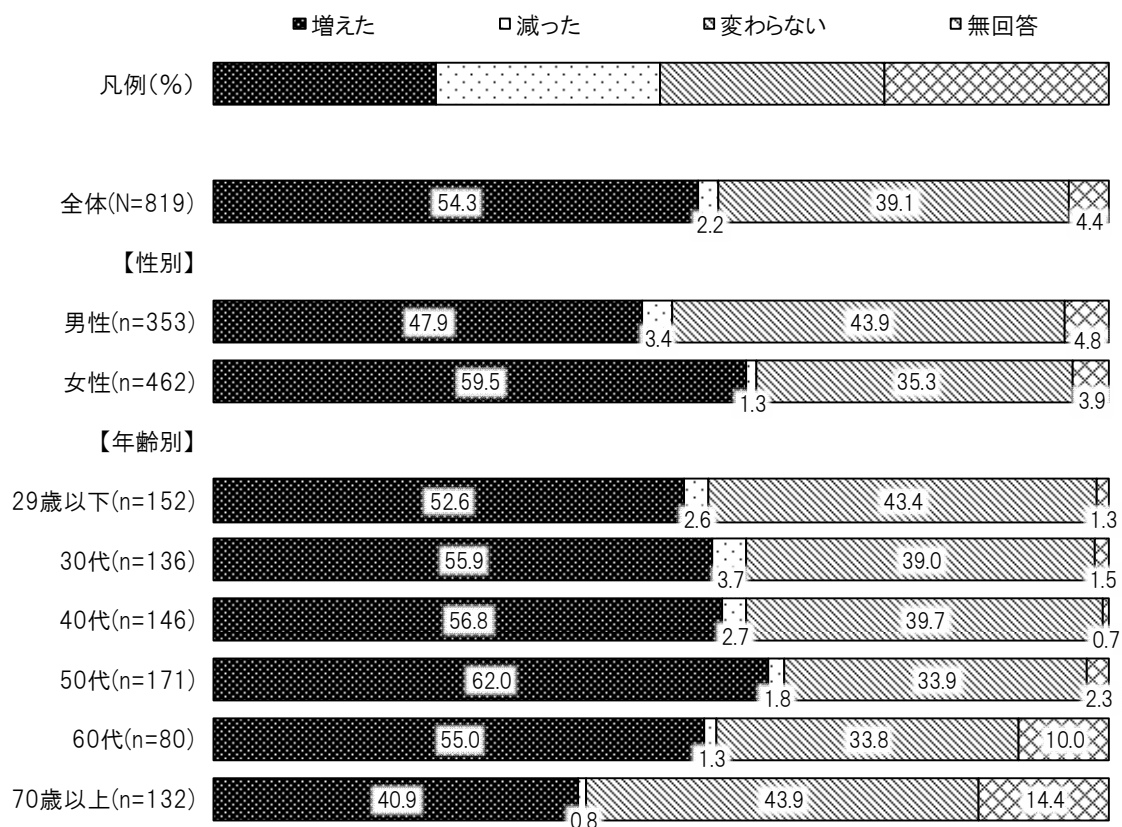


(9) 悩みやストレス

悩みやストレスについては、「増えた」が 54.3%、「減った」が 2.2%、「変わらない」が 39.1%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「増えた」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、50代で「増えた」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



【5】ボランティア活動について

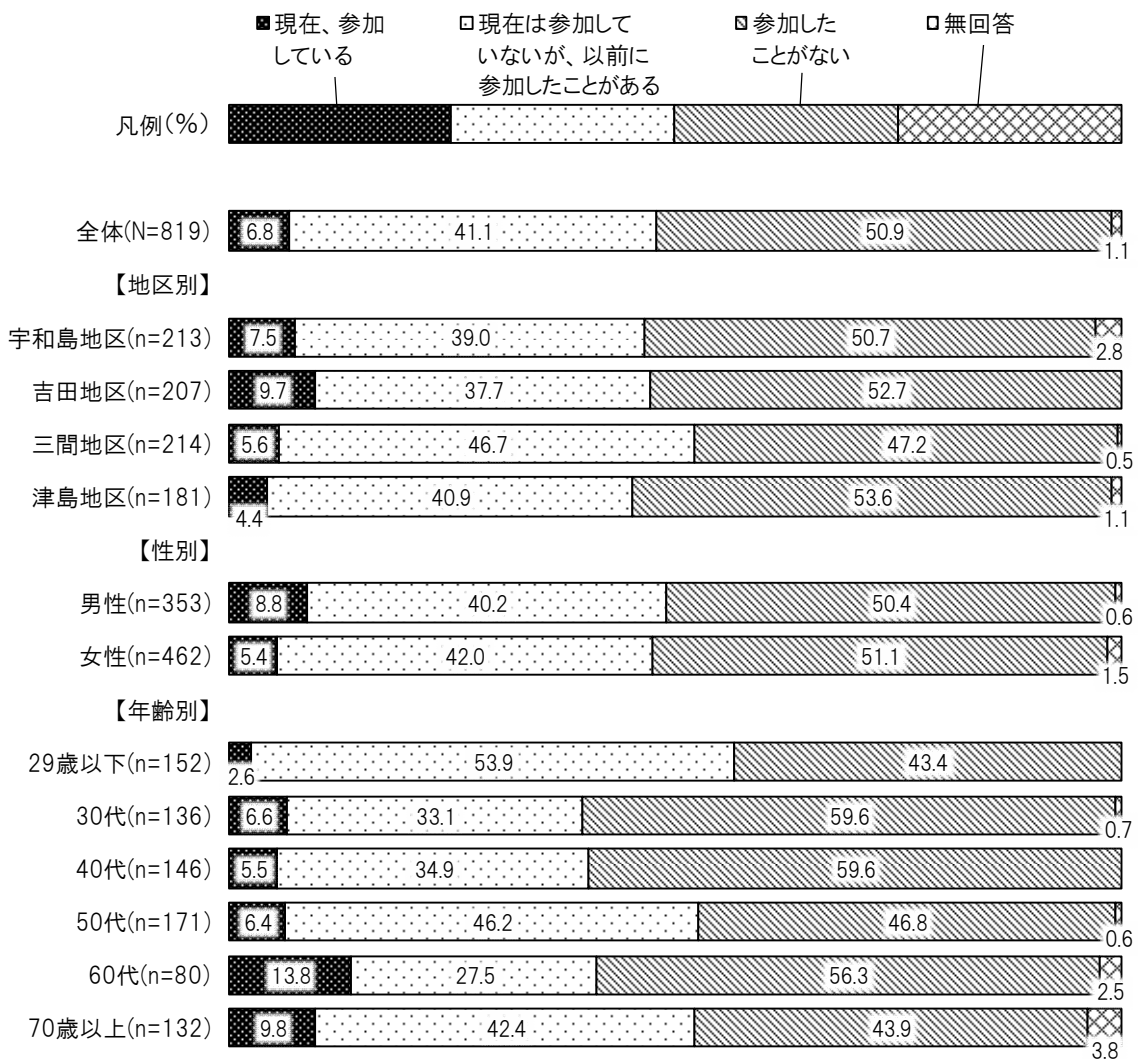
1 ボランティア活動への参加状況

問 27 あなたは、今までボランティア活動に参加したことがありますか。（○印1つ）

ボランティア活動への参加状況については、「現在、参加している」が6.8%、「現在は参加していないが、以前に参加したことがある」が41.1%で、合計47.9%となっている。一方、約半数（50.9%）は「参加したことがない」と回答している。

地区別では、三間地区で「現在は参加していないが、以前に参加したことがある」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

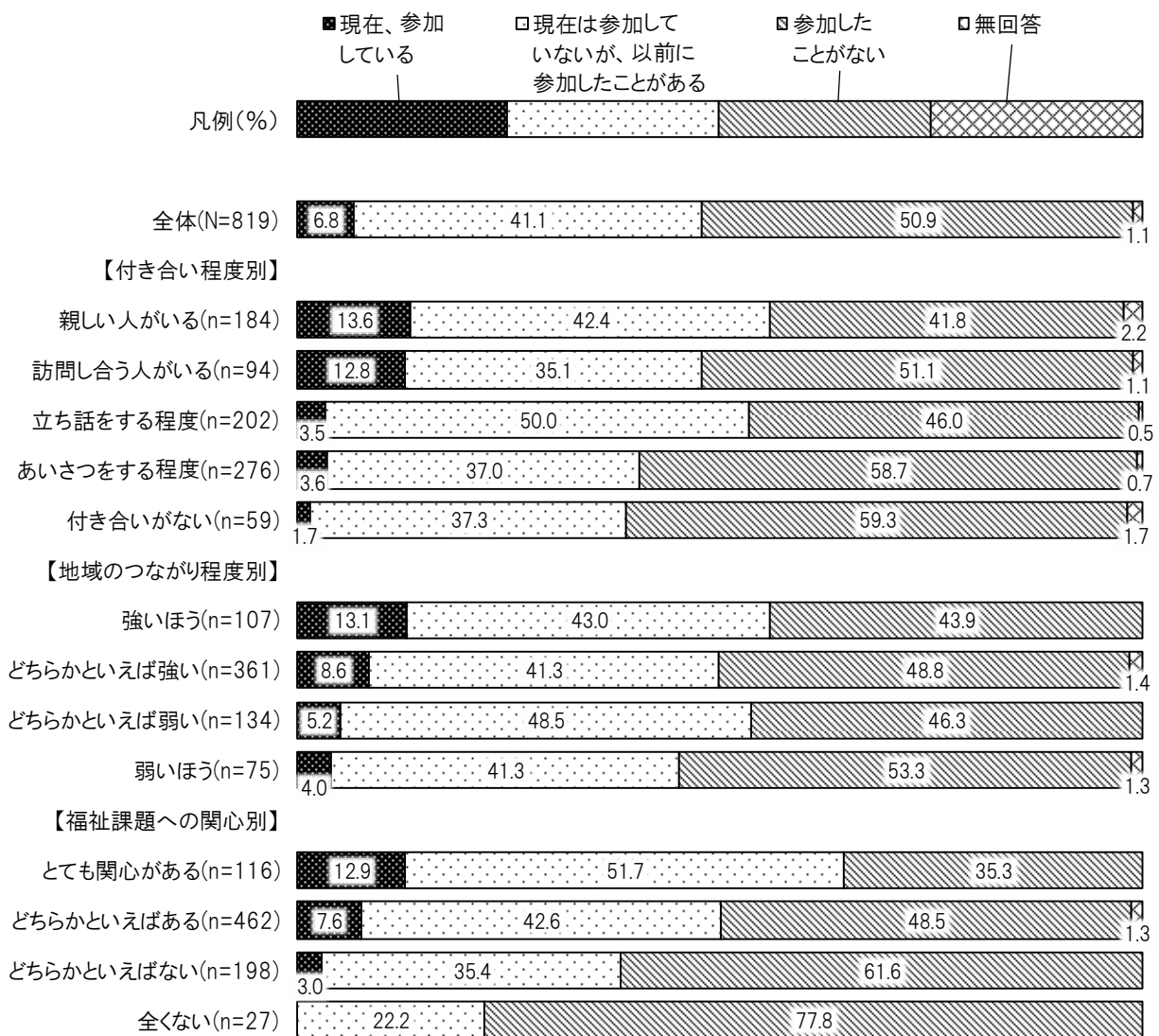
性別では大きな差はみられないが、年齢別では29歳以下で「現在は参加していないが、以前に参加したことがある」、60代で「現在、参加している」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



付き合い程度別では、付き合いが親しい層で「現在、参加している」の割合が他の層を大きく上回っている。

地域のつながり程度別では、強いと感じている層ほど「現在、参加している」の割合が高くなっている。

福祉課題への関心別（問 19）では、関心がある層ほど「現在、参加している」「現在は参加していないが、以前に参加したことがある」の割合が高くなっている。



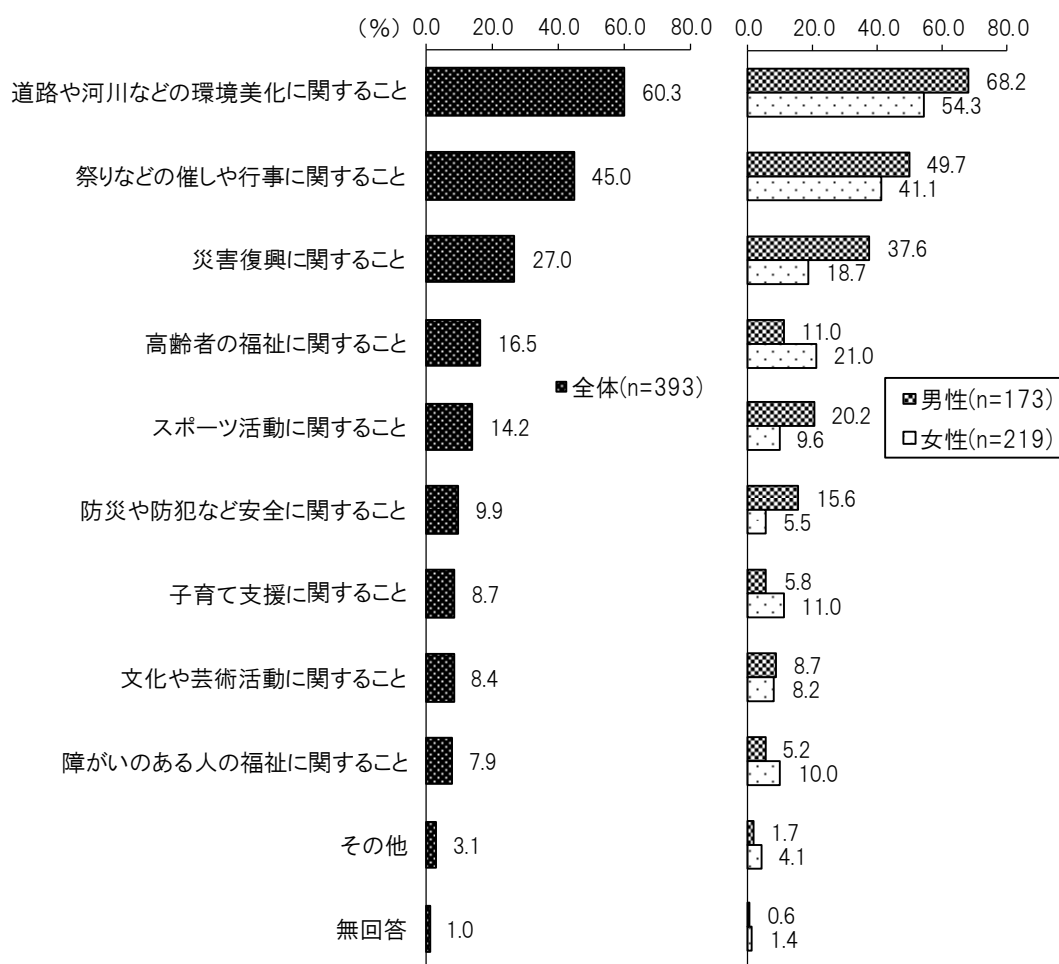
2 ボランティア活動の内容

【問 27 で「1」「2」と回答した方におたずねします】

問 28 どのようなボランティア活動に参加したことがありますか。（○印いくつでも）

ボランティア活動の内容については、「道路や河川などの環境美化に関すること」の割合が60.3%と最も高く、次いで「祭りなどの催しや行事に関すること」（45.0%）、「災害復興に関すること」（27.0%）、「高齢者の福祉に関すること」（16.5%）、「スポーツ活動に関すること」（14.2%）の順となっている。

性別では、男性は「道路や河川などの環境美化に関すること」「災害復興に関すること」などの割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「高齢者の福祉に関すること」の割合が高くなっている。



地区別では、三間地区で「障がいのある人の福祉に関すること」、津島地区で「祭りなどの催しや行事に関すること」の割合がそれぞれ他の地区を大きく上回っている。

年齢別では、40～50代で「防災や防犯など安全に関すること」、50代で「災害復興に関すること」「スポーツ活動に関すること」、70歳以上で「高齢者の福祉に関すること」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	道路や河川などの環境美化に関すること	祭りなどの催しや行事に関すること	災害復興に関すること	高齢者の福祉に関すること	スポーツ活動に関すること	防災や防犯など安全に関すること	子育て支援に関すること	文化や芸術活動に関すること	障がいのある人の福祉に関すること	その他
全体(n=393)	60.3	45.0	27.0	16.5	14.2	9.9	8.7	8.4	7.9	3.1
【地区別】										
宇和島地区(n=99)	57.6	41.4	31.3	18.2	15.2	7.1	10.1	6.1	4.0	1.0
吉田地区(n=98)	62.2	41.8	31.6	22.4	13.3	8.2	6.1	7.1	7.1	7.1
三間地区(n=112)	57.1	42.9	26.8	10.7	12.5	10.7	12.5	11.6	17.0	1.8
津島地区(n=82)	67.1	56.1	15.9	14.6	17.1	14.6	4.9	8.5	1.2	2.4
【年齢別】										
29歳以下(n=86)	53.5	45.3	32.6	15.1	11.6	7.0	7.0	2.3	2.3	4.7
30代(n=54)	66.7	31.5	18.5	18.5	9.3	3.7	11.1	3.7	11.1	1.9
40代(n=59)	49.2	39.0	28.8	6.8	15.3	18.6	11.9	10.2	16.9	0.0
50代(n=90)	66.7	50.0	40.0	14.4	21.1	15.6	7.8	10.0	11.1	3.3
60代(n=33)	63.6	51.5	21.2	15.2	15.2	3.0	9.1	15.2	3.0	3.0
70歳以上(n=69)	63.8	50.7	11.6	29.0	11.6	7.2	7.2	13.0	2.9	4.3

3 ボランティア活動への参加意向

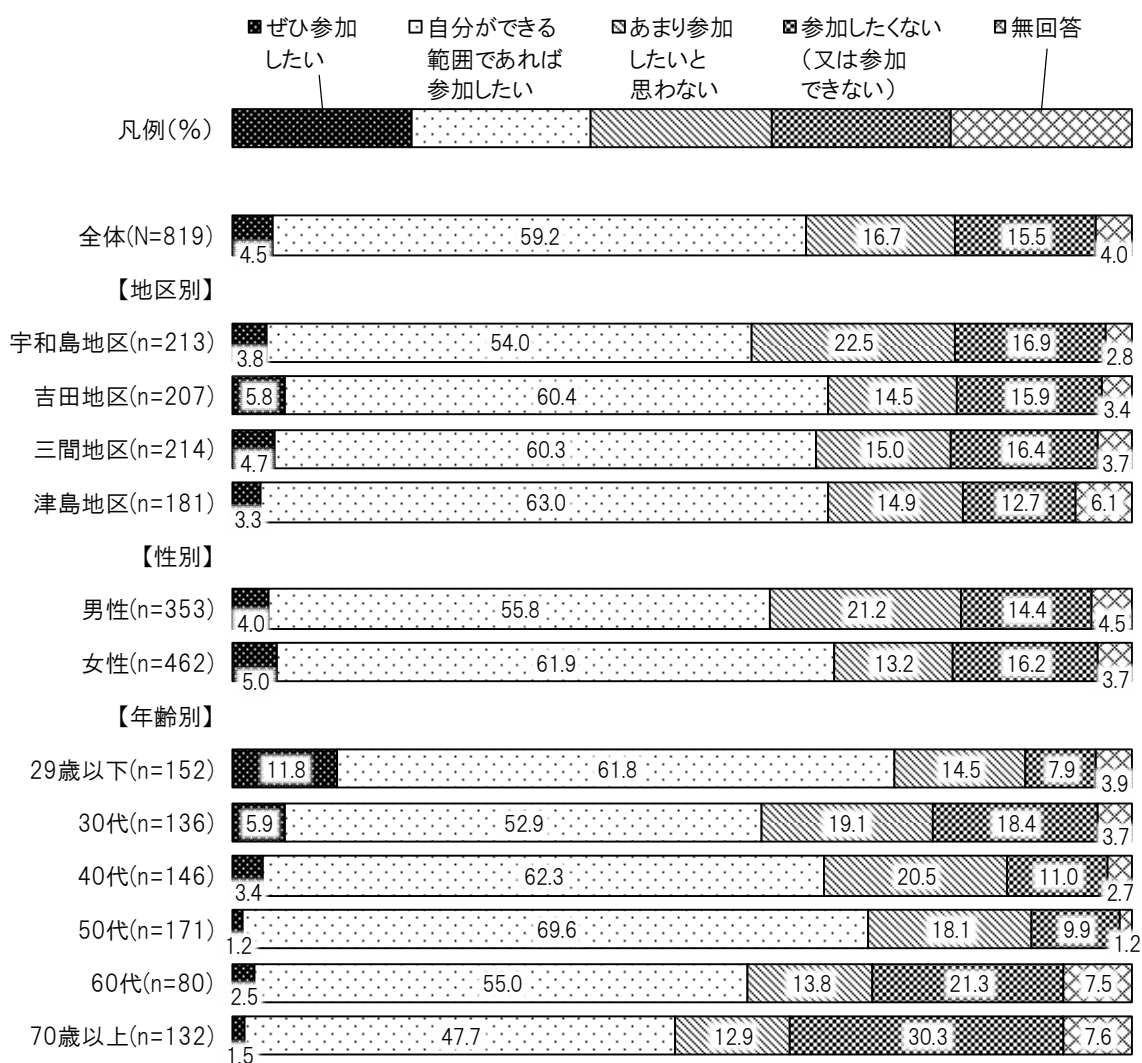
問 29 あなたは今後、ボランティア活動に参加したいと思いますか。(○印1つ)

ボランティア活動への参加意向については、「ぜひ参加したい」が4.5%、「自分ができる範囲であれば参加したい」が59.2%で、合計6割以上(63.7%)が『参加したい』と回答している。一方、「あまり参加したいと思わない」(16.7%)、「参加したくない(又は参加できない)」(15.5%)の合計は32.2%であった。

地区別では、宇和島地区で「あまり参加したいと思わない」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

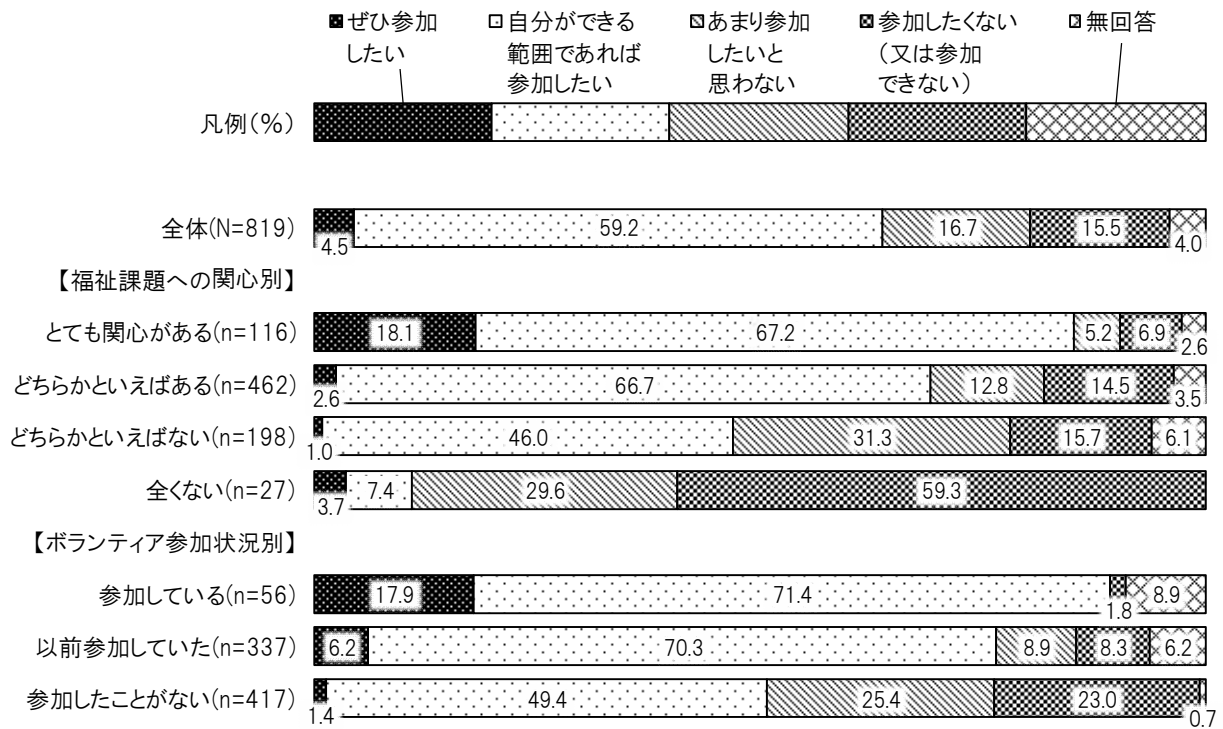
性別では、男性は女性に比べ「あまり参加したいと思わない」の割合が高く、女性は「自分ができる範囲であれば参加したい」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、29歳以下や50代で『参加したい(合計)』、70歳以上で「参加したくない(又は参加できない)」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



福祉課題への関心別では、関心がある層ほど『参加したい（合計）』の割合が高くなっている。

ボランティア参加状況別では、参加したことがない層の約半数が「自分ができる範囲であれば参加したい」と回答している。

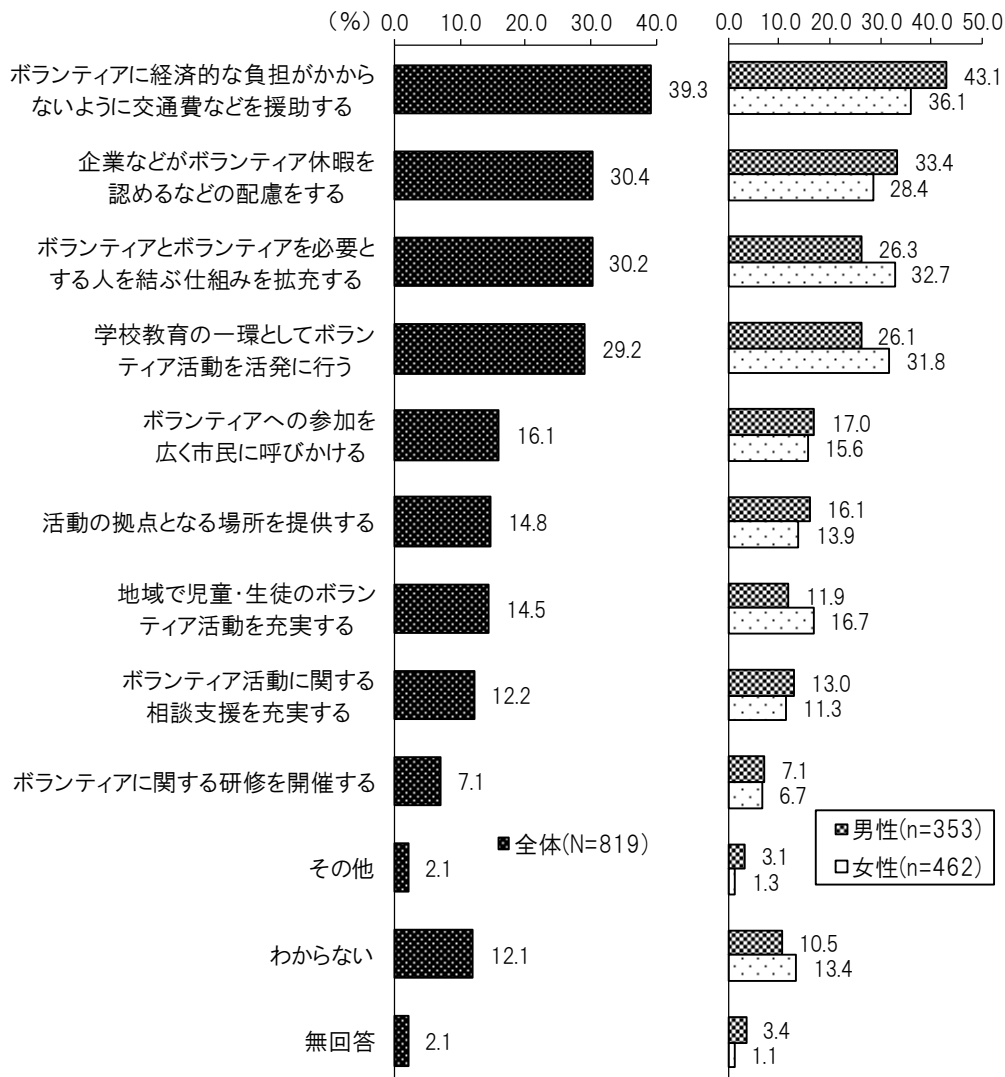


4 ボランティア活動の輪を広げるために必要なこと

問 30 今後、ボランティア活動の輪を広げていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○印3つまで）

ボランティア活動の輪を広げるために必要なことについては、「ボランティアに経済的な負担がかからないように交通費などを援助する」の割合が39.3%と最も高く、次いで「企業などがボランティア休暇を認めるなどの配慮をする」（30.4%）、「ボランティアとボランティアを必要とする人を結ぶ仕組みを拡充する」（30.2%）、「学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う」（29.2%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「ボランティアに経済的な負担がかからないように交通費などを援助する」「企業などがボランティア休暇を認めるなどの配慮をする」の割合が高く、女性は「ボランティアとボランティアを必要とする人を結ぶ仕組みを拡充する」「学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う」などの割合が男性を上回っている。



年齢別では、29歳以下で「学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う」、60代で「活動の拠点となる場所を提供する」、60代以上で「ボランティアに経済的な負担がかからないように交通費などを援助する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	ボランティア活動を援助する	ボランティア活動を認めるとする	ボランティア活動を必要とする	ボランティア活動を学校教育の一環として行う	ボランティア活動への参加を市民に呼びかける	活動の拠点となる場所を提供する	地域で児童・生徒のボランティア活動を充実する	ボランティア活動に関する相談支援を充実する	ボランティアに関する研修を開催する	その他	わからない
全体(N=819)	39.3	30.4	30.2	29.2	16.1	14.8	14.5	12.2	7.1	2.1	12.1
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	38.2	34.2	31.6	39.5	13.2	13.8	16.4	9.2	4.6	2.0	12.5
30代(n=136)	35.3	31.6	26.5	32.4	14.7	11.8	19.9	6.6	5.9	5.1	11.0
40代(n=146)	38.4	38.4	32.9	24.7	12.3	15.1	11.0	11.6	5.5	3.4	11.6
50代(n=171)	37.4	35.1	32.7	30.4	19.3	15.8	14.6	17.0	8.2	0.6	8.8
60代(n=80)	45.0	21.3	27.5	26.3	22.5	22.5	12.5	15.0	10.0	0.0	12.5
70歳以上(n=132)	43.9	15.2	27.3	19.7	17.4	12.9	12.1	13.6	9.8	0.8	17.4

5 民生委員児童委員の認知状況

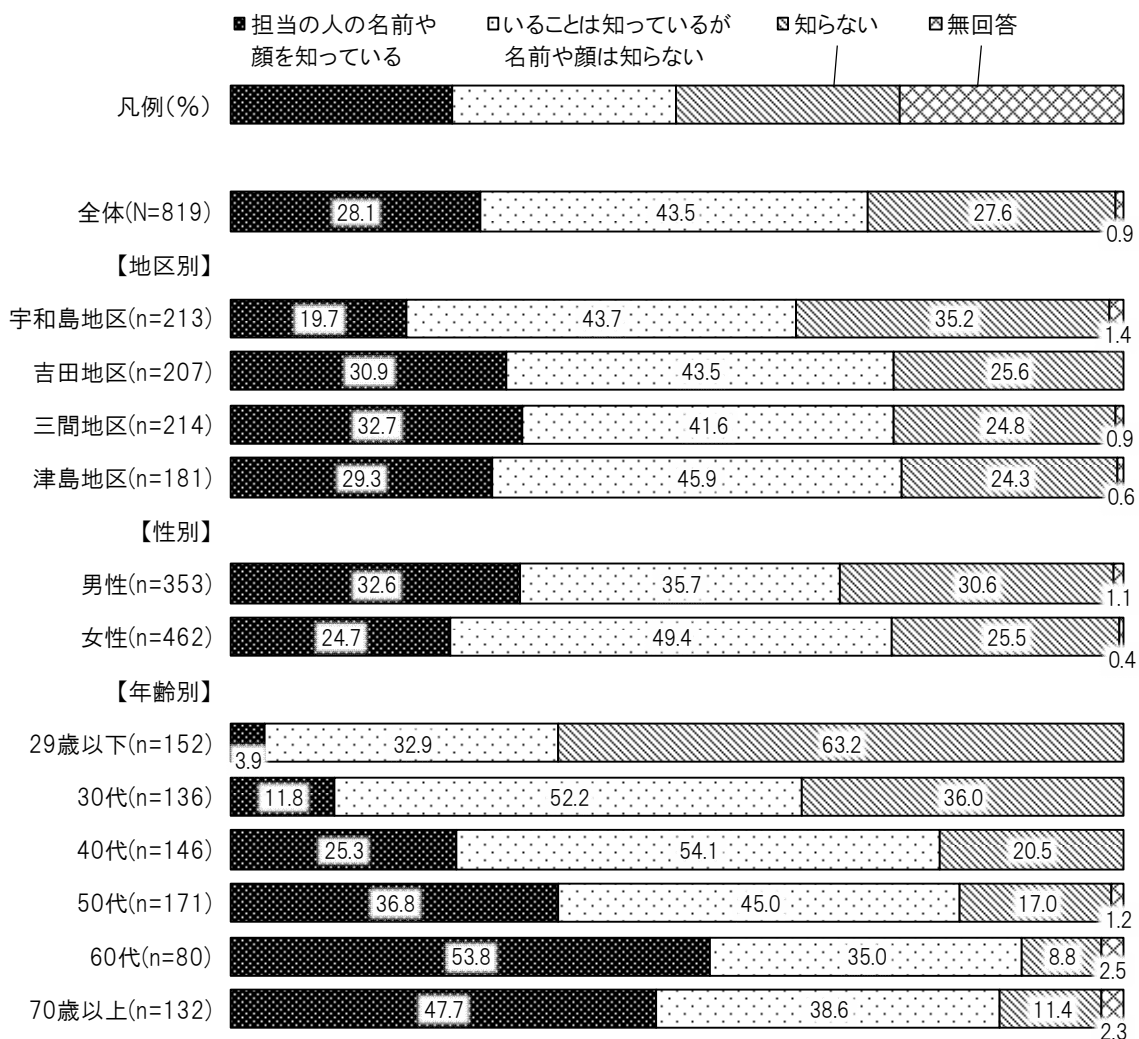
問 31 あなたのお住まいの地域に、民生委員児童委員がいることを知っていますか。
(○印1つ)

民生委員児童委員の認知状況については、「担当の人の名前や顔を知っている」が28.1%、「いることは知っているが名前や顔は知らない」が43.5%、合計で約7割(71.6%)となっている。一方、「知らない」は27.6%となっている。

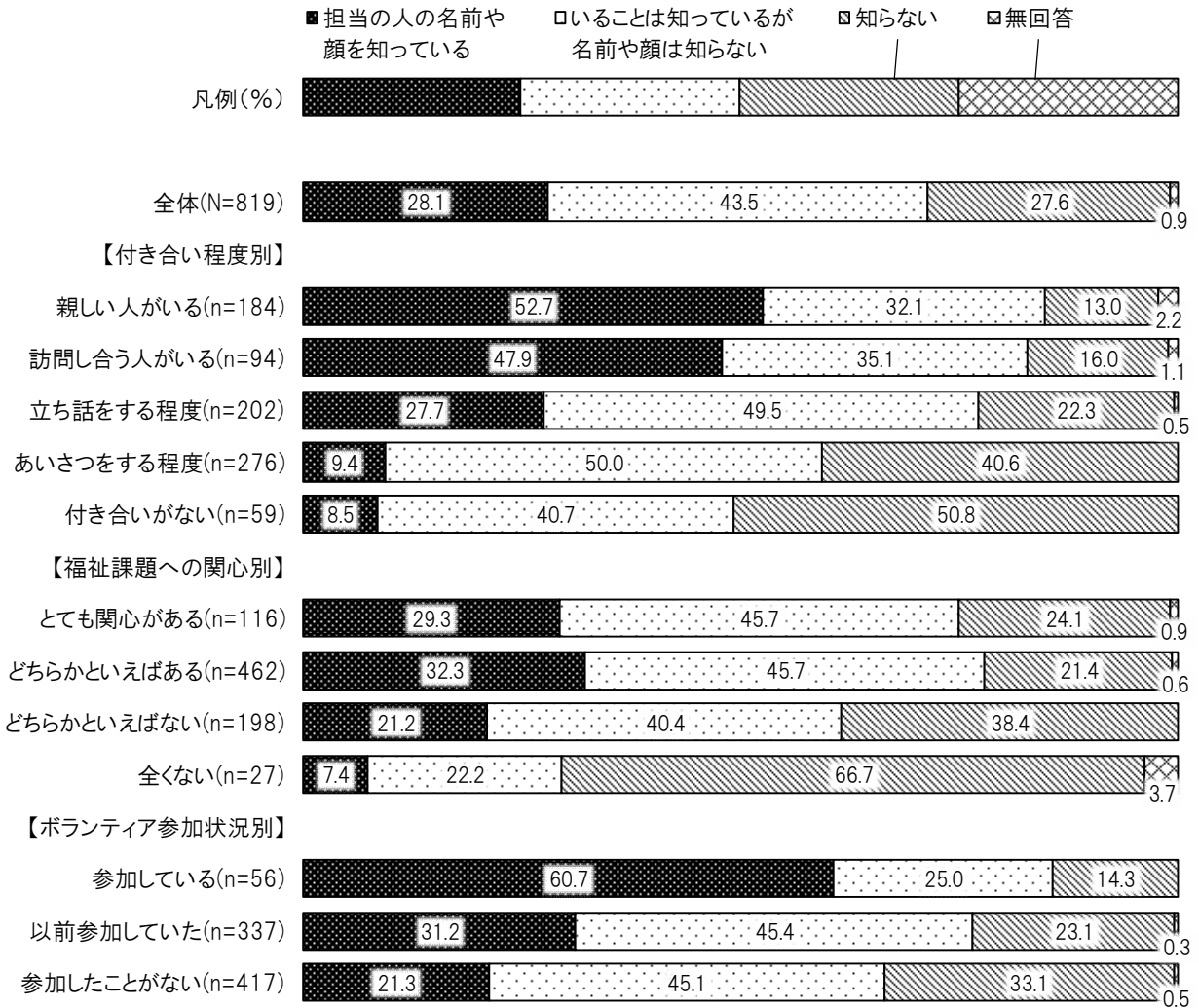
地区別では、宇和島地区で「知らない」の割合が他の地区を大きく上回っている。

性別では、男性は女性に比べ「担当の人の名前や顔を知っている」の割合が高く、女性は「いることは知っているが名前や顔は知らない」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「担当の人の名前や顔を知っている」の割合が高くなっている。



付き合い程度別では付き合いが親しい層で、福祉課題への関心別では関心がある層で「担当の人の名前や顔を知っている」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。
 ボランティア参加状況別では、参加していると回答した層で「担当の人の名前や顔を知っている」の割合が他の層を大きく上回っている。



6 宇和島市社会福祉協議会の認知状況

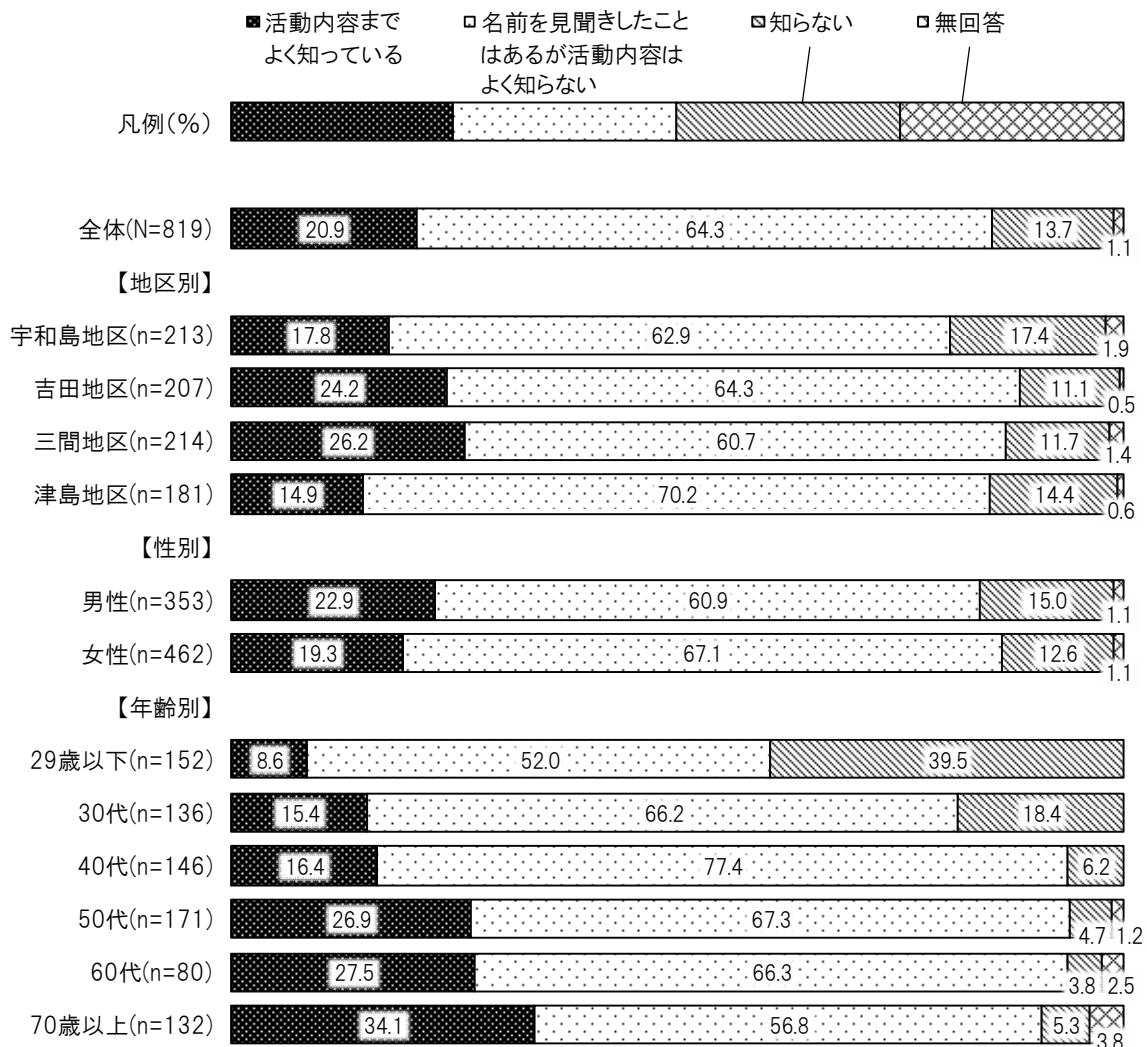
問 32 あなたは、宇和島市社会福祉協議会を知っていますか。（○印1つ）

宇和島市社会福祉協議会の認知状況については、「活動内容までよく知っている」が20.9%、「名前を見聞きしたことはあるが活動内容はよく知らない」が64.3%、合計で85.2%となっている。一方、「知らない」は13.7%となっている。

地区別では、吉田地区や三間地区で「活動内容までよく知っている」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

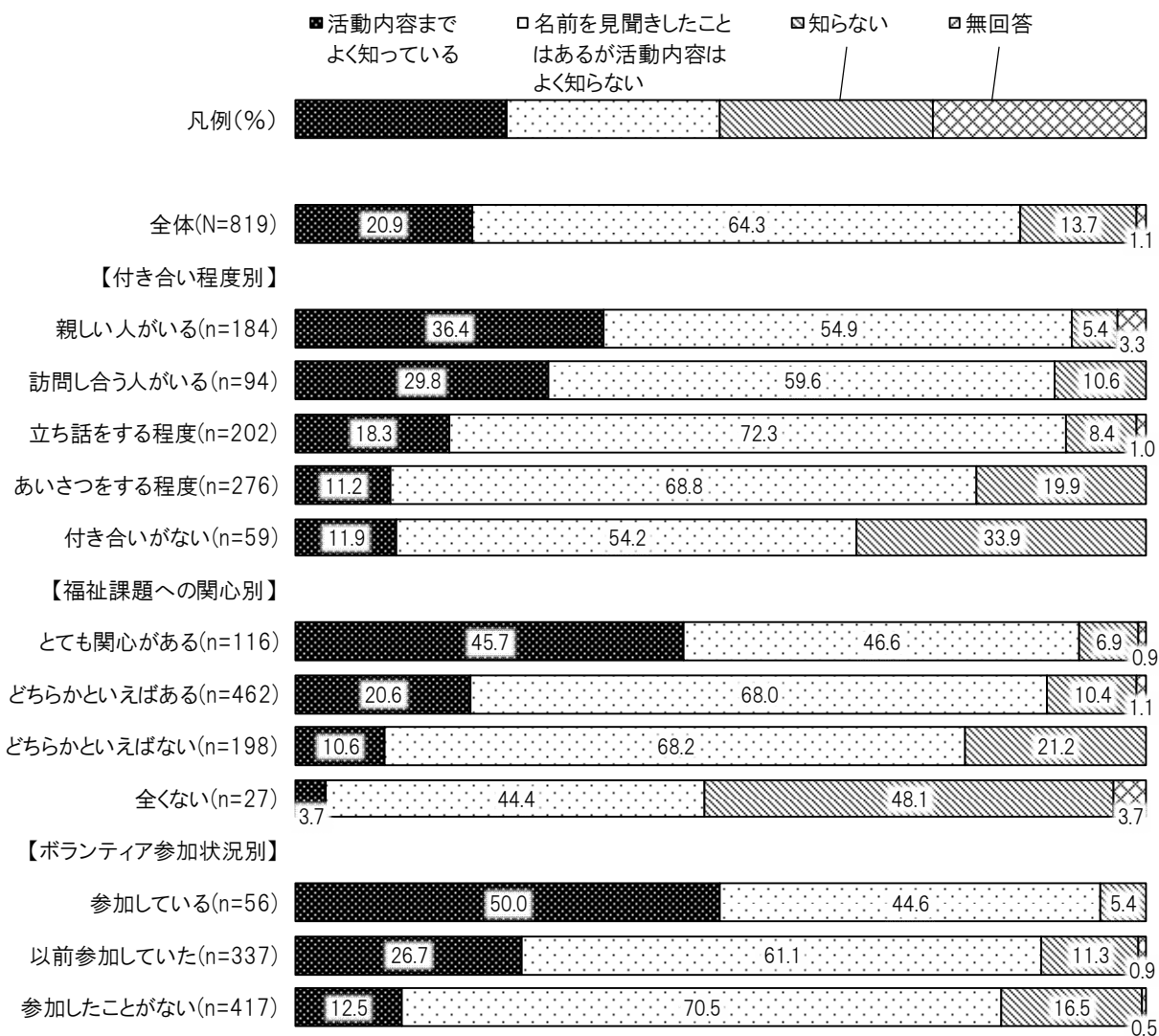
性別では、女性は男性に比べ「名前を見聞きしたことはあるが活動内容はよく知らない」の割合が高くなっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「活動内容までよく知っている」の割合が高くなっていく。



付き合い程度別では付き合いが親しい層ほど、福祉課題への関心別では関心がある層ほど「活動内容までよく知っている」の割合がそれぞれ高くなっている。

ボランティア参加状況別では、参加していると回答した層で「活動内容までよく知っている」の割合が他の層を大きく上回っている。



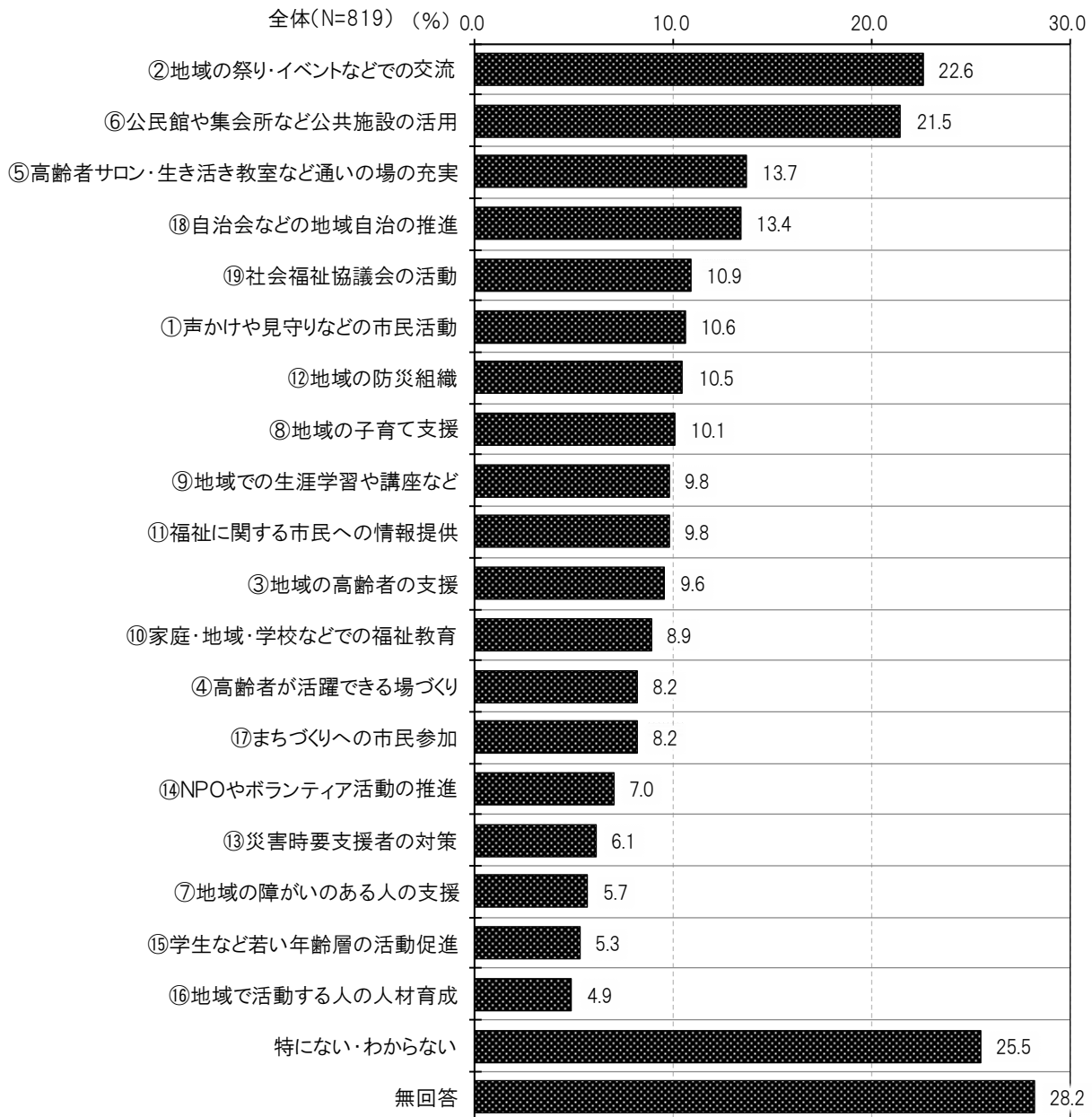
【6】地域福祉の推進について

1 地域福祉に関する取組への満足度・重要度

問 33 次にあげる、宇和島市の地域の福祉に関する取組について、あなたが①満足していると感じる取組はどれですか。また、②今後、重要と思う取組はどれですか。（それぞれあてはまるものすべてに○）

①満足していると感じる取組

満足していると感じる取組については、「②地域の祭り・イベントなどでの交流」の割合が22.6%と最も高く、次いで「⑥公民館や集会所など公共施設の活用」（21.5%）、「⑤高齢者サロン・生き生き教室など通いの場の充実」（13.7%）、「⑱自治会などの地域自治の推進」（13.4%）の順となっている。



地区別では、宇和島地区や三間地区で「⑧地域の子育て支援」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は男性に比べ「⑤高齢者サロン・生き生き教室など通いの場の充実」の割合が高くなっている。

単位 (%)	②	⑥	⑤	⑬	⑱	①	⑫	⑧	⑨	⑪	③
	な地域での祭りの交流	共公民館や集会所など公	充き高の自治会の推進	の自治会などの地域自治	社会福祉協議会の活動	市声かけや見守りなどの	地域の防災組織	地域の子育て支援	座地域での生涯学習や講	情報提供	福祉に関する市民への
全体(N=819)	22.6	21.5	13.7	13.4	10.9	10.6	10.5	10.1	9.8	9.8	9.6
【地区別】											
宇和島地区(n=213)	20.2	21.6	14.1	9.9	8.0	9.9	9.4	12.7	11.7	9.4	7.0
吉田地区(n=207)	22.2	20.8	15.9	14.0	8.7	11.1	9.7	6.8	7.2	8.7	9.7
三間地区(n=214)	24.8	22.4	13.1	15.4	12.1	12.6	13.1	13.6	11.2	9.8	12.1
津島地区(n=181)	22.7	21.0	11.6	14.9	15.5	8.3	9.9	7.2	8.8	11.0	9.4
【性別】											
男性(n=353)	21.5	22.4	9.3	13.3	9.9	9.9	11.6	9.9	9.6	7.1	9.6
女性(n=462)	23.4	20.8	17.1	13.6	11.7	11.0	9.7	10.4	10.0	11.7	9.5

単位 (%)	⑩	④	⑰	⑭	⑬	⑦	⑮	⑯	
	で家庭福祉教育	づく高齢者が活躍できる場	加まちづくりへの市民参	活NPOやボランティア	災害時要支援者の対策	の地域の障がいのある人	活学進など若い年齢層の	材地域で活動する人の人	特にない・わからない
全体(N=819)	8.9	8.2	8.2	7.0	6.1	5.7	5.3	4.9	25.5
【地区別】									
宇和島地区(n=213)	9.9	6.6	8.9	7.5	5.6	7.5	6.6	6.1	29.6
吉田地区(n=207)	6.8	9.2	7.2	8.7	6.8	5.3	3.4	1.9	21.7
三間地区(n=214)	9.8	7.9	8.9	4.7	7.5	5.6	5.1	6.5	22.0
津島地区(n=181)	9.4	9.4	7.7	7.2	4.4	4.4	6.1	5.0	29.8
【性別】									
男性(n=353)	5.9	5.9	7.1	6.5	6.8	5.4	4.2	3.4	24.4
女性(n=462)	11.3	10.0	9.1	7.4	5.6	6.1	6.1	6.1	26.2

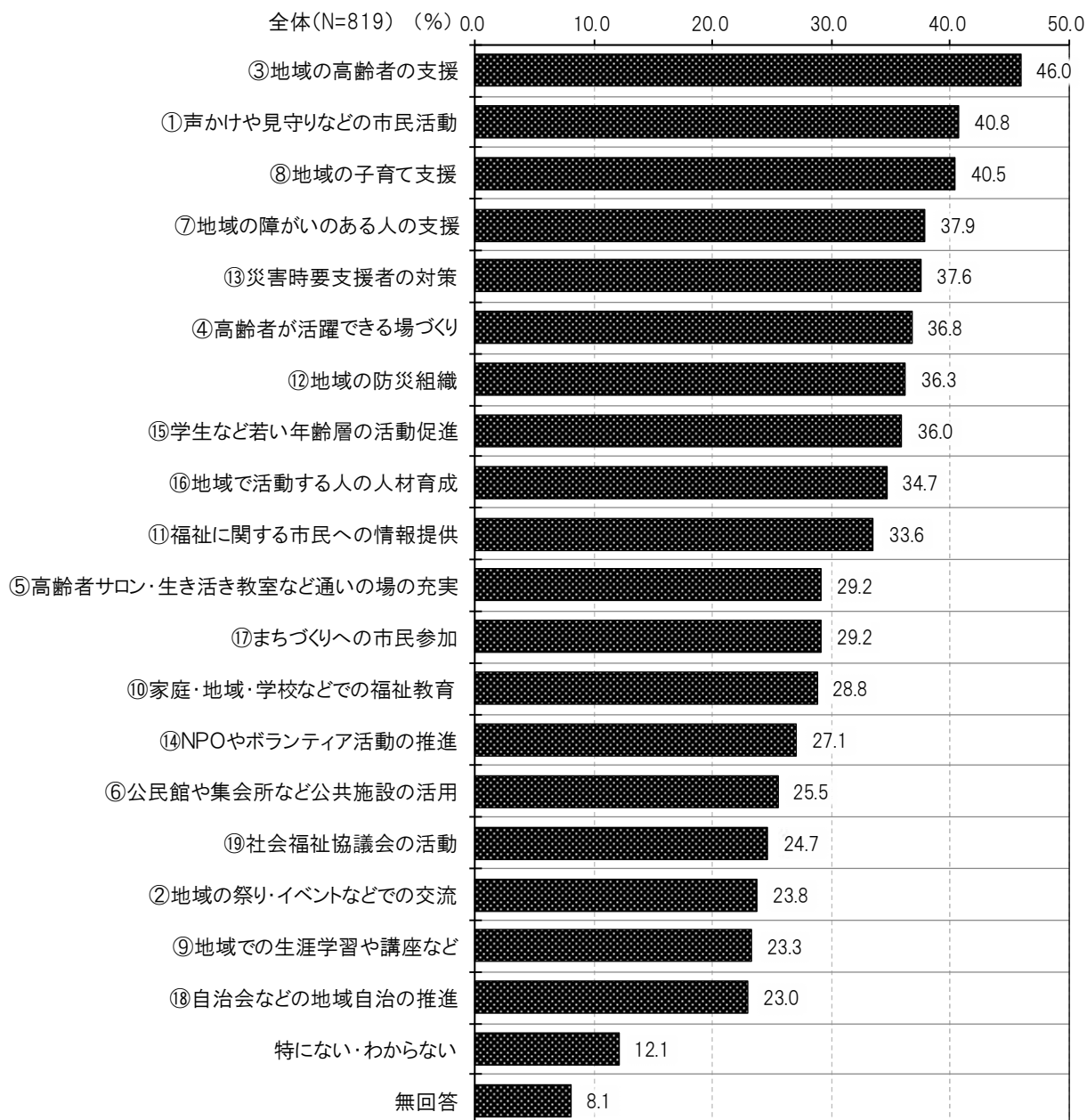
年齢別では、29歳以下で「②地域の祭り・イベントなどでの交流」「④NPOやボランティア活動の推進」、30代で「③地域の高齢者の支援」「④高齢者が活躍できる場づくり」、70歳以上で「⑫地域の防災組織」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べてやや高くなっている。

単位 (%)	②	⑥	⑤	⑱	⑲	①	⑫	⑧	⑨	⑪	③
	な地域の祭り・イベントなどでの交流	共公民館や集会所など公施設の使用	充き高実教齢者室など通いの生きの活	の自治会などの地域自治の推進	社会福祉協議会の活動	市声かけや見守りなどの市民活動	地域の防災組織	地域の子育て支援	座地域での生涯学習や講座など	情報提供	福祉に関する市民への情報提供
全体(N=819)	22.6	21.5	13.7	13.4	10.9	10.6	10.5	10.1	9.8	9.8	9.6
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	30.9	23.0	11.8	15.8	11.2	14.5	11.2	13.2	10.5	10.5	10.5
30代(n=136)	20.6	19.9	19.1	14.0	8.1	11.8	8.8	11.0	10.3	6.6	14.7
40代(n=146)	24.0	23.3	13.0	13.0	11.0	8.2	9.6	11.6	13.7	13.0	8.2
50代(n=171)	21.6	22.8	16.4	14.6	13.5	9.9	10.5	11.1	12.3	11.7	5.8
60代(n=80)	21.3	20.0	7.5	10.0	6.3	7.5	6.3	8.8	5.0	3.8	10.0
70歳以上(n=132)	15.2	18.2	11.4	11.4	12.9	9.8	15.2	3.8	3.8	9.8	9.1

単位 (%)	⑩	④	⑰	⑭	⑬	⑦	⑮	⑯	
	で家庭福祉・地域教育・学校など	づ高齢者が活躍できる場	加まちづくりへの市民参加	活動の推進	NPOやボランティア	災害時要支援者の対策	の地域の障がいのある人の支援	活動促進	材地域で活動する人の育成
全体(N=819)	8.9	8.2	8.2	7.0	6.1	5.7	5.3	4.9	25.5
【年齢別】									
29歳以下(n=152)	12.5	9.2	11.2	11.2	7.2	6.6	8.6	8.6	35.5
30代(n=136)	9.6	14.0	9.6	6.6	7.4	5.1	5.1	3.7	31.6
40代(n=146)	10.3	9.6	8.9	6.8	5.5	6.8	5.5	3.4	24.7
50代(n=171)	9.9	7.0	9.4	7.0	5.3	7.0	6.4	5.8	22.8
60代(n=80)	3.8	3.8	2.5	3.8	2.5	6.3	1.3	1.3	17.5
70歳以上(n=132)	4.5	3.0	4.5	4.5	7.6	2.3	2.3	4.5	17.4

②今後、重要と思う取組

今後、重要と思う取組については、「③地域の高齢者の支援」の割合が46.0%と最も高く、次いで「①声かけや見守りなどの市民活動」(40.8%)、「⑧地域の子育て支援」(40.5%)、「⑦地域の障がいのある人の支援」(37.9%)、「⑬災害時要支援者の対策」(37.6%)の順となっている。



地区別では、吉田地区で「⑬災害時要支援者の対策」「⑯地域で活動する人の人材育成」「⑭NPOやボランティア活動の推進」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「⑱自治会などの地域自治の推進」の割合が高く、女性は「⑫地域の防災組織」の割合が男性を上回っている。

単位 (%)	③ 地域の 高齢者の 支援	① 市声 かけや 見守り などの 活動	⑧ 地域 の子育 て支援	⑦ の地 域の 障がい のある 人	⑬ 災害 時要 支援者 の対策	④ づ高 く齢 者が 活躍 できる 場	⑫ 地 域の 防災 組織	⑮ 活学 動生 促進 など 若い 年齢 層の	⑯ 材地 育域 成で 活動 する 人の 人	⑪ 情福 報社 提供 に 関 する 市民 への	⑤ 充き 実教 室高 など 通い の生 場の 活
全体(N=819)	46.0	40.8	40.5	37.9	37.6	36.8	36.3	36.0	34.7	33.6	29.2
【地区別】											
宇和島地区(n=213)	46.5	37.6	37.1	34.7	36.2	38.0	35.7	38.5	33.8	33.8	27.7
吉田地区(n=207)	48.8	43.0	45.4	41.1	42.0	36.7	39.1	39.1	40.6	36.2	30.9
三間地区(n=214)	45.8	38.3	37.4	41.1	35.0	36.0	33.2	30.8	29.9	30.8	29.0
津島地区(n=181)	43.1	45.3	42.5	33.7	37.6	35.9	37.6	35.9	34.3	33.7	29.3
【性別】											
男性(n=353)	46.5	39.9	38.8	38.0	35.7	38.8	32.3	36.5	36.5	32.9	29.7
女性(n=462)	45.9	41.8	42.0	37.7	39.2	35.1	39.6	35.9	33.3	34.2	29.0

単位 (%)	⑰ 加ま ち づ く り へ の 市 民 参	⑩ で家 庭の 福祉 ・地 域 教 育 ・学 校 な ど	⑭ 活N 動P のO 推 進 や ボ ラ ン テ ィ ア	⑥ 共公 施民 設館 の 活 用 集 会 所 な ど 公	⑱ 社 会 福 祉 協 議 会 の 活 動	② な地 域 で の 祭 り ・ イ ベ ン ト	⑨ 座地 な ど で の 生 涯 学 習 や 講	⑱ の自 治 会 な ど の 地 域 自 治	特 に な い ・ わ か ら な い
全体(N=819)	29.2	28.8	27.1	25.5	24.7	23.8	23.3	23.0	12.1
【地区別】									
宇和島地区(n=213)	29.1	29.6	26.8	21.1	27.7	26.3	23.0	25.8	14.6
吉田地区(n=207)	32.4	32.9	31.9	28.5	30.0	25.1	26.1	26.6	10.1
三間地区(n=214)	25.2	27.6	26.6	24.8	21.5	22.0	22.0	18.7	12.1
津島地区(n=181)	29.8	24.9	22.7	28.2	18.8	22.1	22.1	20.4	11.6
【性別】									
男性(n=353)	30.6	29.7	27.5	26.9	26.1	24.9	24.4	27.2	11.9
女性(n=462)	28.1	28.4	27.1	24.7	23.8	23.2	22.7	19.9	12.3

年齢別では、60代で割合の高い項目が多くみられ、特に「④高齢者が活躍できる場づくり」「⑤高齢者サロン・生き生き教室など通いの場の充実」「⑩自治会などの地域自治の推進」などの割合が高くなっている。

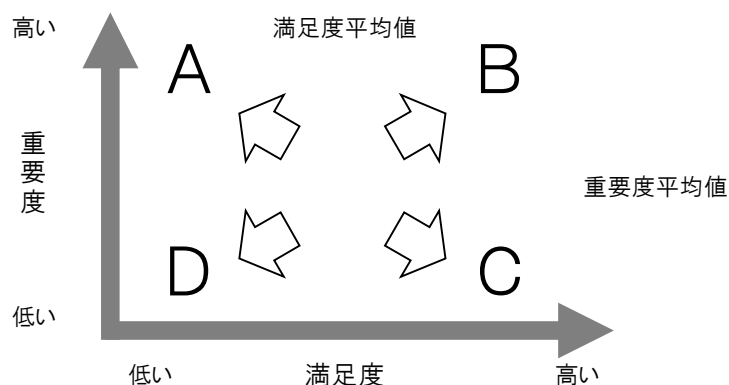
単位 (%)	③	①	⑧	⑦	⑬	④	⑫	⑮	⑯	⑪	⑤
	地域の 高齢者の 支援	市民 かけ 見守り などの	地域 の子 育て 支援	地域 の障 がい の人	災害 時支 援者 の対 策	高 齢者 が活 躍で きる 場	地 域の 防災 組織	学 生な ど若 い年 齢層 の	材地 域で 活動 する 人の 人	情福 報社 に 関 する 市民 への	充 実 高 齢者 サロ ン・ 通 いの 場 の
全体(N=819)	46.0	40.8	40.5	37.9	37.6	36.8	36.3	36.0	34.7	33.6	29.2
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	41.4	28.3	35.5	36.2	34.2	31.6	28.9	36.8	32.2	30.3	28.9
30代(n=136)	35.3	38.2	47.8	36.0	39.7	27.9	33.8	39.7	36.8	37.5	19.9
40代(n=146)	44.5	37.7	42.5	34.9	36.3	34.2	38.4	34.9	31.5	27.4	28.8
50代(n=171)	54.4	49.7	38.6	39.8	43.9	40.9	43.3	36.3	33.9	34.5	29.8
60代(n=80)	56.3	50.0	47.5	46.3	45.0	48.8	45.0	38.8	43.8	41.3	41.3
70歳以上(n=132)	47.7	44.7	34.1	37.9	28.8	40.9	31.1	31.1	34.8	34.1	31.8

単位 (%)	⑰	⑩	⑭	⑥	⑱	②	⑨	⑱	
	加 ま ち づ く り へ の 市 民 参 加	家 庭 ・ 社 区 ・ 学 校 な ど の 教 育	活 動 の 推 進 や ボ ラ ン テ ィ ア	公 民 館 や 集 会 所 な ど の 活 用	社 会 福 祉 協 議 会 の 活 動	地 域 の 祭 り ・ イ ベ ン ト	地 域 な ど の 生 涯 学 習 や 講 座	自 治 会 な ど の 地 域 自 治 の 推 進	特 に な い ・ わ か ら な い
全体(N=819)	29.2	28.8	27.1	25.5	24.7	23.8	23.3	23.0	12.1
【年齢別】									
29歳以下(n=152)	32.9	26.3	25.0	21.1	22.4	21.7	25.0	17.8	19.1
30代(n=136)	33.8	30.9	27.2	24.3	27.2	25.0	24.3	22.1	14.7
40代(n=146)	24.0	32.2	27.4	23.3	17.1	19.9	22.6	19.9	7.5
50代(n=171)	26.9	26.3	25.7	26.9	24.0	24.0	17.0	21.1	7.6
60代(n=80)	33.8	35.0	31.3	35.0	30.0	30.0	32.5	36.3	11.3
70歳以上(n=132)	26.5	25.8	28.8	27.3	31.1	25.8	24.2	28.0	12.9

【各取組の満足度と重要度の相関図による分析】

満足度と重要度の割合をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、19の取組を散布図上に示したものが相関図である。

満足度と重要度の各平均値を基準としてA～Dの4つの領域に区分し、各取組がどの領域に配置されるのかを整理する。



4つの領域については、左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたい、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

重要度が高いが、満足度が相対的に低く、取組の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域。

B. 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

C. 重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは取組のあり方を含めて、見直す必要のある領域。

D. 重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

重要度も満足度も低く、取組の目的やニーズを再確認するとともに、取組のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域。

【A 重点化・見直し領域】

A重点化・見直し領域に含まれる取組は次のとおりである。

	満足度(%)	重要度(%)
③地域の高齢者の支援	9.6	46.0
④高齢者が活躍できる場づくり	8.2	36.8
⑦地域の障がいのある人の支援	5.7	37.9
⑧地域の子育て支援	10.1	40.5
⑪福祉に関する市民への情報提供	9.8	33.6
⑬災害時要支援者の対策	6.1	37.6
⑮学生など若い年齢層の活動促進	5.3	36.0
⑯地域で活動する人の人材育成	4.9	34.7

【B 現状維持領域】

B現状維持領域に含まれる取組は次のとおりである。

	満足度(%)	重要度(%)
①声かけや見守りなどの市民活動	10.6	40.8
⑫地域の防災組織	10.5	36.3

【C 現状維持・見直し領域】

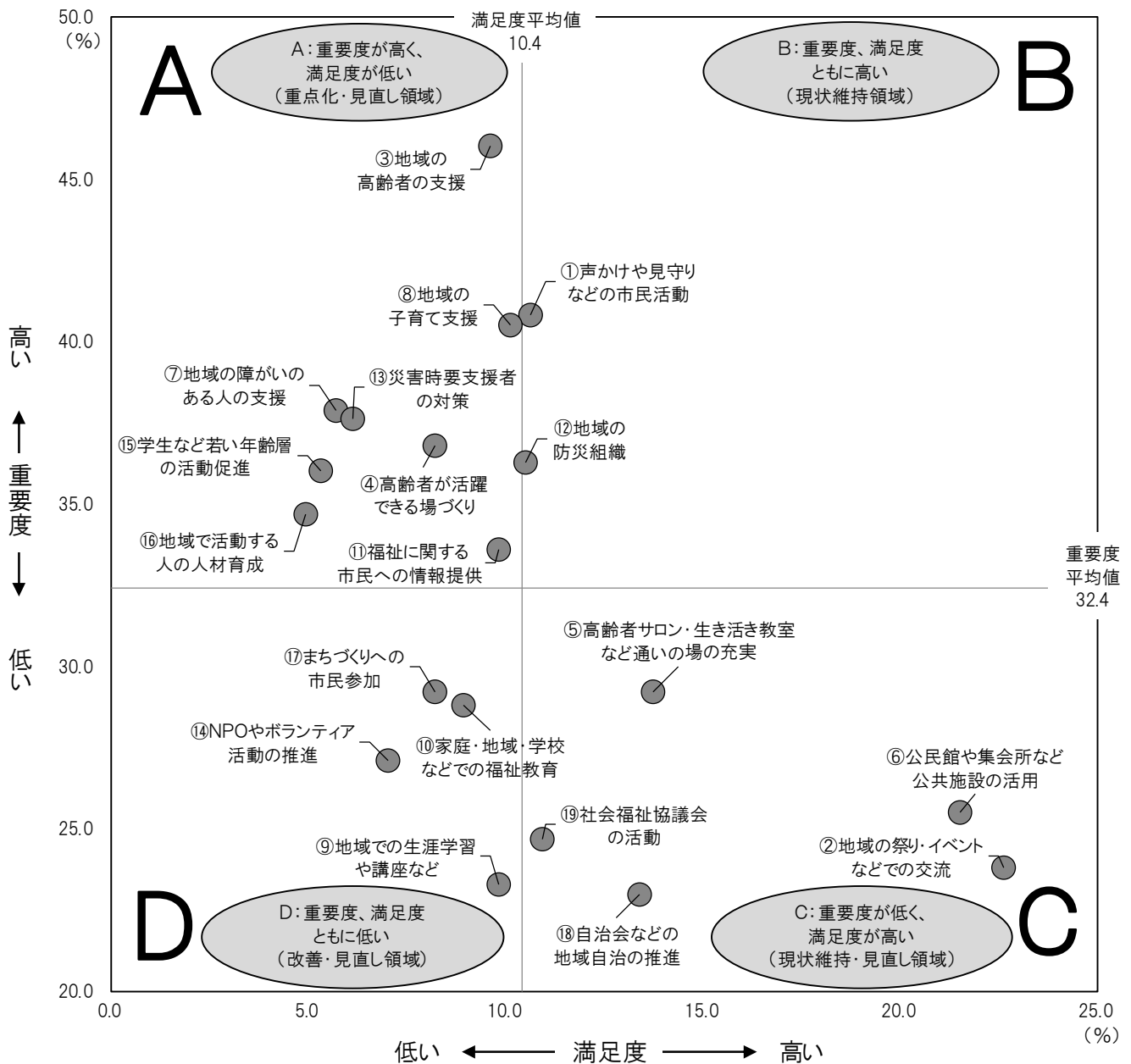
C現状維持・見直し領域に含まれる取組は次のとおりである。

	満足度(%)	重要度(%)
②地域の祭り・イベントなどでの交流	22.6	23.8
⑤高齢者サロン・生き生き教室など通いの場の充実	13.7	29.2
⑥公民館や集会所など公共施設の活用	21.5	25.5
⑱自治会などの地域自治の推進	13.4	23.0
⑲社会福祉協議会の活動	10.9	24.7

【D 改善・見直し領域】

D改善・見直し領域に含まれる取組は次のとおりである。

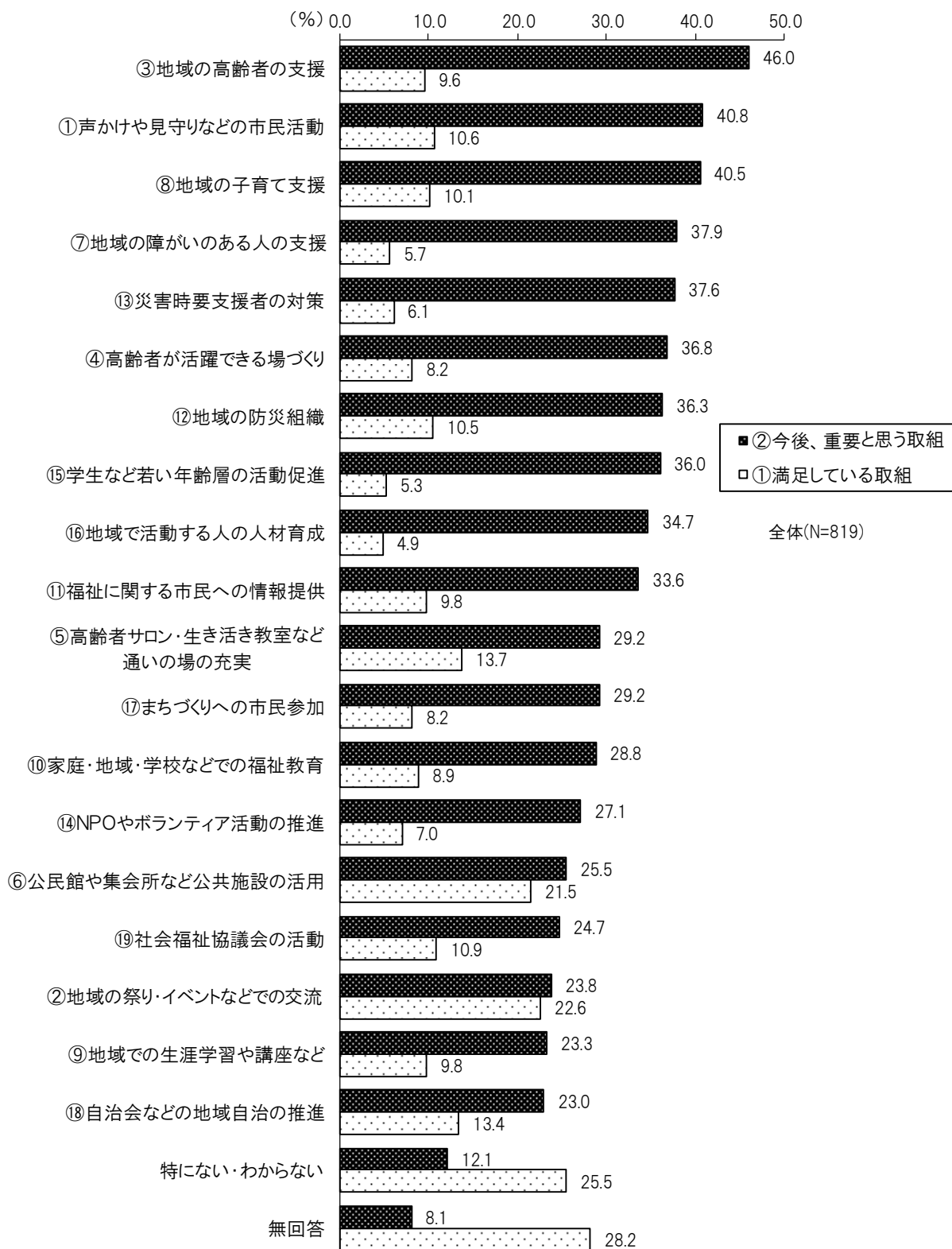
	満足度(%)	重要度(%)
⑨地域での生涯学習や講座など	9.8	23.3
⑩家庭・地域・学校などでの福祉教育	8.9	28.8
⑭NPOやボランティア活動の推進	7.0	27.1
⑰まちづくりへの市民参加	8.2	29.2



	領域
①声かけや見守りなどの市民活動	B
②地域の祭り・イベントなどでの交流	C
③地域の高齢者の支援	A
④高齢者が活躍できる場づくり	A
⑤高齢者サロン・生き生き教室など通いの場の充実	C
⑥公民館や集会所など公共施設の活用	C
⑦地域の障がいのある人の支援	A
⑧地域の子育て支援	A
⑨地域での生涯学習や講座など	D
⑩家庭・地域・学校などでの福祉教育	D

	領域
⑪福祉に関する市民への情報提供	A
⑫地域の防災組織	B
⑬災害時要支援者の対策	A
⑭NPOやボランティア活動の推進	D
⑮学生など若い年齢層の活動促進	A
⑯地域で活動する人の人材育成	A
⑰まちづくりへの市民参加	D
⑱自治会などの地域自治の推進	C
社会福祉協議会の活動	C

【参考／問 33 「①満足していると感じる取組」と「②今後、重要と思う取組」の比較】

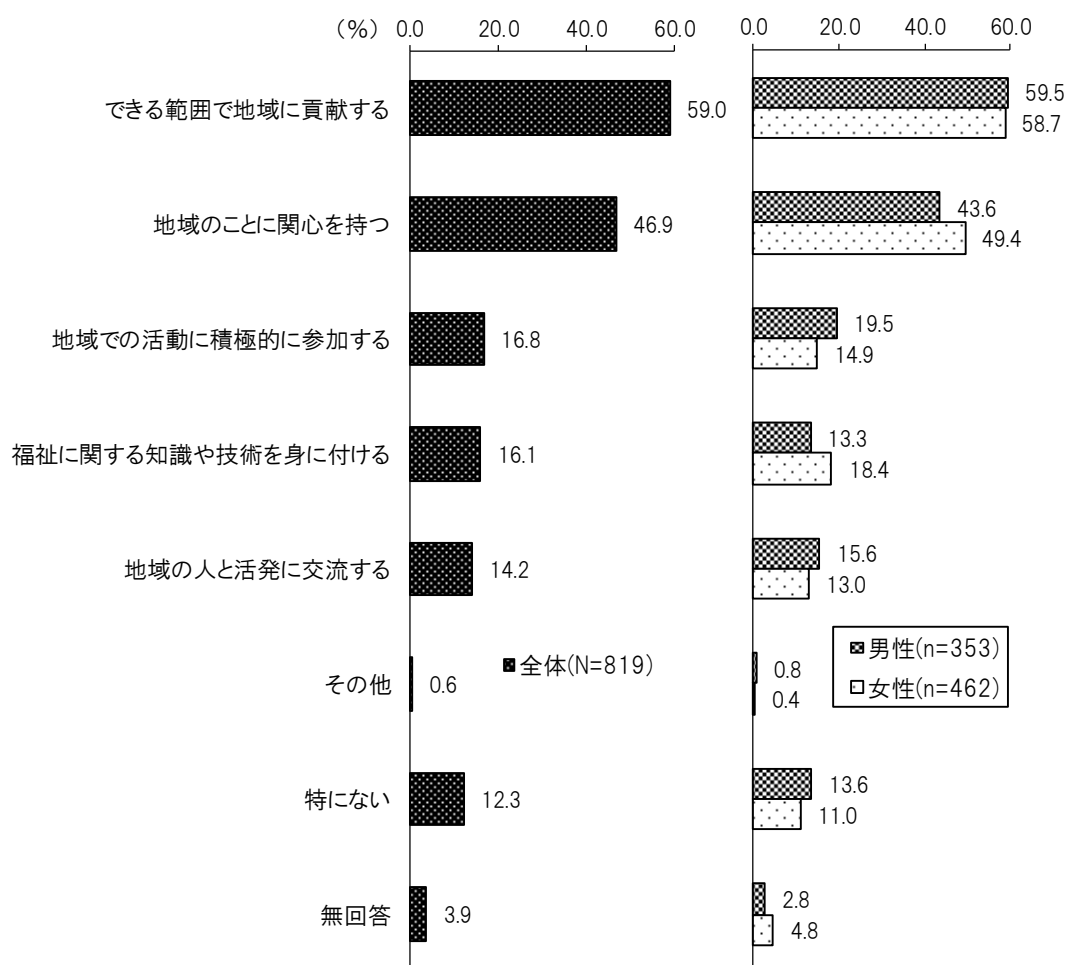


2 地域福祉を推進するためにできること

問 34 地域福祉を推進するために、今後、あなた自身ができることは何ですか。
(○印3つまで)

地域福祉を推進するためにできることについては、「できる範囲で地域に貢献する」の割合が59.0%と最も高く、次いで「地域のことに興味を持つ」(46.9%)、「地域での活動に積極的に参加する」(16.8%)、「福祉に関する知識や技術を身に付ける」(16.1%)、「地域の人と活発に交流する」(14.2%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「地域のことに興味を持つ」「福祉に関する知識や技術を身に付ける」の割合が高くなっている。



年齢別では、50代で「できる範囲で地域に貢献する」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

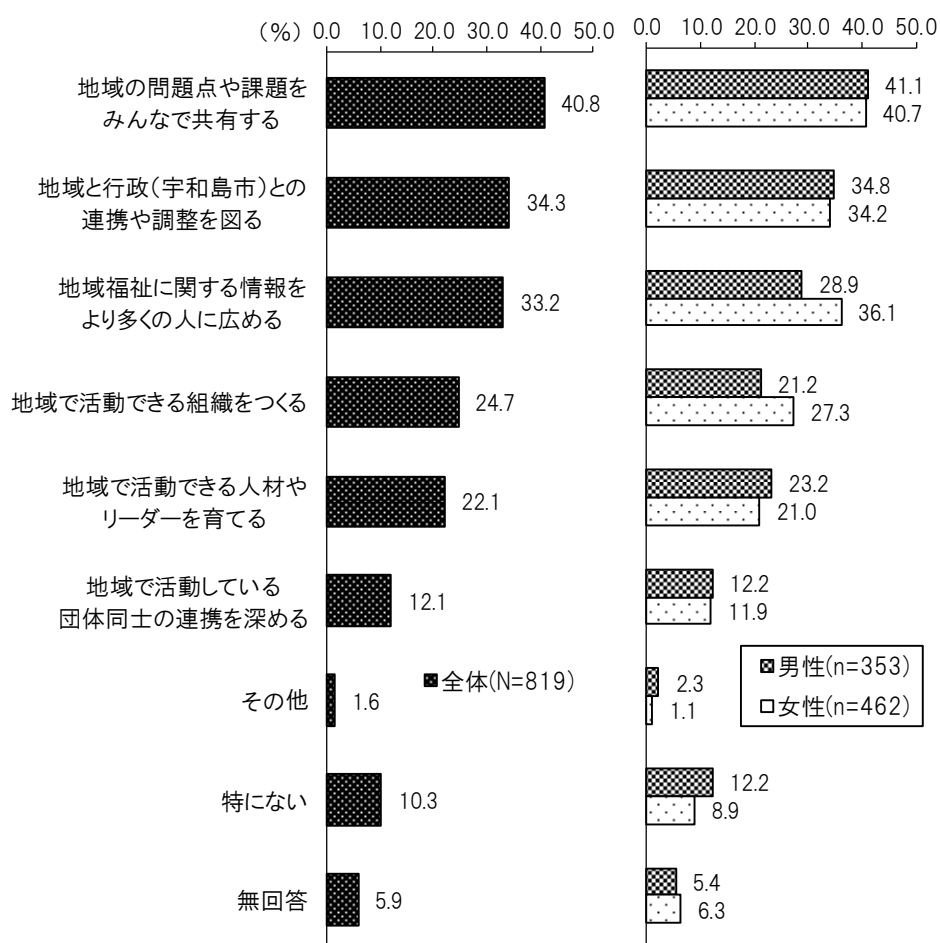
単位 (%)	できる範囲で地域に貢献する	地域のことに関心を持つ	地域での活動に積極的に参加する	福祉に関する知識や技術を身に付ける	地域の人と活発に交流する	その他	特にない
全体(N=819)	59.0	46.9	16.8	16.1	14.2	0.6	12.3
【年齢別】							
29歳以下(n=152)	48.7	50.0	23.7	21.1	14.5	0.7	16.4
30代(n=136)	50.0	47.8	18.4	18.4	14.0	0.0	14.7
40代(n=146)	61.6	47.3	12.3	17.8	14.4	1.4	8.9
50代(n=171)	69.6	43.9	13.5	17.0	12.9	0.6	9.9
60代(n=80)	63.8	43.8	20.0	10.0	16.3	0.0	10.0
70歳以上(n=132)	59.8	47.7	15.2	9.1	14.4	0.8	13.6

3 地域で進めるべき取組

問 35 地域福祉を推進するために、地域ぐるみではどのような取組を進めていけばよいと思いますか。（○印3つまで）

地域で進めるべき取組については、「地域の問題点や課題をみんなで共有する」の割合が40.8%と最も高く、次いで「地域と行政(宇和島市)との連携や調整を図る」(34.3%)、「地域福祉に関する情報をより多くの人に広める」(33.2%)、「地域で活動できる組織をつくる」(24.7%)、「地域で活動できる人材やリーダーを育てる」(22.1%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「地域福祉に関する情報をより多くの人に広める」「地域で活動できる組織をつくる」の割合が高くなっている。



地区別では、三間地区や津島地区で「地域の問題点や課題をみんなで共有する」、吉田地区や津島地区で「地域と行政（宇和島市）との連携や調整を図る」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、50代で「地域福祉に関する情報をより多くの人に広める」、60代で「地域と行政（宇和島市）との連携や調整を図る」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

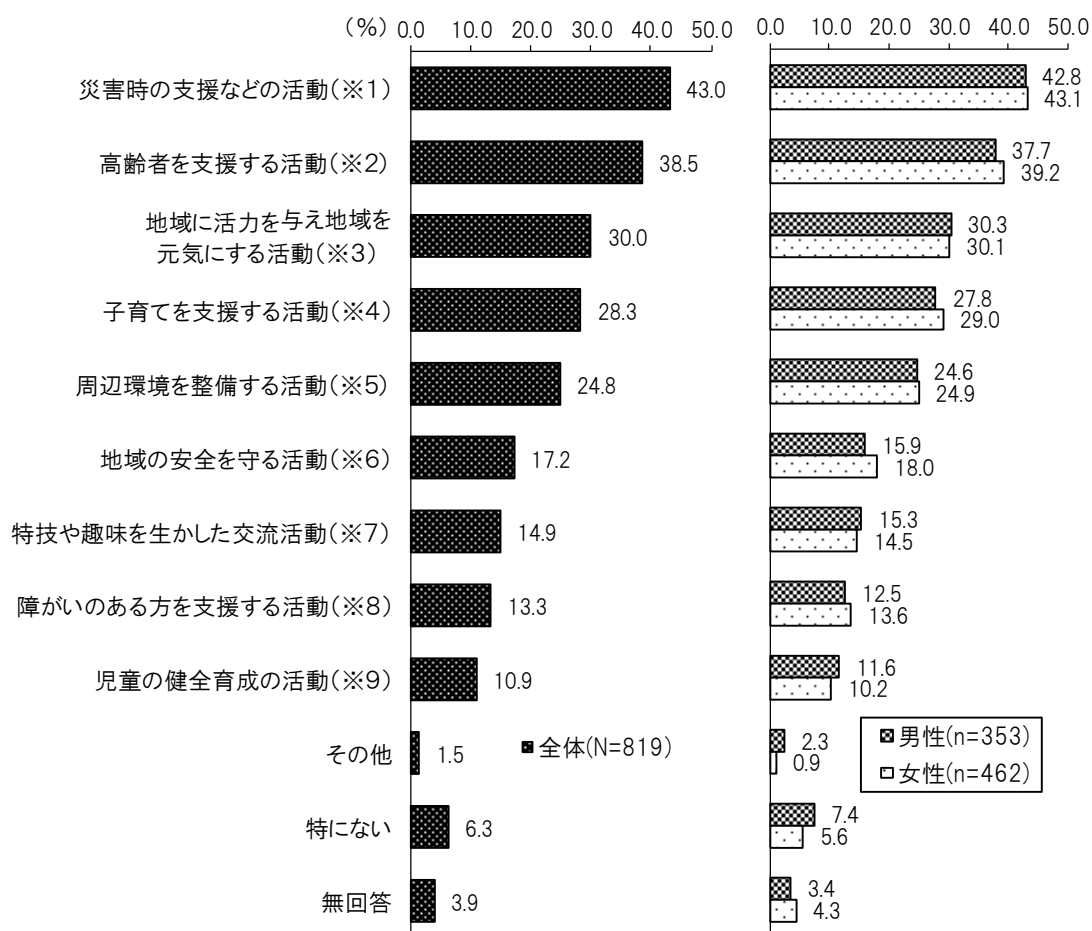
単位 (%)	地域の問題点や課題をみんなで共有する	地域と行政（宇和島市）との連携や調整を図る	地域福祉に関する情報をより多くの人に広める	地域で活動できる組織をつくる	地域で活動できる人材やリーダーを育てる	地域で活動している団体同士の連携を深める	その他	特になし
全体(N=819)	40.8	34.3	33.2	24.7	22.1	12.1	1.6	10.3
【地区別】								
宇和島地区(n=213)	35.7	27.2	32.4	21.1	26.3	9.9	0.9	12.7
吉田地区(n=207)	37.7	39.1	30.4	28.0	22.7	11.1	1.0	9.7
三間地区(n=214)	43.5	33.6	35.0	26.2	21.0	12.1	1.9	10.7
津島地区(n=181)	47.0	38.1	33.7	23.2	17.7	15.5	2.8	7.7
【年齢別】								
29歳以下(n=152)	32.2	25.0	32.2	19.7	19.7	17.1	2.0	18.4
30代(n=136)	41.2	34.6	30.1	33.1	15.4	12.5	1.5	11.0
40代(n=146)	41.8	33.6	26.7	29.5	19.9	15.1	2.1	6.8
50代(n=171)	43.9	38.0	41.5	23.4	24.6	6.4	1.8	6.4
60代(n=80)	46.3	43.8	31.3	25.0	26.3	15.0	1.3	7.5
70歳以上(n=132)	40.9	34.8	34.8	18.2	28.0	8.3	0.8	10.6

4 今後、重要だと思ふ地域活動

問 36 あなたは、今後、宇和島市にはどのような地域活動が重要だと思いますか。
(○印3つまで)

今後、重要だと思ふ地域活動については、「災害時の支援などの活動」の割合が43.0%と最も高く、次いで「高齢者を支援する活動」(38.5%)、「地域に活力を与え地域を元気にする活動」(30.0%)、「子育てを支援する活動」(28.3%)、「周辺環境を整備する活動」(24.8%)の順となっている。

性別では、大きな差はみられない。



- ※1:災害時の支援などの活動(物資の寄付、復興支援、災害時要支援者の見守りなど)
- ※2:高齢者を支援する活動(家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出時の付き添いなど)
- ※3:地域に活力を与え地域を元気にする活動(自治会での交流活動や若者の福祉活動への参加など)
- ※4:子育てを支援する活動(子育て交流会や乳児健診、子どもの一時預かりなど)
- ※5:周辺環境を整備する活動(道路・公園の清掃、リサイクルなど)
- ※6:地域の安全を守る活動(防犯パトロール、子どもの見守りなど)
- ※7:特技や趣味を生かした交流活動(手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など)
- ※8:障がいのある方を支援する活動(軽介助、外出時の付き添い、手話、点字、要約筆記など)
- ※9:児童の健全育成の活動(スポーツの指導、子ども会の活動など)

地区別では、吉田地区で「災害時の支援などの活動」の割合が他の地区を大きく上回っている。

年齢別では、30代で「子育てを支援する活動」「地域の安全を守る活動」、50～60代で「高齢者を支援する活動」、70歳以上で「地域に活力を与え地域を元気にする活動」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

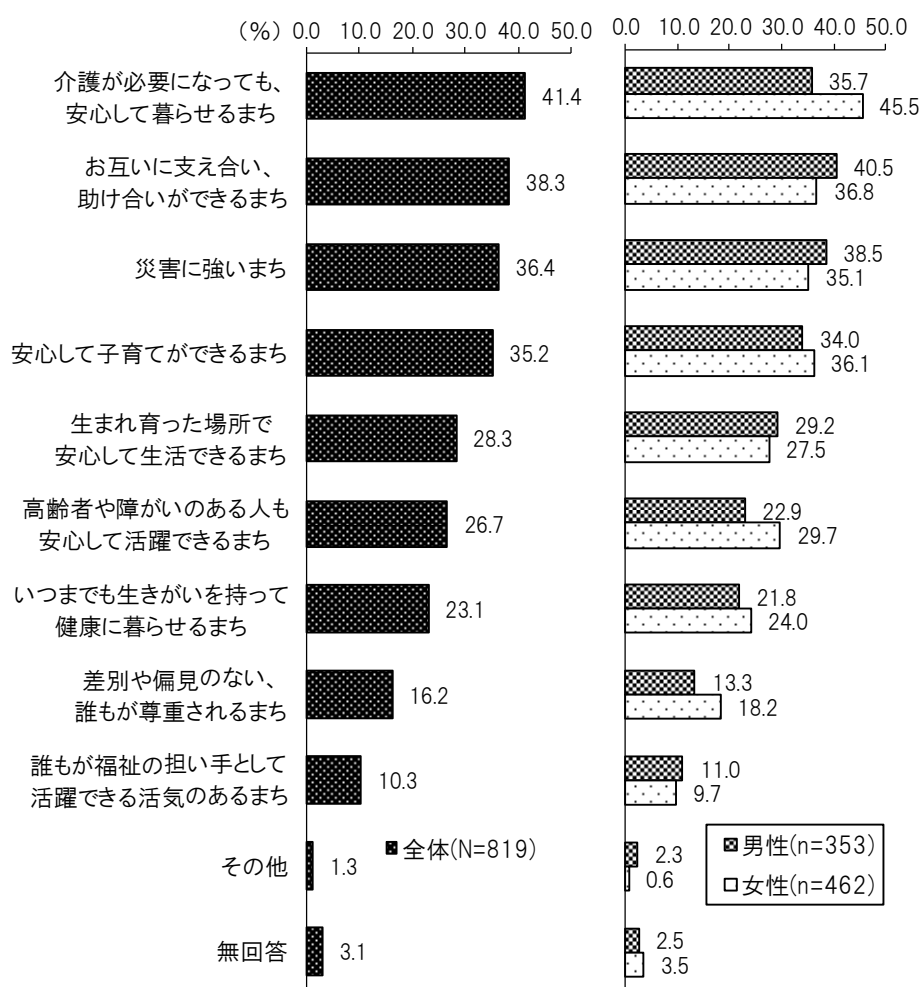
単位 (%)	災害時の支援などの活動	高齢者を支援する活動	地域に活力を与え地域を元気にする活動	子育てを支援する活動	周辺環境を整備する活動	地域の安全を守る活動	特技や趣味を生かした交流活動	障がいのある方を支援する活動	児童の健全育成の活動	その他	特にない
全体(N=819)	43.0	38.5	30.0	28.3	24.8	17.2	14.9	13.3	10.9	1.5	6.3
【地区別】											
宇和島地区(n=213)	42.3	33.3	25.8	31.5	24.4	16.9	14.6	14.6	8.5	1.4	9.9
吉田地区(n=207)	52.2	41.5	30.4	27.5	24.2	12.1	15.0	15.0	10.6	1.4	4.8
三間地区(n=214)	36.4	38.3	29.9	26.2	23.8	19.6	15.9	12.1	11.7	1.4	6.5
津島地区(n=181)	40.9	42.0	34.8	28.7	26.5	19.9	13.8	11.0	12.7	1.7	3.9
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	48.0	32.9	29.6	33.6	22.4	15.1	17.8	12.5	10.5	1.3	11.8
30代(n=136)	41.2	28.7	25.0	42.6	26.5	22.8	11.0	11.0	16.9	2.2	7.4
40代(n=146)	39.7	34.9	25.3	25.3	23.3	15.8	19.9	15.8	15.8	1.4	4.8
50代(n=171)	48.0	48.5	28.1	24.0	28.1	17.0	11.7	19.9	7.0	2.3	2.9
60代(n=80)	48.8	47.5	30.0	32.5	20.0	16.3	12.5	12.5	10.0	0.0	5.0
70歳以上(n=132)	32.6	40.2	43.9	14.4	25.0	15.9	15.9	6.1	4.5	0.8	6.1

5 宇和島市の将来像

問 37 あなたは、これからの地域福祉を見据えて、将来、宇和島市にどのようなまちになってほしいと思いますか。（○印3つまで）

宇和島市の将来像については、「介護が必要になっても、安心して暮らせるまち」の割合が41.4%と最も高く、次いで「お互いに支え合い、助け合いができるまち」（38.3%）、「災害に強いまち」（36.4%）、「安心して子育てができるまち」（35.2%）、「生まれ育った場所で安心して生活できるまち」（28.3%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「介護が必要になっても、安心して暮らせるまち」「高齢者や障がいのある人も安心して活躍できるまち」などの割合が高くなっている。



地区別では、吉田地区で「災害に強いまち」、津島地区で「お互いに支え合い、助け合いができるまち」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代で「安心して子育てができるまち」、60代以上で「お互いに支え合い、助け合いができるまち」の割合がそれぞれ高く、年齢が上がるほど「介護が必要になっても、安心して暮らせるまち」の割合が高くなっている。

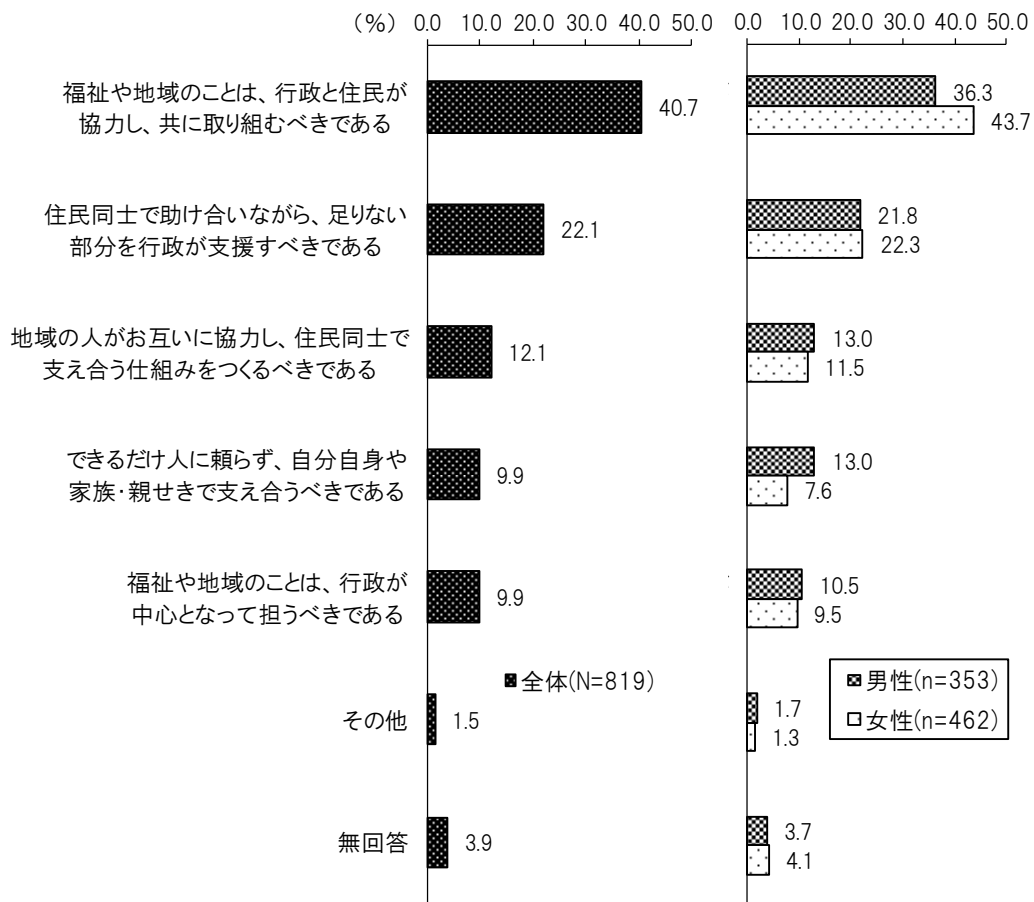
単位 (%)	介護が必要になっても、安心して暮らせるまち	お互いに支え合い、助け合いができるまち	災害に強いまち	安心して子育てができるまち	生まれ育つ場所で安心して生活できるまち	高齢者や障がいのある人も安心して活躍できるまち	健康に暮らせるまち	いつまでも生きがいを持って重さされるまち	差別や偏見のない、誰もが尊重されるまち	誰もが福祉の担い手として活躍できる活気のあるまち	その他
全体(N=819)	41.4	38.3	36.4	35.2	28.3	26.7	23.1	16.2	10.3	1.3	
【地区別】											
宇和島地区(n=213)	43.2	35.7	31.0	35.7	24.4	31.0	24.4	10.8	9.9	1.9	
吉田地区(n=207)	42.0	37.7	44.4	31.9	29.5	23.7	23.2	20.3	9.2	1.9	
三間地区(n=214)	36.9	36.0	33.2	37.9	28.0	28.5	19.2	19.6	15.0	0.5	
津島地区(n=181)	43.6	44.8	37.6	35.4	31.5	23.8	26.0	12.7	6.6	1.1	
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	24.3	40.8	37.5	44.7	30.9	26.3	23.7	17.1	13.2	0.7	
30代(n=136)	35.3	25.0	32.4	60.3	29.4	22.1	19.1	17.6	5.1	3.7	
40代(n=146)	39.0	29.5	37.0	37.0	26.0	28.1	24.7	14.4	14.4	1.4	
50代(n=171)	46.8	39.2	36.3	26.3	26.3	33.3	24.0	18.1	8.8	1.2	
60代(n=80)	53.8	47.5	41.3	28.8	27.5	18.8	22.5	16.3	8.8	0.0	
70歳以上(n=132)	55.3	51.5	36.4	11.4	29.5	27.3	23.5	13.6	10.6	0.8	

6 福祉の担い手

問 38 地域における「福祉」を誰が担うべきかという考え方について、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。（○印1つ）

福祉の担い手については、「福祉や地域のことは、行政と住民が協力し、共に取り組むべきである」の割合が40.7%と最も高く、次いで「住民同士で助け合いながら、足りない部分を行政が支援すべきである」（22.1%）、「地域の人がお互いに協力し、住民同士で支え合う仕組みをつくるべきである」（12.1%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「福祉や地域のことは、行政と住民が協力し、共に取り組むべきである」の割合が高くなっている。



地区別では、宇和島地区で「福祉や地域のことは、行政が中心となって担うべきである」、三間地区で「福祉や地域のことは、行政と住民が協力し、共に取り組むべきである」、津島地区で「できるだけ人に頼らず、自分自身や家族・親せきで支え合うべきである」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

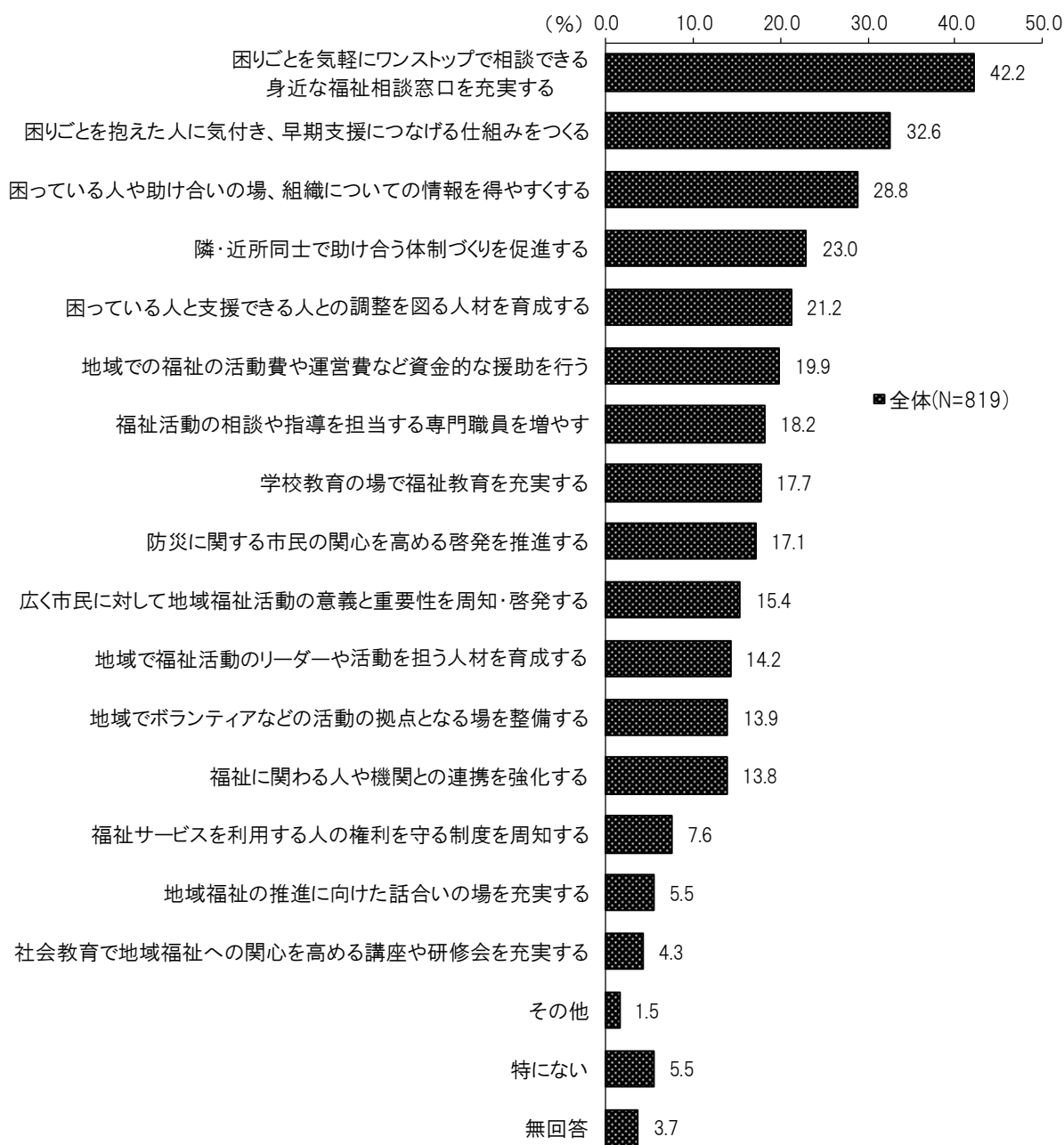
年齢別では、29歳以下で「地域の人がお互いに協力し、住民同士で支え合う仕組みをつくるべきである」、50代で「福祉や地域のことは、行政と住民が協力し、共に取り組むべきである」、70歳以上で「できるだけ人に頼らず、自分自身や家族・親せきで支え合うべきである」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	住民協力のことは、共に取り組み	住民同士で助け合いながら、	地域の人がお互いに協力し、	自分や家族・親せきで支え合	福祉や地域のことは、行政が	その他
全体(N=819)	40.7	22.1	12.1	9.9	9.9	1.5
【地区別】						
宇和島地区(n=213)	35.2	22.5	10.3	8.5	15.5	2.8
吉田地区(n=207)	41.5	21.7	13.5	9.7	9.2	1.4
三間地区(n=214)	47.7	19.6	13.1	7.5	7.5	0.9
津島地区(n=181)	38.1	24.9	10.5	14.9	7.2	0.6
【年齢別】						
29歳以下(n=152)	37.5	18.4	20.4	9.2	11.2	0.7
30代(n=136)	44.1	24.3	7.4	7.4	12.5	2.9
40代(n=146)	43.2	21.9	10.3	9.6	8.9	3.4
50代(n=171)	50.9	19.3	9.4	8.2	7.0	0.6
60代(n=80)	36.3	26.3	10.0	10.0	13.8	0.0
70歳以上(n=132)	27.3	25.8	14.4	15.2	8.3	0.8

7 行政が力を入れるべきこと

問 39 地域福祉を推進するために、行政（宇和島市）はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○印5つまで）

行政が力を入れるべきことについては、「困りごとを気軽にワンストップで相談できる身近な福祉相談窓口を充実する」の割合が42.2%と最も高く、次いで「困りごとを抱えた人に気付き、早期支援につなげる仕組みをつくる」（32.6%）、「困っている人や助け合いの場、組織についての情報を得やすくする」（28.8%）、「隣・近所同士で助け合う体制づくりを促進する」（23.0%）の順となっている。



地区別では、三間地区で「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は「困りごとを抱えた人に気付き、早期支援につなげる仕組みをつくる」「困っている人や助け合いの場、組織についての情報を得やすくする」の割合が男性を大きく上回っている。

単位 (%)	福祉相談窓口を充実する	困りごとを気軽にできる身近な	困りごとを抱えた人への気配	組み早期支援につなげる	き、早期支援につなげる	困りごとを抱えた人への気配	得やすくなる	場、組織をついての情報を	困りごとを抱えた人への気配	制づく近所を促進する	隣・近所を促進する	成人との調整を図る人材を育てる	困りごとを抱えた人への気配	う、地域での活動費などの資金的な活動費や運営	当地域での活動費などの資金的な活動費や運営	当する活動の専門職員を増やす	福祉活動の相談や指導を担	充実する教育の場で福祉教育を	学校教育の場で福祉教育を	防災に関する啓発を推進する	高めるに啓発を推進する
全体(N=819)	42.2	32.6	28.8	23.0	21.2	19.9	18.2	17.7	17.1												
【地区別】																					
宇和島地区(n=213)	42.3	34.7	28.6	24.9	21.6	14.1	17.4	14.6	16.4												
吉田地区(n=207)	44.4	33.8	29.5	25.6	22.2	22.2	16.4	18.4	17.4												
三間地区(n=214)	39.3	32.7	27.6	19.2	24.3	19.2	19.6	19.6	15.4												
津島地区(n=181)	43.6	29.3	29.3	22.1	16.0	25.4	19.9	18.2	19.3												
【性別】																					
男性(n=353)	39.7	26.6	20.7	26.9	19.5	21.8	19.3	17.0	17.3												
女性(n=462)	44.2	37.2	34.6	19.9	22.3	18.4	17.3	18.4	17.1												

単位 (%)	知・啓発する	活動の市民意識を重視して地域福祉	広く市民の対して地域福祉	や活動を担う人材を育成する	地域でボランティアとなる場を整備する	活動の拠点となる場を整備する	地域のボランティアなど	連携を強化する人や機関との	福祉に関する人	の権利を守る制度を周知する	福祉サービスの利用を周知する	合いの福祉の充実に向けた話	地域の福祉の充実に向けた話	充実する	心を高める講座や研修会を	社会教育で地域福祉への関	その他	特にな
全体(N=819)	15.4	14.2	13.9	13.8	7.6	5.5	4.3	1.5	5.5									
【地区別】																		
宇和島地区(n=213)	16.0	13.6	9.9	11.7	8.9	4.7	2.8	1.9	6.6									
吉田地区(n=207)	17.4	15.0	13.5	15.0	5.8	4.3	3.9	1.4	3.9									
三間地区(n=214)	14.5	12.1	19.2	16.8	7.9	6.5	5.1	0.9	7.9									
津島地区(n=181)	13.8	16.6	12.7	11.6	7.7	6.6	5.0	1.7	3.3									
【性別】																		
男性(n=353)	17.6	15.9	15.3	14.2	6.8	5.7	4.5	1.4	5.7									
女性(n=462)	13.9	13.0	12.8	13.6	8.0	5.4	4.1	1.5	5.4									

年齢別では、30代以下で「学校教育の場で福祉教育を充実する」、60代で「困りごとを気軽にワンストップで相談できる身近な福祉相談窓口を充実する」「地域での福祉の活動費や運営費など資金的な援助を行う」、60代以上で「隣・近所同士で助け合う体制づくりを促進する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	福祉相談窓口を充実する	困りごとを気軽にワンストップで相談できる身近な	困りごとを抱えた人への支援につなげる気付き、早期支援につなげる気付き	地域での活動費や運営費など資金的な援助を行う	隣・近所同士で助け合う体制づくりを促進する	成人との調整を図る人材を育成する	困りごとを抱えた人への支援ができる	地域での活動費や運営費など資金的な援助費や運営費	福祉活動の相談や指導を担う	学校教育の場で福祉教育を充実する	防災に関する啓発を推進する
全体(N=819)	42.2	32.6	28.8	23.0	21.2	19.9	18.2	17.7	17.1		
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	33.6	30.9	32.2	17.8	22.4	19.7	13.8	25.7	17.8		
30代(n=136)	40.4	35.3	31.6	16.9	23.5	18.4	16.9	25.7	17.6		
40代(n=146)	43.2	31.5	31.5	17.8	22.6	22.6	15.8	17.1	19.2		
50代(n=171)	43.9	39.2	29.8	22.2	22.8	17.5	18.7	13.5	17.5		
60代(n=80)	55.0	33.8	27.5	35.0	16.3	28.8	26.3	13.8	18.8		
70歳以上(n=132)	42.4	23.5	18.2	34.8	17.4	15.9	22.0	8.3	12.1		

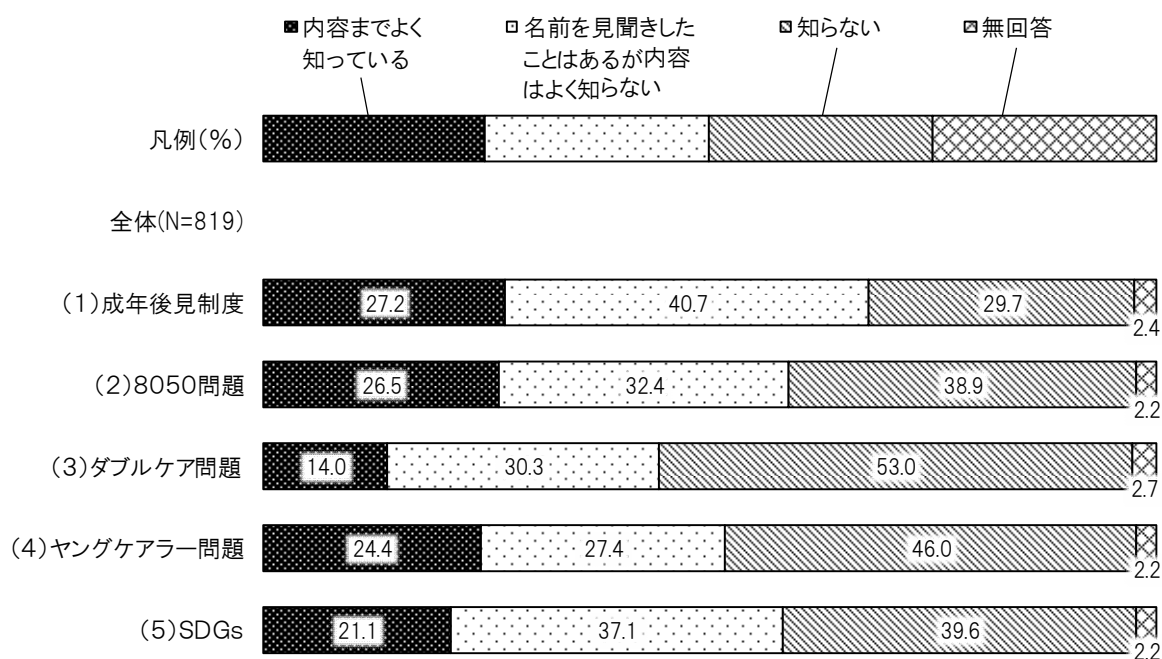
単位 (%)	知・啓発する	活動の意義を重要視する	地域での活動の拠点となる場を確保する	地域でのボランティアなど活動の場を確保する	福祉に関する人や機関との連携を強化する	福祉サービスの利用を周知する	地域の福祉の推進に向けた話	社会教育で講座や研修会を開催する	その他	特になし
全体(N=819)	15.4	14.2	13.9	13.8	7.6	5.5	4.3	1.5	5.5	
【年齢別】										
29歳以下(n=152)	15.8	11.8	16.4	16.4	6.6	7.9	5.9	0.7	10.5	
30代(n=136)	8.8	13.2	14.0	12.5	7.4	6.6	3.7	1.5	7.4	
40代(n=146)	12.3	15.1	13.7	13.7	5.5	2.1	2.1	2.7	4.8	
50代(n=171)	17.0	14.0	14.6	14.6	9.4	1.8	4.1	1.8	2.9	
60代(n=80)	17.5	11.3	12.5	17.5	12.5	5.0	5.0	1.3	1.3	
70歳以上(n=132)	21.2	18.9	11.4	9.1	6.1	10.6	5.3	0.8	4.5	

8 用語の認知状況

問 40 あなたは、次にあげる用語の意味を知っていますか。（○印1つずつ）

用語の認知状況については、「内容までよく知っている」「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」を合計した割合が高い順に、「(1) 成年後見制度」(67.9%)、「(2) 8050問題」(58.9%)、「(5) SDGs」(58.2%)となっている。

一方、「知らない」の割合が高い順に「(3) ダブルケア問題」(53.0%)、「(4) ヤングケアラー問題」(46.0%)となっている。



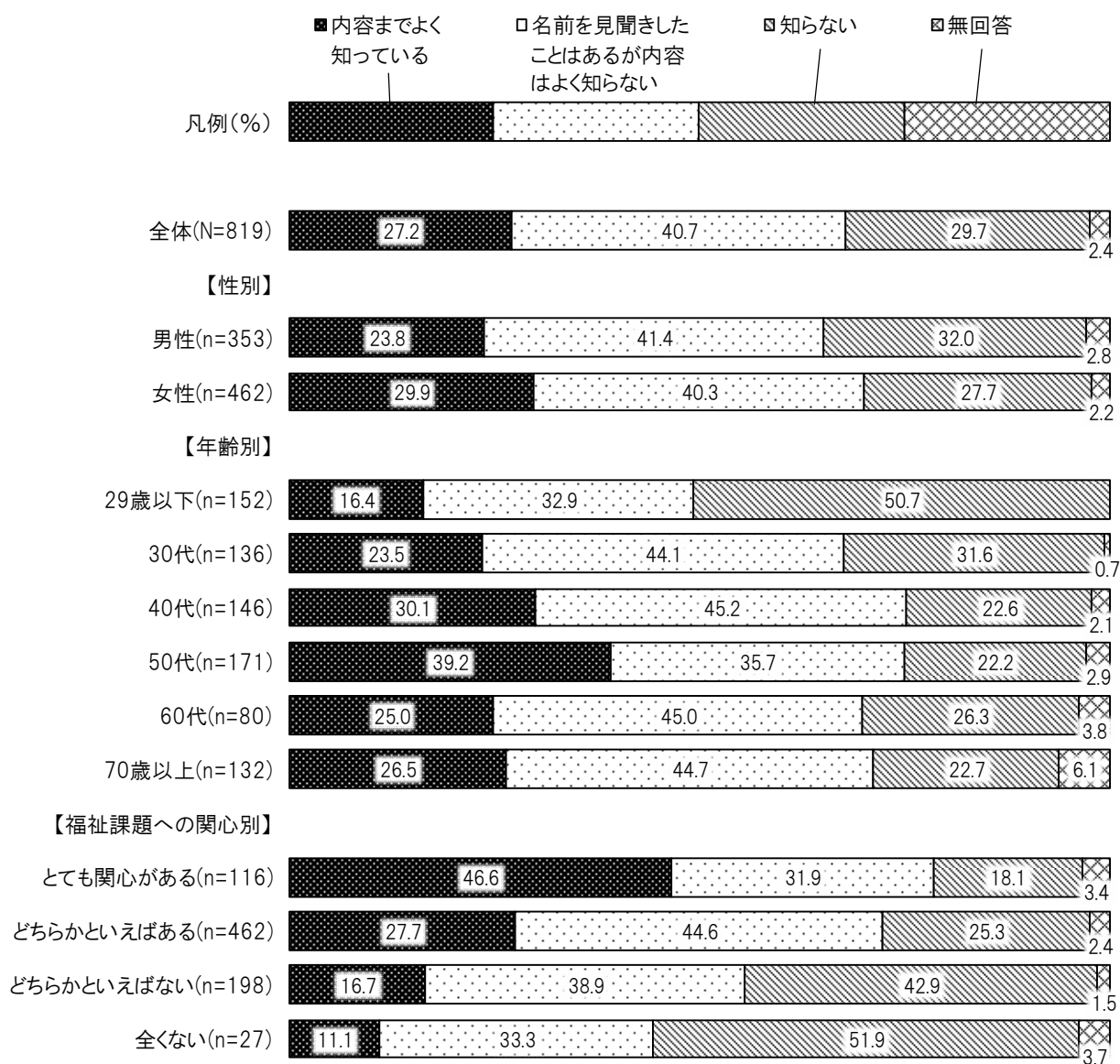
(1) 成年後見制度

成年後見制度については、「内容までよく知っている」が27.2%、「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」が40.7%で、合計67.9%となっている。一方、「知らない」は29.7%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「知らない」、50代で「内容までよく知っている」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

福祉課題への関心別では、関心がある層ほど「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。



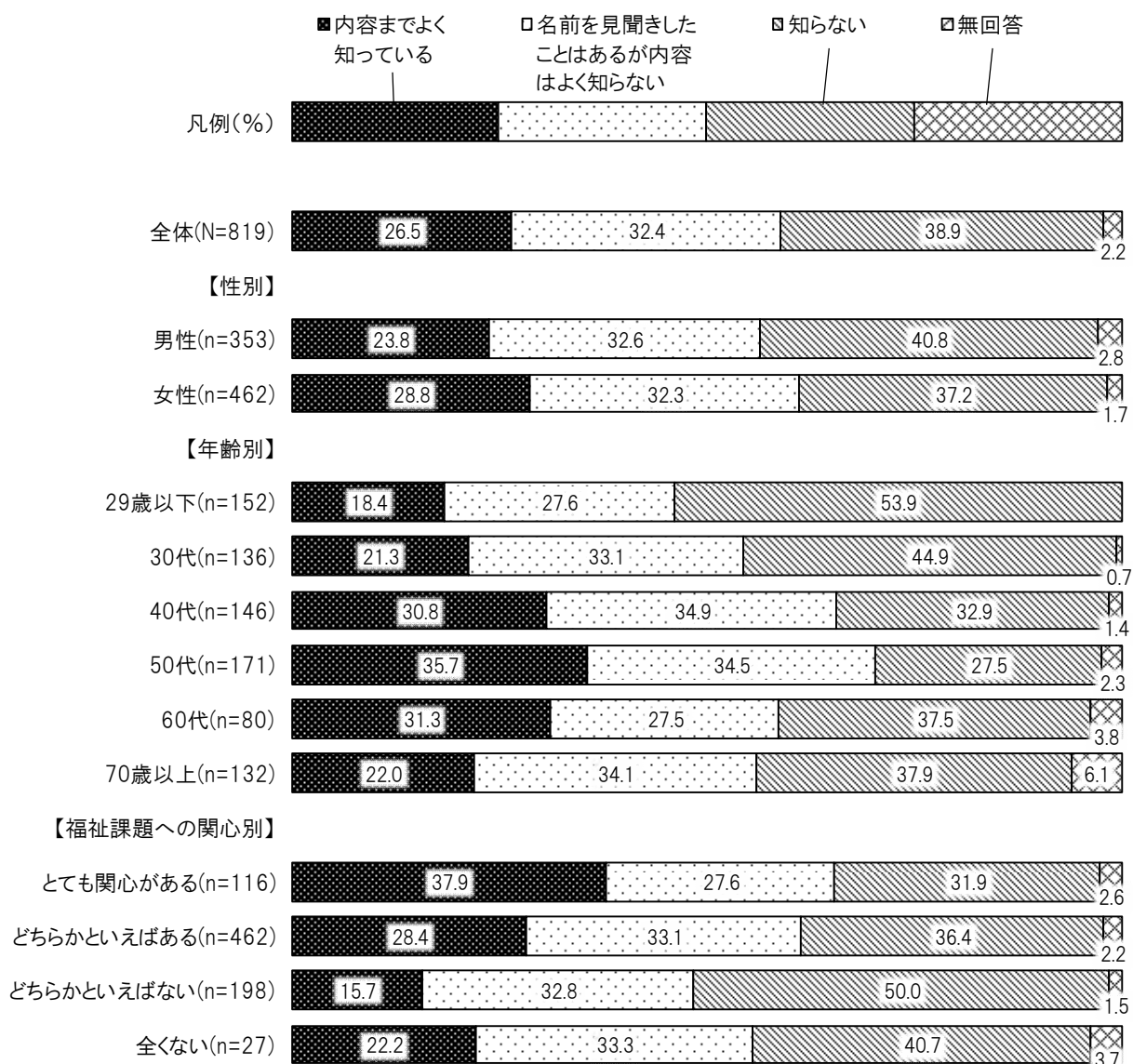
(2) 8050問題

8050問題については、「内容までよく知っている」が26.5%、「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」が32.4%で、合計58.9%となっている。一方、「知らない」は38.9%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「知らない」、40～60代で「内容までよく知っている」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

福祉課題への関心別では、とても関心がある層で「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。



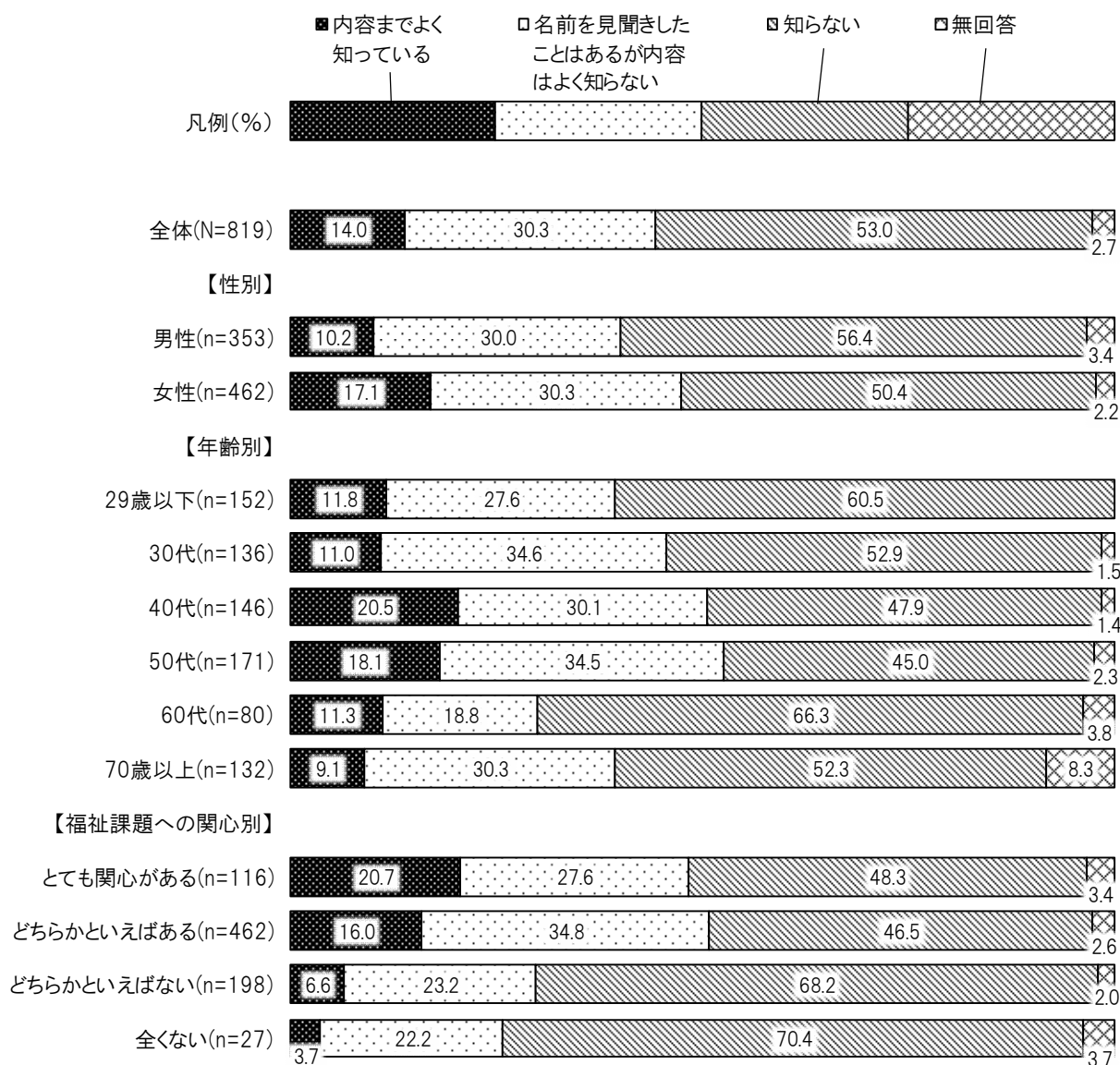
(3) ダブルケア問題

ダブルケア問題については、「内容までよく知っている」が14.0%、「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」が30.3%で、合計44.3%となっている。一方、「知らない」は53.0%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「知らない」の割合が高く、女性は「内容までよく知っている」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、40～50代で「内容までよく知っている」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

福祉課題への関心別では、関心がある層ほど「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。



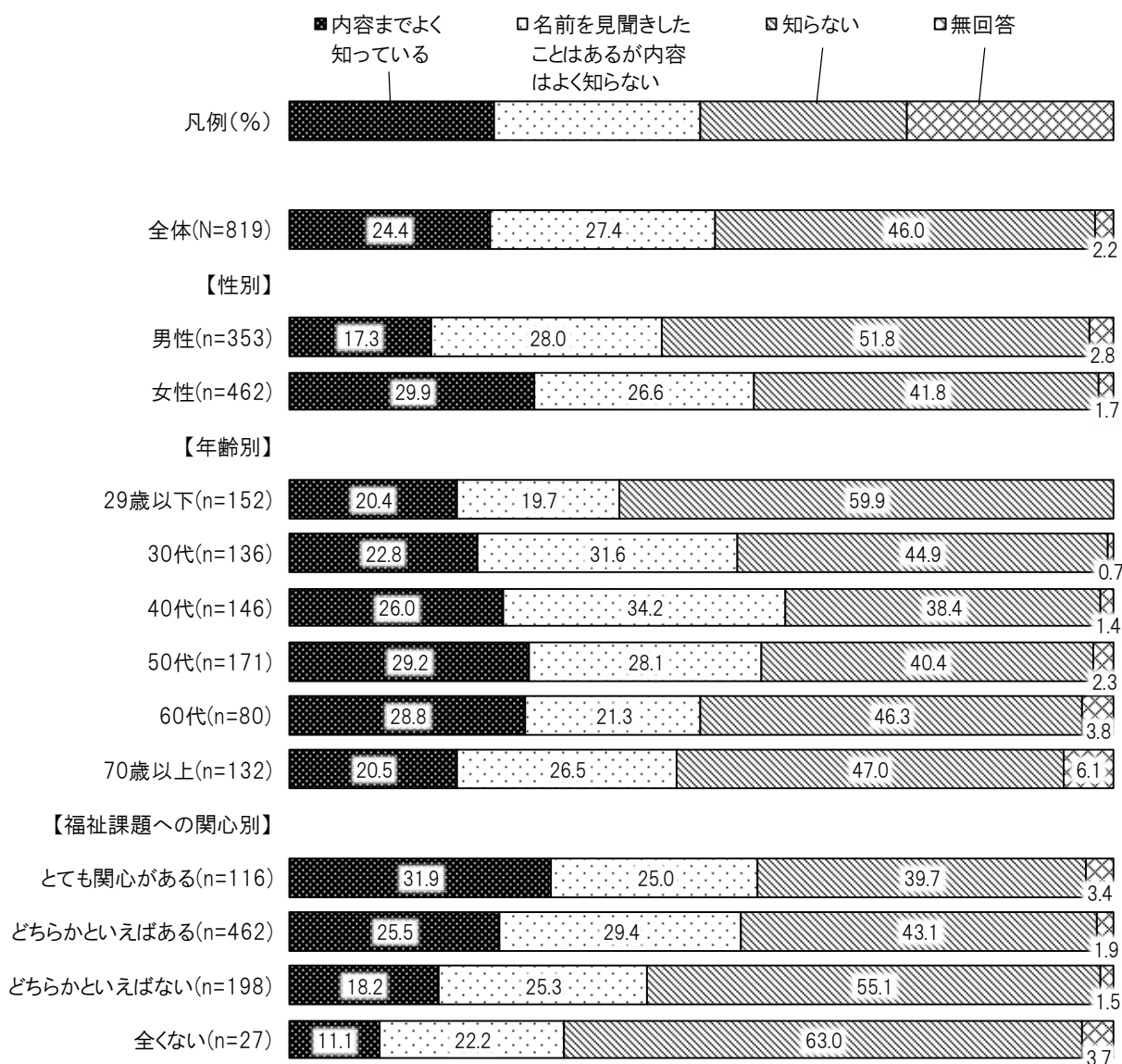
(4) ヤングケアラー問題

ヤングケアラー問題については、「内容までよく知っている」が24.4%、「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」が27.4%で、合計51.8%となっている。一方、「知らない」は46.0%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「知らない」の割合が高く、女性は「内容までよく知っている」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下で「知らない」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

福祉課題への関心別では、関心がある層ほど「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。



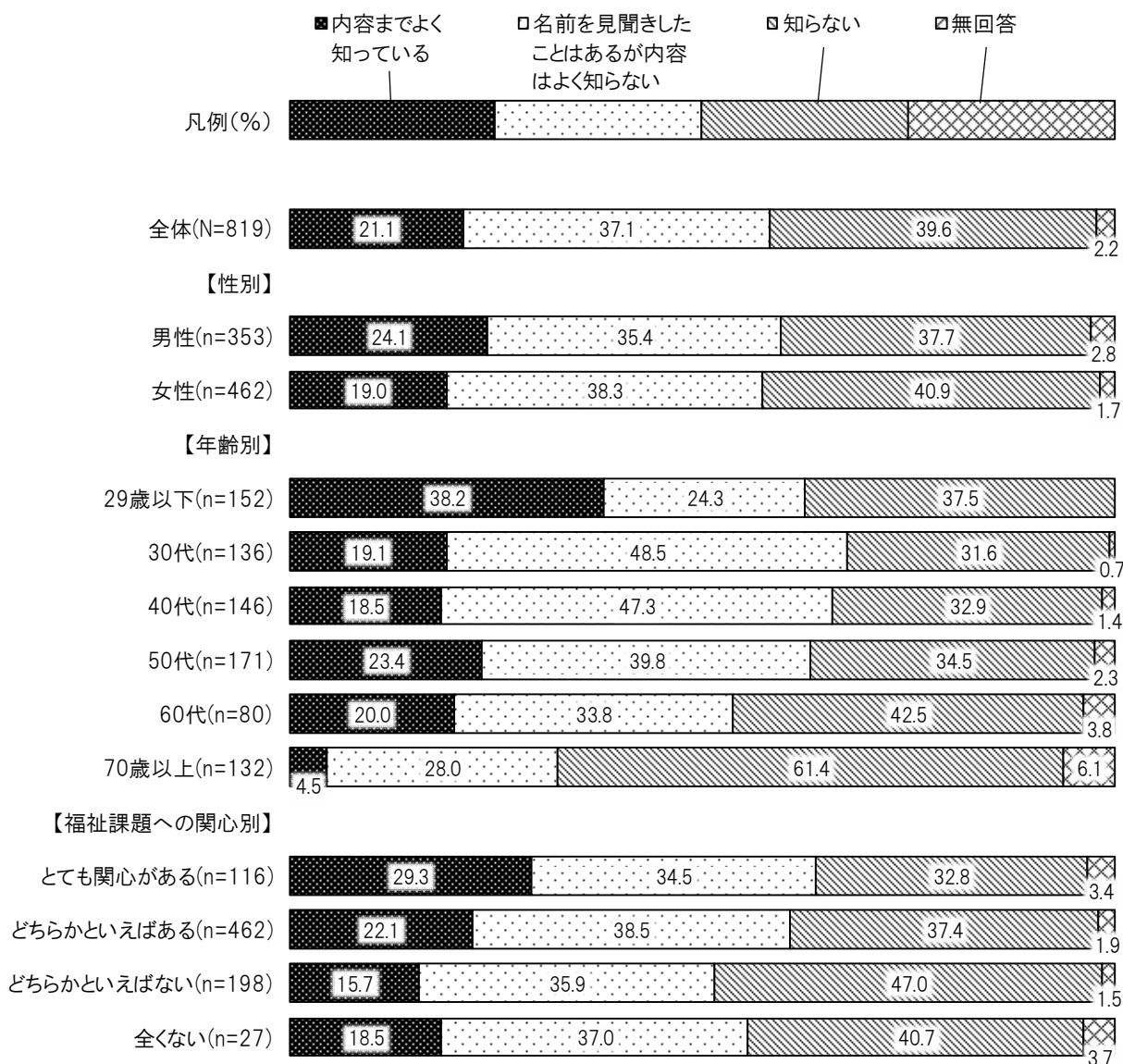
(5) SDGs

SDGsについては、「内容までよく知っている」が21.1%、「名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない」が37.1%で、合計58.2%となっている。一方、「知らない」は39.6%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「内容までよく知っている」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「内容までよく知っている」、70歳以上で「知らない」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

福祉課題への関心別では、とても関心がある層で「内容までよく知っている」の割合が他の層に比べて高くなっている。



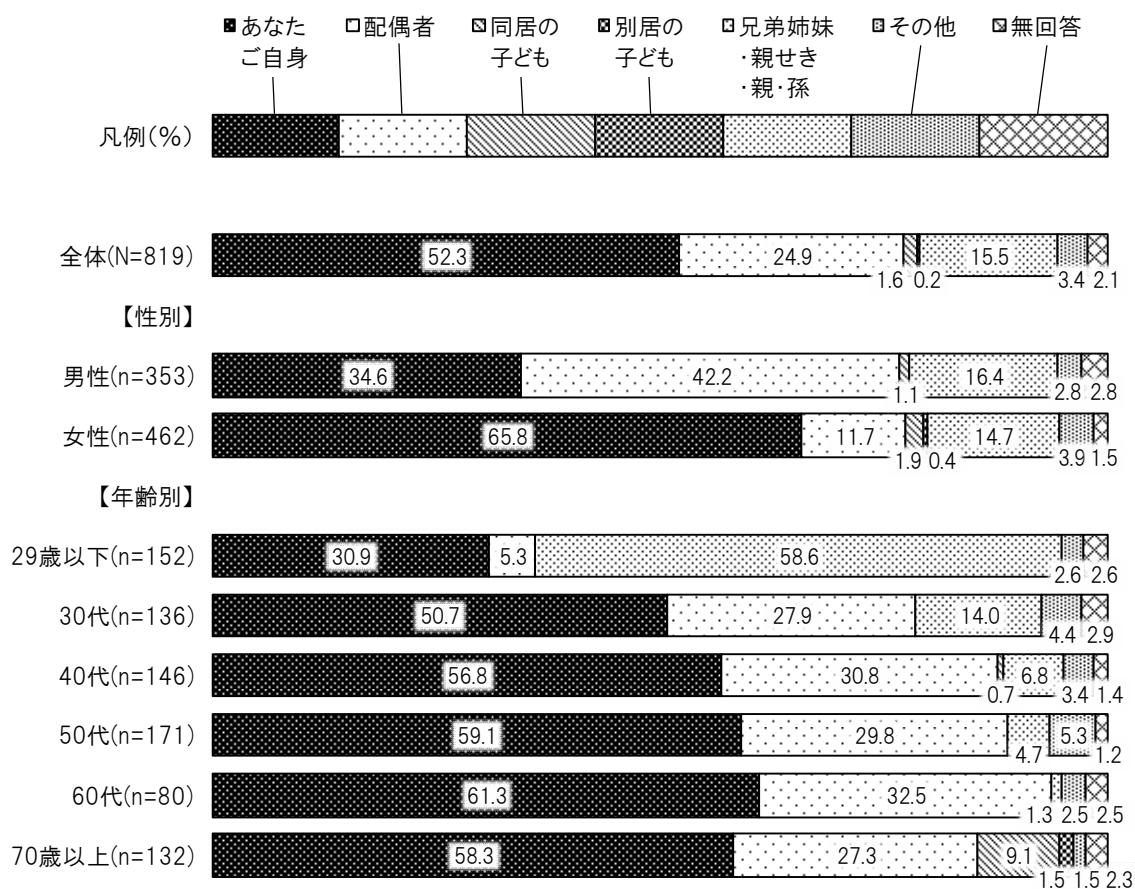
9 生活費や貯金などの管理者

問 41 あなたの世帯では、生活費や貯金などの管理は主に誰がしていますか。
(○印1つ)

生活費や貯金などの管理者については、「あなたご自身」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「配偶者」(24.9%)、「兄弟姉妹・親せき・親・孫」(15.5%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「配偶者」の割合が高く、女性は「あなたご自身」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下で「兄弟姉妹・親せき・親・孫」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



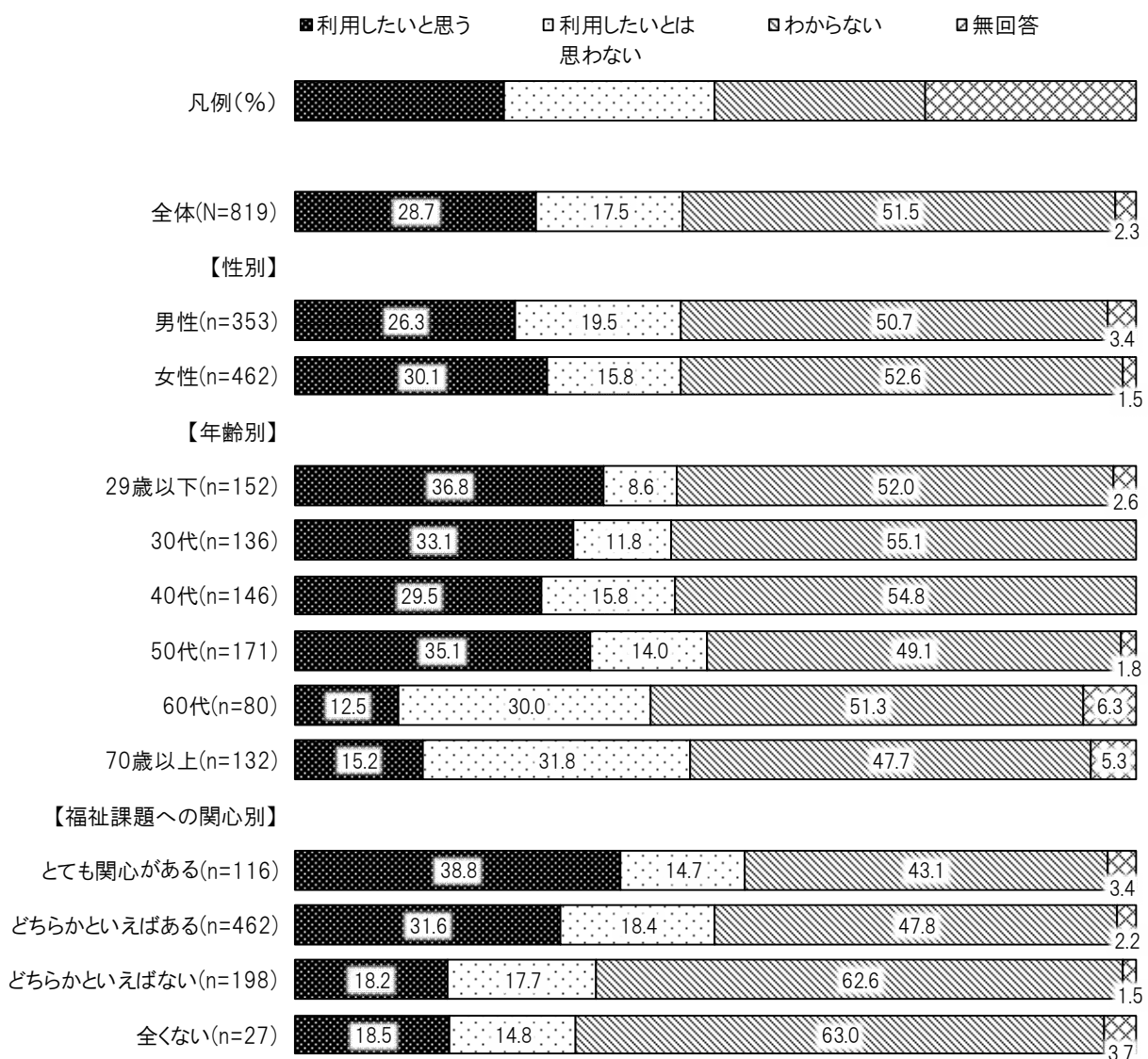
10 成年後見制度の利用意向

問 42 あなたは、将来的に、あなたご自身又はあなたの親族の判断能力が十分でなくなつたとき「成年後見制度」を利用したいと思いますか。（○印1つ）

成年後見制度の利用意向については、「利用したいと思う」が28.7%、「利用したいとは思わない」が17.5%、「わからない」が51.5%となっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では60代以上で「利用したいとは思わない」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

福祉課題への関心別では、関心がある層で「利用したいと思う」の割合が他の層を大きく上回っている。

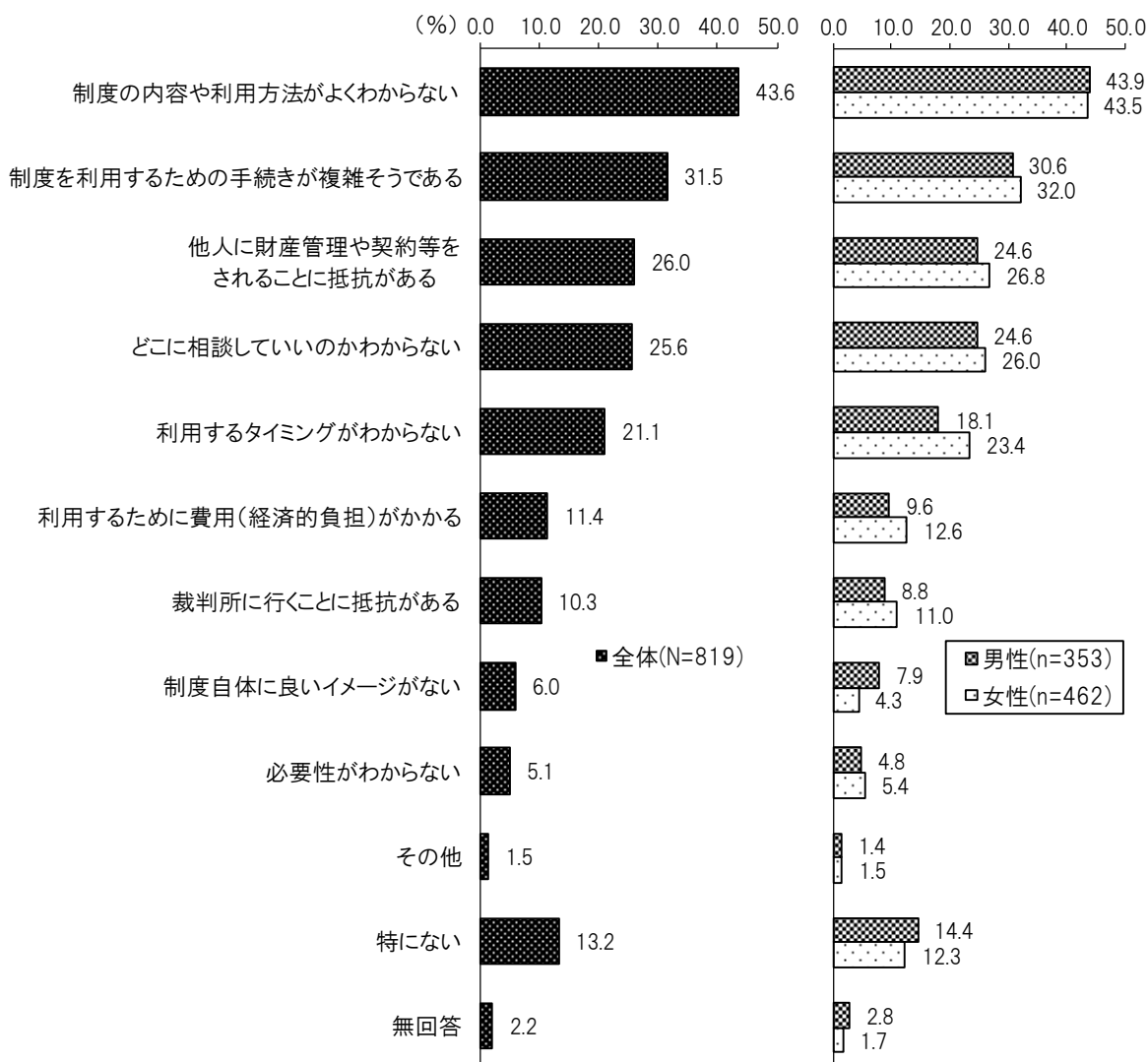


11 成年後見制度に対するイメージ

問 43 あなたは「成年後見制度」について、どのように思いますか。(○印いくつでも)

成年後見制度に対するイメージについては、「制度の内容や利用方法がよくわからない」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「制度を利用するための手続きが複雑そうである」(31.5%)、「他人に財産管理や契約等をされることに抵抗がある」(26.0%)、「どこに相談していいのかわからない」(25.6%)、「利用するタイミングがわからない」(21.1%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「利用するタイミングがわからない」の割合が高くなっている。



年齢別では、30代以下で「制度の内容や利用方法がよくわからない」、50代で「利用するタイミングがわからない」、70歳以上で「他人に財産管理や契約等をされることに抵抗がある」「制度自体に良いイメージがない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	制度の内容や利用方法がよくわからない	複雑そうであるための手続きが	他人に財産管理や契約等をされることに抵抗がある	どこに相談していいのかわからない	利用するタイミングがわからない	利用するために費用（経済的負担）がかかる	裁判所に行くことに抵抗がある	制度自体に良いイメージがない	必要性がわからない	その他	特になし
全体(N=819)	43.6	31.5	26.0	25.6	21.1	11.4	10.3	6.0	5.1	1.5	13.2
【年齢別】											
29歳以下(n=152)	48.0	27.6	13.2	23.0	20.4	7.9	9.2	3.3	5.9	0.0	21.1
30代(n=136)	50.7	36.8	25.7	30.1	21.3	12.5	11.8	2.2	2.9	0.0	11.0
40代(n=146)	42.5	30.8	25.3	26.0	20.5	11.6	6.8	5.5	2.1	1.4	12.3
50代(n=171)	42.1	39.2	27.5	27.5	28.1	15.2	11.1	4.7	4.1	1.8	11.1
60代(n=80)	38.8	27.5	28.8	25.0	13.8	7.5	11.3	7.5	7.5	5.0	10.0
70歳以上(n=132)	37.1	24.2	37.9	22.0	18.2	11.4	12.1	13.6	9.8	2.3	12.1

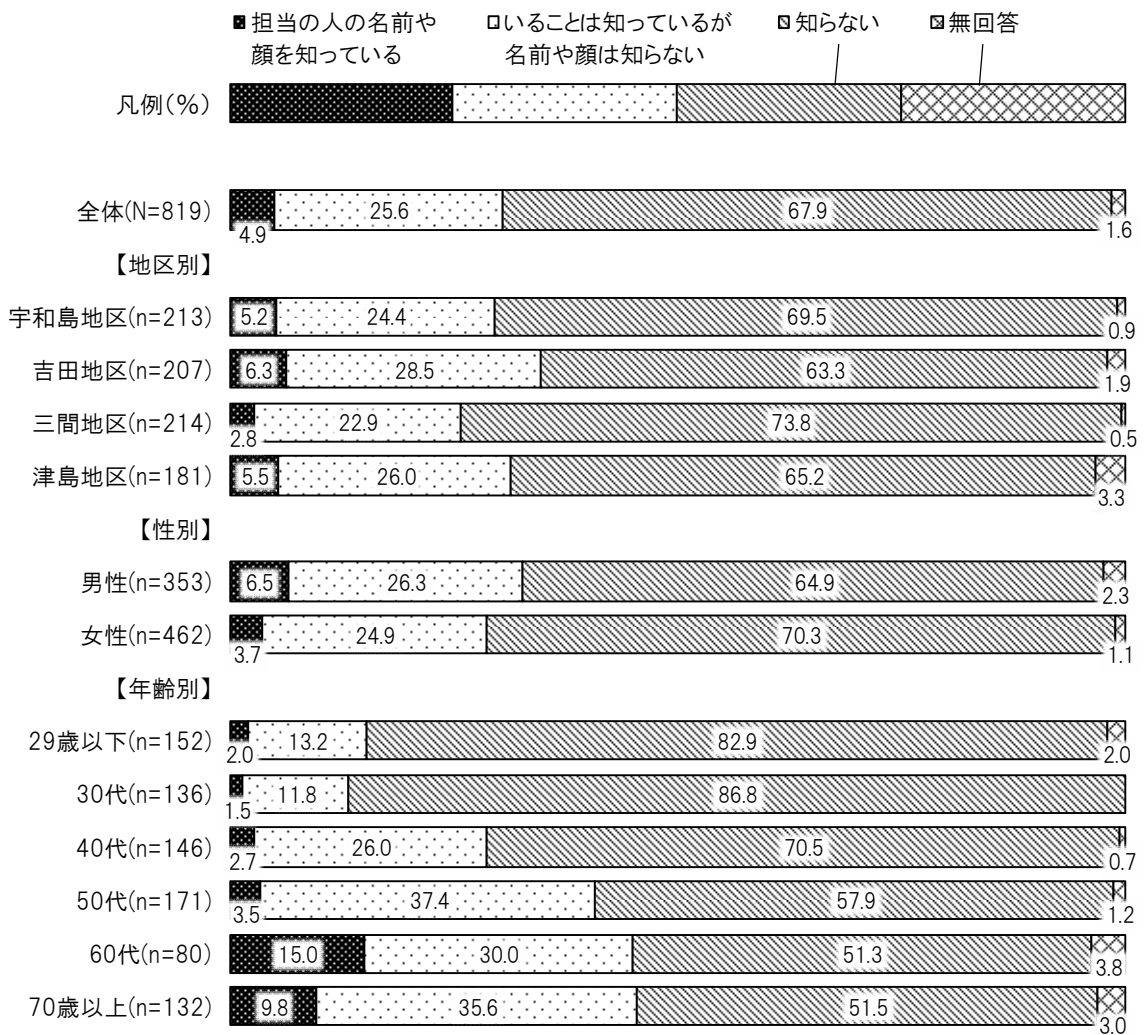
12 保護司の認知状況

問 44 あなたのお住まいの地域に、保護司がいることを知っていますか。(○印1つ)

保護司の認知状況については、「担当の人の名前や顔を知っている」が4.9%、「いることは知っているが名前や顔は知らない」が25.6%、合計で約3割(30.5%)となっている。一方、「知らない」は67.9%となっている。

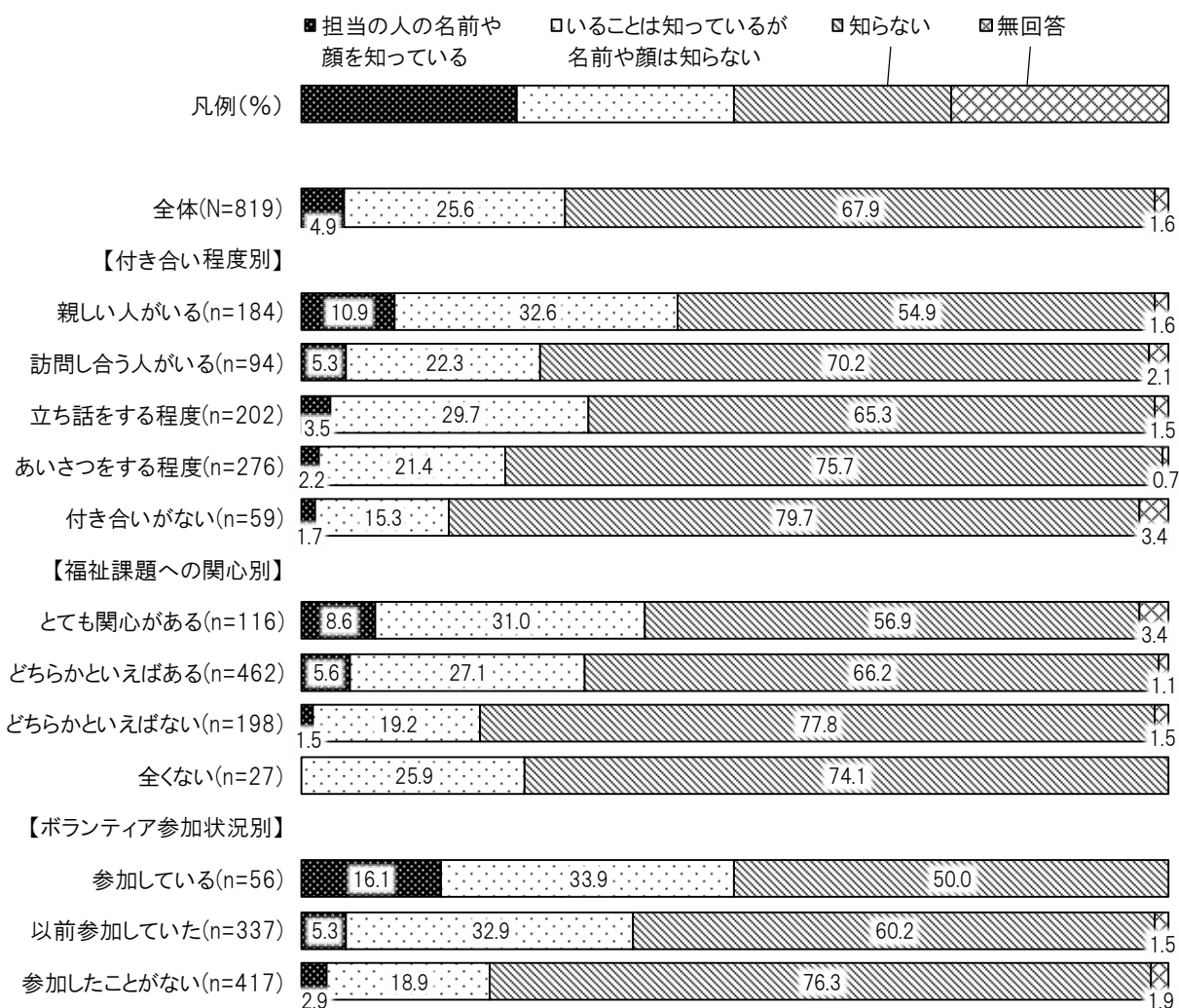
地区別では、三間地区で「知らない」の割合が他の地区に比べてやや高くなっている。性別では、女性は男性に比べ「知らない」の割合が高くなっている。

年齢別では、60代以上で「担当の人の名前や顔を知っている」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



付き合い程度別では付き合いが親しい層ほど、福祉課題への関心別では関心がある層ほど「担当の人の名前や顔を知っている」の割合がそれぞれ高くなっている。

ボランティア参加状況別では、参加していると回答した層で「担当の人の名前や顔を知っている」の割合が他の層を大きく上回っている。



資料 調査票

宇和島市 地域福祉の推進に関するアンケート調査

～ご協力をお願い～

市民の皆様には、日頃から福祉の推進について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

宇和島市では、令和4年度を初年度とする「第3期宇和島市地域福祉計画」の策定に向けた取組を進めています。そのため、市民の皆様の福祉に関する現状や課題、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるためのアンケート調査を実施することといたしました。

調査の対象は、17歳以上の市民の皆様の中から無作為に抽出させていただきました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和3年9月

宇和島市保健福祉部

ご記入に当たってのお願い

- 1 封筒の宛名の本人がお答えください。病気や身体の不自由などの理由で記入が難しい場合は、家族や介護者の方などが、本人の意向を尊重して、無理のない範囲で代筆してください。
 - 2 回答は、あてはまると思う番号を○で囲んでください。また、各設問文にある(○印1つ)(○印いくつでも)などに注意して記入してください。
- ※ 回答は無記名であり、統計的に処理しますので、プライバシーの保護はもとより、本調査の目的以外に利用することはありません。

本調査はインターネットでの回答も可能です

■ スマートフォンで回答する場合

右のQRコードを読み取り回答画面を開いてください。

【回答用QRコード】

■ パソコンで回答する場合

以下のURLより回答画面を開いてください。

<https://wss3.5star.jp/survey/login/31ywrher>

■ インターネットでの回答にはIDとパスワードの入力が必要です。

ID パスワード

半角数字

半角数字

※ ID・パスワードは重複回答を避けるために使用します。個人を特定するための番号ではありません。



調査のお問い合わせ先

宇和島市 保健福祉部 福祉課

〒798-8601 愛媛県宇和島市曙町1番地

電話 (0895) 49-7016 FAX (0895) 24-1160

メール fukushi@city.uwajima.lg.jp

この調査票は、**9月30日(木曜日)**までに、同封の返信用封筒に入れて、返送してください(切手は不要です)。

～ はじめにお読みください ～

地域福祉とは？

「福祉」といえば、高齢者の福祉や障がい者の福祉、児童福祉など、法律や制度によって対象者ごとに分かれたイメージがあります。

「地域福祉」とは、子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、対象によって区分されることなく、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、地域に暮らす住民の皆さんがお互いに支え合い、助け合いの関係を築きながら、日常生活の様々な困りごとや不安を、住民一人一人が主体となって解決していく取組です。

地域福祉を進めることによって期待されること

ふれあいのある
地域



困ったときに
助け合える地域



見守り活動など
安心できる地域



つながりを
感じられる地域



- 宇和島市では、住民の皆さんと一緒に地域福祉を進めていくための計画づくりに取り組んでいます。
- 住民参加の一つとして、このアンケートにぜひご協力ください。



● あなたご自身のことについておたずねします

問1 あなたがお住まいの地区はどちらですか。(○印1つ)

- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1 宇和島地区 | 2 吉田地区 | 3 三間地区 | 4 津島地区 |
|---------|--------|--------|--------|

問2 あなたの性別※をお答えください。(○印1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

※ 性別を選択することに違和感がある方は、回答いただかなくても構いません。

問3 あなたの年齢をお答えください。(○印1つ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 17～19歳 | 4 40～49歳 | 7 65～69歳 | 10 90歳以上 |
| 2 20～29歳 | 5 50～59歳 | 8 70～79歳 | |
| 3 30～39歳 | 6 60～64歳 | 9 80～89歳 | |

問4 あなたの職業をお答えください。(○印1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 農林水産業 | 7 派遣社員・契約社員 |
| 2 自営業(商工・サービス業等) | 8 高校生・専門学校生・大学生 |
| 3 自由業(開業医・弁護士等) | 9 家事専業 |
| 4 会社員・団体職員 | 10 無職(学生・家事専業を除く) |
| 5 公務員・教員 | 11 その他() |
| 6 パート・アルバイト(学生を除く) | |

問5 あなたの世帯構成をお答えください。(○印1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 独り暮らし世帯 | 4 親と子と孫の三世帯世帯 |
| 2 夫婦のみの世帯 | 5 その他() |
| 3 親と子の二世帯世帯 | |

問6 あなたの同居家族の中に、次の方(あなた自身を含む)はいますか。(○印いくつでも)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 小学校入学前の子ども | 4 高校生以上の子ども |
| 2 小学生の子ども | 5 介護・介助を必要とする方 |
| 3 中学生の子ども | 6 いずれもない |

● 地域との関わりについておたずねします

問7 あなたは、生まれたときからずっと宇和島市に住んでいますか。(○印1つ)

- 1 生まれたときからずっと住んでいる
- 2 他の市町村から引っ越して来た
- 3 一度出ていたが戻ってきた(Uターン)

問8 あなたは、今住んでいる地域に愛着がありますか。(○印1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 とても愛着がある | 3 どちらかといえば愛着はない |
| 2 どちらかといえば愛着がある | 4 愛着はない |

問9 お住まいの地域は暮らしやすいと思いますか。(○印1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 とても暮らしやすい | 3 どちらかというとも暮らしにくい |
| 2 どちらかというとも暮らしやすい | 4 暮らしにくい |

問10 あなたとご近所の人との関係は、次のどれに最も近いですか。(○印1つ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 困ったときに助け合う親しい人がいる | 4 あいさつをする程度の人がある |
| 2 お互いに訪問し合う人がいる | 5 ほとんど近所付き合いはない |
| 3 立ち話をする程度の人がある | |

問11 あなたがお住まいの地域では、住民同士のつながりは、強いほうだと思いますか。(○印1つ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1 強いほうだと思う | 4 弱いほうだと思う |
| 2 どちらかといえば強いほうだと思う | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば弱いほうだと思う | |

問12 あなたにとって、助け合いや支え合いができる「地域」とは、どの範囲だと思いますか。(○印1つ)

- | | |
|--------|--------------------|
| 1 隣・近所 | 5 地区(宇和島・吉田・三間・津島) |
| 2 自治会 | 6 市全体 |
| 3 小学校区 | 7 その他() |
| 4 中学校区 | |

問 13 あなたは、地域の行事や町内活動などに参加していますか。（〇印いくつでも）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 自治会などの活動 | 10 子育て支援活動 |
| 2 女性活動 | 11 障がい者支援活動 |
| 3 老人クラブ活動 | 12 まちづくり活動 |
| 4 子ども会やPTA活動 | 13 宗教行事 |
| 5 防犯活動・交通安全活動 | 14 お祭り・盆踊りなど |
| 6 高齢者支援活動 | 15 子どもや青少年の育成活動 |
| 7 趣味のサークル・文化・スポーツ活動 | 16 その他（ ） |
| 8 消防団活動 | 17 参加していない |
| 9 生涯学習活動 | |



問 13 で「1～16」と回答した方は次は問 15 へ、「17」と回答した方は問 14 へお進みください

問 14 【問 13 で「17」と回答した方におたずねします】

参加していない理由は何ですか。（〇印いくつでも）

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1 忙しくて時間がない | 8 行事や活動に関する情報がない |
| 2 一緒に参加する人（顔見知りなど）がない | 9 子どもや介護が必要な家族をみてる人
人がいない |
| 3 人間関係がわずらわしい | 10 身近なところに活動の場がない |
| 4 役員や世話人になりたくない | 11 興味の持てる活動が見つからない |
| 5 参加するきっかけがない | 12 活動に経費がかかる |
| 6 家族の協力・理解がない | 13 その他（ ） |
| 7 健康や体力に自信がない | |

● ふだんの相談先や情報入手などについておたずねします

問 15 あなたは、日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。（〇印いくつでも）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 自分や家族の健康のこと | 10 住まいのこと |
| 2 自分や家族の老後のこと | 11 外出や移動のこと |
| 3 子どもの教育や将来のこと | 12 地域の安全や防犯対策のこと |
| 4 育児に関すること | 13 地震や台風などの災害のこと |
| 5 介護や介助に関すること | 14 仕事・就職のこと |
| 6 収入など経済的なこと | 15 日常の買物や通院のこと |
| 7 家庭や地域での人間関係のこと | 16 差別や偏見に関すること |
| 8 職場や学校での人間関係のこと | 17 その他（ ） |
| 9 就学・進学のこと | 18 特にない |

問 16 もし、あなたが様々な場面で困ったとき、誰（どこ）に相談しますか。（○印いくつでも）

1 家族・親せき	11 社会福祉協議会
2 友人・知人	12 介護支援専門員・訪問介護員（ヘルパー等）
3 職場の人	13 病院などの医療機関・薬局
4 民生委員児童委員、主任児童委員	14 介護・福祉施設
5 自治会の役員	15 保護司
6 保育所や幼稚園・学校	16 その他（ ）
7 保健所	17 どこに相談したらよいかわからない
8 地域包括支援センター	18 相談する人がいない
9 児童相談所	19 相談しない
10 子育て世代包括支援センター（マザーズステーションすてっぷ）	

問 17 あなたは福祉サービスや福祉活動に関する情報をどこから入手していますか。

（○印いくつでも）

1 市の広報紙	10 インターネット・ホームページ
2 自治会	11 ツイッターやフェイスブックなどのSNS
3 地域の回覧板	12 隣近所の人や友人・知人
4 保育所や幼稚園・学校	13 病院などの医療機関や薬局
5 市役所の窓口	14 子育て世代包括支援センター （マザーズステーションすてっぷ）
6 地域包括支援センター	15 保護司
7 社会福祉協議会	16 その他（ ）
8 民生委員児童委員、主任児童委員	17 特になし
9 新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど	

問 18 ①ご近所のお付き合いの中で、あなたやあなたの家族が「手助けをしてもらいたいこと」はありますか。（○印いくつでも）

②ご近所のお付き合いの中で、あなたのご近所に介護や子育て等で困っている家庭があった場合、あなたが「手助けできること」はありますか。（○印いくつでも）

（○印それぞれいくつでも）	①手助けをして もらいたいこと ↓	②手助け できること ↓
（1）日頃の安否確認の声かけ・見守り	1	1
（2）災害時における避難等の手助け	2	2
（3）話し相手	3	3
（4）短時間の子どもの預かり	4	4
（5）短時間の家族の介護・介助や見守り	5	5
（6）通院・買物など外出の手伝い	6	6
（7）ごみ出しや掃除・電球の取替えなど軽度な手伝い	7	7
（8）食事の準備や後片づけ	8	8
（9）当てはまるものはない	9	9

● 地域の福祉についておたずねします

問 19 あなたは、地域の福祉課題（例：独り暮らし高齢者の見守り、生活困窮、子どもの貧困、子どもや高齢者への虐待、社会的孤立など）に関心がありますか。（○印1つ）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 とても関心がある | 3 どちらかといえば関心はない |
| 2 どちらかといえば関心がある | 4 全く関心はない |

問 20 あなたの住んでいる地域では、福祉に関して特にどのような問題や課題が多いと感じていますか。（○印いくつでも）

- | |
|--|
| 1 身のまわりのことについて相談できる人が少ない |
| 2 住民同士の助け合い活動が少ない |
| 3 自治会の役員のなり手、担い手が少ない |
| 4 世代間の交流や付き合いが少ない |
| 5 高齢者の介護や独り暮らしの高齢者への生活支援 |
| 6 高齢者の社会参加や生きがいづくり |
| 7 高齢者や障がいのある人などが暮らしやすい環境の整備 |
| 8 子育て家庭の育児疲れやストレスの問題 |
| 9 子どもの非行やいじめ |
| 10 子どもの遊び場が少ない |
| 11 支援が必要な人の災害時の避難体制 |
| 12 地域の防犯 |
| 13 通院・買物などの移動手段 |
| 14 高齢者や障がい者、子ども等への虐待 |
| 15 共働き家庭の子どもの生活 |
| 16 母子家庭や父子家庭の子育て |
| 17 生活困窮 |
| 18 その他（ ） |
| 19 特にない |

問 21 あなたは、経済的に困っている人^{※1}や社会的に孤立している人^{※2}に対して、どのような支援が必要だと思いますか。（○印3つまで）

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1 いろいろな相談ができる福祉窓口の充実 | 6 社会参加の場の確保 |
| 2 住まいを確保するための支援 | 7 住民の理解の促進 |
| 3 仕事に就くための支援 | 8 地域の支援ネットワークづくり |
| 4 生活再建のための貸付金制度の利用支援 | 9 誰も孤立させない地域づくり |
| 5 生活に困っている世帯の子どもが学習や進学をするための支援 | 10 その他（ ） |
| | 11 わからない |

※1【経済的に困っている人】多重債務者、ホームレス、就業をせず職業訓練も受けていない人など、様々な事情により経済的に困窮している人(生活困窮者)のこと。

※2【社会的に孤立している人】ニートの状態にある若者(就業しておらず、通学も家事もしていない 35 歳程度までの若者)や閉じこもりの人など、生活の活動空間がほぼ家の中のみなどに限定されている人のこと。

問 22 近年、子どもの貧困が社会問題となっていますが、あなたは、どのような支援が必要だと思いますか。（○印3つまで）

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 学校以外での学習の支援 | 6 親の就労など自立に向けた支援 |
| 2 進学などのための奨学金制度の充実 | 7 保護者等への経済的な支援 |
| 3 多様な体験活動の機会の提供 | 8 その他（ ） |
| 4 こども食堂などの居場所や食事の提供 | 9 わからない |
| 5 何でも相談できる場所の提供 | |

● 災害時の備えなどについておたずねします

問 23 災害時に避難の誘導など、あなたの手助けをしてくれる人はいますか。（○印いくつでも）

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 同居の家族 | 10 入所又は近所の障がい者・高齢者施設の人 |
| 2 別居の家族 | 11 関係しているボランティアやNPOの人 |
| 3 隣・近所の知人 | 12 所属先又は近所の教育・保育施設の人 |
| 4 市外在住の知人 | 13 利用中のヘルパーやケアマネジャー等 |
| 5 自治会の役員等 | 14 かかりつけ又は近所の医療機関の人 |
| 6 地域のサロン・見守り活動のメンバー | 15 その他（ ） |
| 7 地域の自主防災組織の人 | 16 手助けしてくれる人はいない |
| 8 民生委員児童委員、主任児童委員 | 17 わからない |
| 9 勤務先又は近所の会社・商店などの人 | |

問 24 地域において、災害など緊急時の備えとして、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。
(○印3つまで)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 日頃からのあいさつや声かけ、付き合い | 6 災害時の情報伝達方法の確立 |
| 2 地域・近所での協力体制づくり | 7 災害時ボランティアの育成 |
| 3 日頃の避難訓練 | 8 災害時ボランティアの受入れ体制の確立 |
| 4 地域の支援や配慮が必要な人の把握 | 9 その他 () |
| 5 支援や配慮が必要な人への支援体制の整備 | |

問 25 新型コロナウイルス感染症の拡大により、特に困っていることがありますか。
(○印いくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1 収入の減少 | |
| 2 失業・倒産 | |
| 3 就職難、仕事探しが難しい | |
| 4 働き方の変化（在宅勤務やテレワーク、オンライン会議、時差出勤など） | |
| 5 健康状態の低下や悪化 | |
| 6 学力の低下、受験への悪影響 | |
| 7 子育ての負担増 | |
| 8 介護・看護の負担増 | |
| 9 運動不足 | |
| 10 精神的なストレスの増加 | |
| 11 飲食店等の自粛による外出機会の減少 | |
| 12 趣味活動の機会の減少 | |
| 13 通院や買物に行きにくい | |
| 14 地域での付き合いや交流の減少 | |
| 15 マスクや消毒液など衛生用品の確保 | |
| 16 風評被害、差別、嫌がらせを受けている | |
| 17 コロナ関連の各種支援策がわからない | |
| 18 コロナ関連の相談先がわからない | |
| 19 その他 () | |
| 20 特に困っていることはない | |

問 30 今後、ボランティア活動の輪を広げていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○印3つまで)

- 1 ボランティアに経済的な負担がかからないように交通費などを援助する
- 2 企業などがボランティア休暇を認めるなどの配慮をする
- 3 学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う
- 4 地域で児童・生徒のボランティア活動を充実する
- 5 ボランティア活動に関する相談支援を充実する
- 6 活動の拠点となる場所を提供する
- 7 ボランティアに関する研修を開催する
- 8 ボランティアとボランティアを必要とする人を結ぶ仕組みを拡充する
- 9 ボランティアへの参加を広く市民に呼びかける
- 10 その他 ()
- 11 わからない

問 31 あなたのお住まいの地域に、民生委員児童委員*がいることを知っていますか。(○印1つ)

- 1 担当の人の名前や顔を知っている
- 2 いることは知っているが名前や顔は知らない
- 3 知らない

※ 民生委員児童委員とは

民生委員児童委員は「民生委員法」に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤・特別職の地方公務員に該当する無報酬のボランティアのことです。任期は3年で「児童福祉法」に定める児童委員を兼務しています。住民の身近な相談相手として、また、日常的な見守りや関係機関への橋渡しなど、地域福祉の推進のために様々な活動を行っています。

問 32 あなたは、宇和島市社会福祉協議会*を知っていますか。(○印1つ)

- 1 活動内容までよく知っている
- 2 名前を見聞きしたことはあるが活動内容はよく知らない
- 3 知らない

※ 社会福祉協議会とは

社会福祉協議会とは「社会福祉法」により設置された、社会福祉活動の推進を目的とした民間組織としての自主性と、広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という二つの側面を併せ持った組織のことです。一般に「社協」と呼ばれており、各種の福祉サービス事業をはじめ、権利擁護事業や生活福祉資金の貸し付け、ボランティア活動支援など、地域福祉の向上に取り組んでいます。

● 地域福祉の推進についておたずねします

問 33 次にあげる、宇和島市の地域の福祉に関する取組について、あなたが①満足していると感じる取組はどれですか。また、②今後、重要と思う取組はどれですか。

(それぞれあてはまるものすべてに○)

	①満足している 取組 ↓	②今後、重要と 思う取組 ↓
(1) 声かけや見守りなどの市民活動	1	1
(2) 地域の祭り・イベントなどでの交流	2	2
(3) 地域の高齢者の支援	3	3
(4) 高齢者が活躍できる場づくり	4	4
(5) 高齢者サロン・生き生き教室など通いの場の充実	5	5
(6) 公民館や集会所など公共施設の活用	6	6
(7) 地域の障がいのある人の支援	7	7
(8) 地域の子育て支援	8	8
(9) 地域での生涯学習や講座など	9	9
(10) 家庭・地域・学校などでの福祉教育	10	10
(11) 福祉に関する市民への情報提供	11	11
(12) 地域の防災組織	12	12
(13) 災害時要支援者の対策	13	13
(14) NPOやボランティア活動の推進	14	14
(15) 学生など若い年齢層の活動促進	15	15
(16) 地域で活動する人の人材育成	16	16
(17) まちづくりへの市民参加	17	17
(18) 自治会などの地域自治の推進	18	18
(19) 社会福祉協議会の活動	19	19
(20) 特にない・わからない	20	20

問 34 地域福祉を推進するために、今後、あなた自身ができることは何ですか。(○印3つまで)

1 地域のことに興味を持つ	5 できる範囲で地域に貢献する
2 福祉に関する知識や技術を身に付ける	6 その他 ()
3 地域での活動に積極的に参加する	7 特にない
4 地域の人と活発に交流する	

問 35 地域福祉を推進するために、地域ぐるみではどのような取組を進めていけばよいと思いますか。

(○印3つまで)

- 1 地域の問題点や課題をみんなで共有する
- 2 地域で活動できる人材やリーダーを育てる
- 3 地域で活動できる組織をつくる
- 4 地域福祉に関する情報をより多くの人に広める
- 5 地域で活動している団体同士の連携を深める
- 6 地域と行政（宇和島市）との連携や調整を図る
- 7 その他（)
- 8 特にない

問 36 あなたは、今後、宇和島市にはどのような地域活動が重要だと思いますか。(○印3つまで)

- 1 地域に活力を与え地域を元気にする活動（自治会での交流活動や若者の福祉活動への参加など）
- 2 災害時の支援などの活動（物資の寄付、復興支援、災害時要支援者の見守りなど）
- 3 高齢者を支援する活動（家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出時の付き添いなど）
- 4 障がいのある方を支援する活動（軽介助、外出時の付き添い、手話、点字、要約筆記など）
- 5 子育てを支援する活動（子育て交流会や乳児健診、子どもの一時預かりなど）
- 6 児童の健全育成の活動（スポーツの指導、子ども会の活動など）
- 7 特技や趣味を生かした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など）
- 8 周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）
- 9 地域の安全を守る活動（防犯パトロール、子どもの見守りなど）
- 10 その他（)
- 11 特にない

問 37 あなたは、これからの地域福祉を見据えて、将来、宇和島市にどのようなまちになってほしいと思いますか。(○印3つまで)

- 1 お互いに支え合い、助け合いができるまち
- 2 誰もが福祉の担い手として活躍できる活気のあるまち
- 3 災害に強いまち
- 4 高齢者や障がいのある人も安心して活躍できるまち
- 5 介護が必要になっても、安心して暮らせるまち
- 6 安心して子育てができるまち
- 7 いつまでも生きがいを持って健康に暮らせるまち
- 8 生まれ育った場所で安心して生活できるまち
- 9 差別や偏見のない、誰もが尊重されるまち
- 10 その他（)

問 38 地域における「福祉」を誰が担うべきかという考え方について、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。（○印1つ）

- 1 できるだけ人に頼らず、自分自身や家族・親せきで支え合うべきである
- 2 地域の人がお互いに協力し、住民同士で支え合う仕組みをつくるべきである
- 3 住民同士で助け合いながら、足りない部分を行政が支援すべきである
- 4 福祉や地域のことは、行政と住民が協力し、共に取り組むべきである
- 5 福祉や地域のことは、行政が中心となって担うべきである
- 6 その他（)

問 39 地域福祉を推進するために、行政（宇和島市）はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○印5つまで）

- 1 困りごとを気軽にワンストップで相談できる身近な福祉相談窓口を充実する
- 2 広く市民に対して地域福祉活動の意義と重要性を周知・啓発する
- 3 隣・近所同士で助け合う体制づくりを促進する
- 4 地域で福祉活動のリーダーや活動を担う人材を育成する
- 5 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する
- 6 地域での福祉の活動費や運営費など資金的な援助を行う
- 7 福祉活動の相談や指導を担当する専門職員を増やす
- 8 困っている人と支援できる人との調整を図る人材を育成する
- 9 困っている人や助け合いの場、組織についての情報を得やすくする
- 10 社会教育で地域福祉への関心を高める講座や研修会を充実する
- 11 学校教育の場で福祉教育を充実する
- 12 防災に関する市民の関心を高める啓発を推進する
- 13 福祉サービスを利用する人の権利を守る制度を周知する
- 14 福祉に関わる人や機関との連携を強化する
- 15 困りごとを抱えた人に気付き、早期支援につなげる仕組みをつくる
- 16 地域福祉の推進に向けた話合いの場を充実する
- 17 その他（)
- 18 特にない

問 40 あなたは、次にあげる用語の意味を知っていますか。（○印1つつ）

	内容までよく知っている	名前を見聞きしたことはあるが内容はよく知らない	知らない
<p>(1) 成年後見制度</p> <p>判断能力の不十分な人（認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等）が日常生活における不利益を受けないよう、本人の権利を守り支援する制度のこと。</p>	1	2	3
<p>(2) 8050問題</p> <p>高齢の親と同居する無職やひきこもり状態の子どもが抱える生活課題のこと。80代の親が50代の子どもの生活を支えるという事例が、その社会的背景となっている。</p>	1	2	3
<p>(3) ダブルケア問題</p> <p>一人の人や一つの世帯が、同時期に介護と育児の両方に直面する状態に生じる様々な問題のこと。晩婚化や晩産化も一つの要因と考えられている。</p>	1	2	3
<p>(4) ヤングケアラー問題</p> <p>法令上の定義はないが、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを、子どもが日常的に行っている場合の様々な問題のこと。</p>	1	2	3
<p>(5) SDGs (Sustainable Development Goals)</p> <p>平成 27 年9月に国連サミットで採択された、全ての国がその実現に向けて目指すべき「持続可能な開発目標」で、貧困の根絶や不平等の解消、環境との調和など 17 のゴールから構成され「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す目標のこと。</p> <div style="text-align: center;"> <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p>  </div>	1	2	3

問 41 あなたの世帯では、生活費や貯金などの管理は主に誰がしていますか。(○印1つ)

1 あなたご自身	3 同居の子ども	5 兄弟姉妹・親せき・親・孫
2 配偶者	4 別居の子ども	6 その他 ()

問 42 あなたは、将来的に、あなたご自身又はあなたの親族の判断能力が十分でなくなったとき「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(○印1つ)

1 利用したいと思う	2 利用したいとは思わない	3 わからない
------------	---------------	---------

問 43 あなたは「成年後見制度」について、どのように思いますか。(○印いくつでも)

1 制度の内容や利用方法がよくわからない	7 どこに相談していいのかわからない
2 制度を利用するための手続きが複雑そうである	8 利用するタイミングがわからない
3 他人に財産管理や契約等をされることに抵抗がある	9 裁判所に行くことに抵抗がある
4 利用するために費用(経済的負担)がかかる	10 その他 ()
5 制度自体に良いイメージがない	11 特にない
6 必要性がわからない	

問 44 あなたのお住まいの地域に、保護司*がいることを知っていますか。(○印1つ)

1 担当の人の名前や顔を知っている
2 いることは知っているが名前や顔は知らない
3 知らない

※ 保護司とは

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。「保護司法」の規定に基づき、法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員とされていますが、給与は支給されません。保護司は、民間人としての柔軟性と地域の実情に通じているという特性を生かし、国家公務員である保護観察官と協働して保護観察に当たるほか、犯罪や非行をした人が刑事施設や少年院から社会復帰を果たしたとき、スムーズに社会生活を営めるよう、釈放後の住居や就業先などの帰住環境の調整や相談を行っています。

問 45 地域福祉の推進についてのご意見・ご要望などがございましたら、どのようなことでも結構です。自由にご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

宇和島市 地域福祉の推進に関するアンケート調査 報告書

発 行 / 令和 3 (2021) 年 11 月
発 行 者 / 宇和島市 保健福祉部 福祉課
〒798-8601 愛媛県宇和島市曙町 1 番地
電 話 (0895) 49-7016
FAX (0895) 24-1160
E - M a i l / fukushi@city.uwajima.lg.jp
